
2021年度
武庫川女子大学・武庫川女子大学短期大学部
卒業時アンケート
結果報告書

2022年6月
武庫川女子大学・武庫川女子大学短期大学部
自己評価委員会

調査概要 -----	3
調査結果のまとめ	
調査結果のまとめ -----	6
アンケート結果 詳細内容【回答者のプロフィール】	
回答者プロフィール -----	14
アンケート結果 詳細内容【立学の精神、ディプロマ・ポリシーの浸透度】	
「立学の精神」の浸透度 -----	17
ディプロマ・ポリシーの浸透度 -----	18
アンケート結果 詳細内容【満足度】	
教育内容の満足度 -----	20
卒業後の進路の満足度 -----	23
総合満足度 -----	26
アンケート結果 詳細内容【修学状況】	
学びの機会 -----	30
学びの充実度 -----	36
アンケート結果 詳細内容【ディプロマ・ポリシーの修得度】	
修得した能力【大学】 6学部14学科 -----	42
修得した能力【短期大学部】 7学科 -----	56
巻末資料【調査票】	
調査票 -----	64

1. 調査の目的

卒業時のディプロマ・ポリシーの達成度と教育内容に対する評価を把握し、学修成果を測定。教育内容および教育方法の適切性を検証するための指標として活用する。

2. 調査対象

2022年3月に学校法人武庫川学院の大学、短期大学部のいずれかを卒業する卒業生(2021年度卒業生)

武庫川女子大学	1,690名
武庫川女子大学短期大学部	554名
計	2,244名

3. 調査実施時期

2022年3月17日(木)～5月9日(月)

4. 調査方法

Googleフォームで作成したアンケートによるWeb調査

5. 主な調査項目

- 立学の精神、ディプロマ・ポリシーの浸透度
- 教育内容の満足度
- 卒業後の進路の満足度
- 総合満足度
- 学びの機会
- 学びの充実度
- ディプロマ・ポリシーの修得度(学科別)

学科別の回収率

	卒業者数	有効回答数	有効回答率
大学・計	1690	1014	60.0%
文学部	714	387	54.2%
文学部 日本語日本文学科	143	85	59.4%
文学部 英語文化学科	194	79	40.7%
文学部 教育学科	218	121	55.5%
文学部 心理・社会福祉学科	159	102	64.2%
健康・スポーツ科学部 健康・スポーツ科学科	164	94	57.3%
生活環境学部	494	328	66.4%
生活環境学部 生活環境学科	151	108	71.5%
生活環境学部 食物栄養学科	181	104	57.5%
生活環境学部 情報メディア学科	121	88	72.7%
生活環境学部 建築学科	41	28	68.3%
音楽学部	36	18	50.0%
音楽学部 演奏学科	18	8	44.4%
音楽学部 応用音楽学科	18	10	55.6%
薬学部	194	142	73.2%
薬学部 薬学科	159	117	73.6%
薬学部 健康生命薬科学科	35	25	71.4%
看護学部 看護学科	88	45	51.1%
短期大学部・計	554	386	69.7%
短期大学部 日本語文化学科	93	71	76.3%
短期大学部 英語キャリア・コミュニケーション学科	89	58	65.2%
短期大学部 幼児教育学科	109	54	49.5%
短期大学部 心理・人間関係学科	87	73	83.9%
短期大学部 健康・スポーツ学科	45	27	60.0%
短期大学部 食生活学科	48	32	66.7%
短期大学部 生活造形学科	83	71	85.5%
総計	2244	1400	62.4%

調査結果のまとめ

調査結果の要点

※大学、短期大学部の課題を共有することを目的とし、以下の調査結果からポイントを抜粋。
(特に記載がない場合は、大学、短期大学部に共通した傾向を記載。)

- ・ 貴学に対する満足度
- ・ 貴学での学びの機会・学びの充実度に対する評価、改善要望
- ・ 貴学のディプロマポリシー、立学の精神の認知度

< 貴学の教育の強み >

- ・ 教育満足度、進路満足度、総合満足度のいずれも、満足度は9割前後と、多くの学生が満足して卒業している。
- ・ 「専門分野の教育」「教養分野の教育」どちらも、9割以上の学生が「充実している」と回答し、評価が高い。
- ・ 学びの機会としては、「協働作業」や「発表」を行う授業、「将来との関わりを感じる授業」が多かった、という回答が多数を占める。

< さらなる向上が必要だと考えられる要素 >

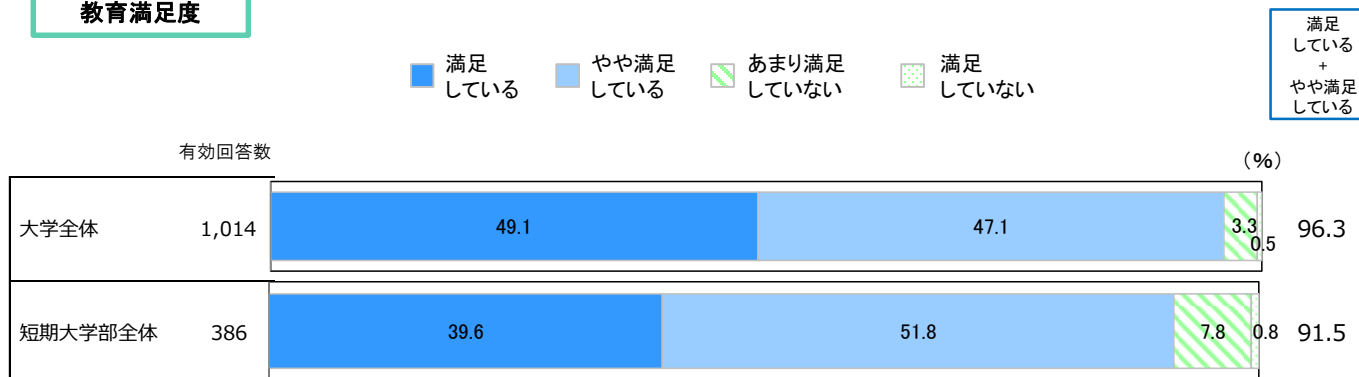
- ・ 教育満足度は、進路満足度、総合満足度と比較すると、やや低く、「満足している」という強い満足感を表す回答も、5割に満たない。
- ・ 「専門分野の教育」と「実践的・実務的教育」の充実度は8割を超えているが、一方で、自由記述の改善要望として比較的多くあがっている(特に大学)。この2項目は教育満足度との相関が高いため、この2項目をより一層充実させることが、教育満足度の向上につながると考えられる。
- ・ 「外国語教育の充実」に対する評価は、他の項目に比べると低い。
- ・ ディプロマ・ポリシーの内容を理解している学生は少数に留まる。
- ・ 短期大学部では、「教室外での活動や実習を行う授業」や「少人数で行う演習形式の授業」の経験度が低く、自由記述の改善要望としても、対面授業が少ないことへの不満があがっていた。
今回の調査対象となった短期大学部の学生は、2年間の学生生活がずっとコロナ禍であった影響で、本来、貴学の強みである実践的な教育機会が十分に経験できなかったと考えられる。そのような学生に対する、卒業後の学び直しの機会提供拡大なども、今後、学内で検討すべき事項と考えられる。

調査結果のまとめ【満足度】

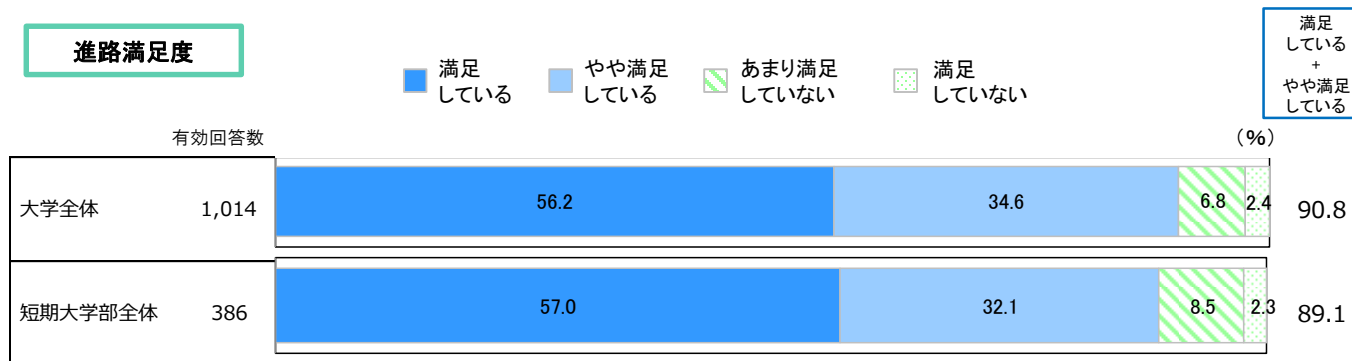
■ 総合満足度は9割を超え高い。
教育満足度は「満足している」の割合がやや低く、教学面での取り組みは引き続き重要。

- ・ 貴学の教育満足度、進路満足度、総合満足度は、いずれも9割前後と高い。
- ・ 大学、短期大学部ともに教育満足度において「満足している」学生の割合が、他2項目と比べて低い傾向。現状、総合満足度に大きな影響を与えるまでには至っていないが、注視していく必要がある。
- ・ 短期大学部では、大学と比べて教育満足度の「満足している」と総合満足度の「そう思う」の割合が低い。2年間のコロナ禍での学生生活の影響も考えられ、不満にまでは至っていないもののケアできることが望ましい。

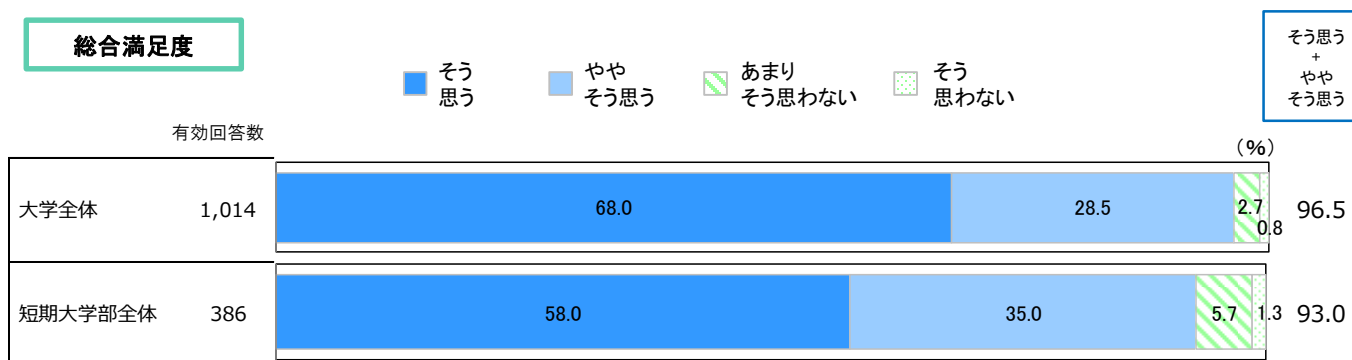
教育満足度



進路満足度



総合満足度

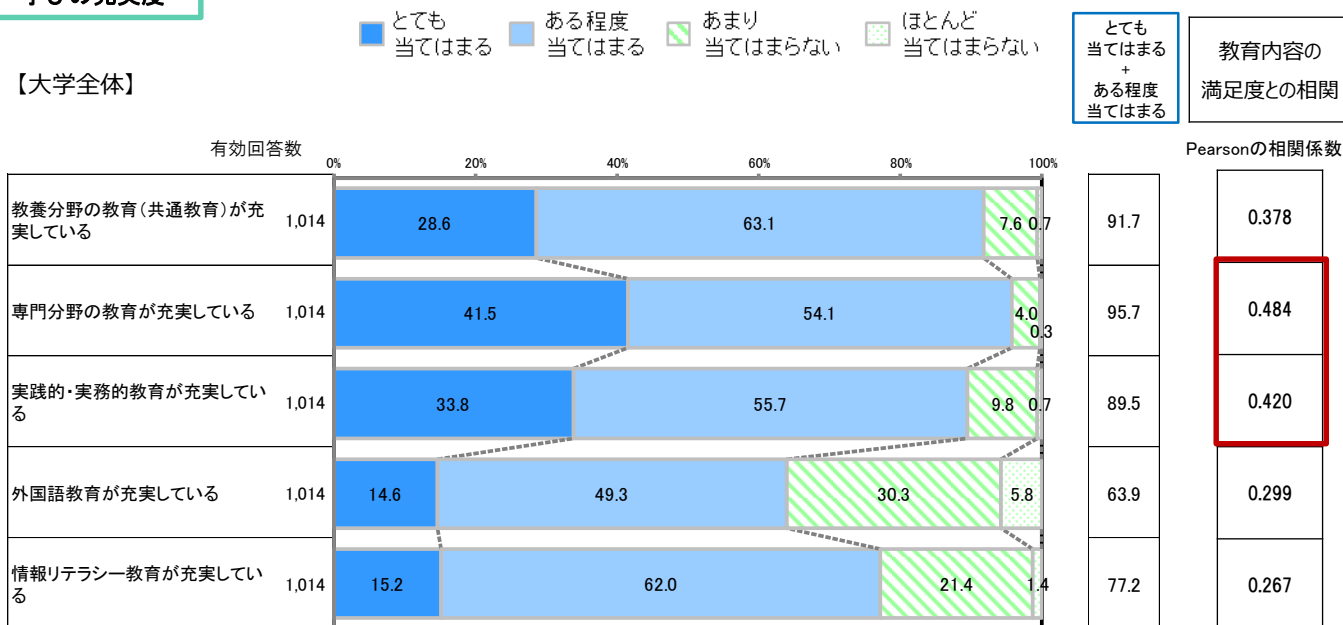


調査結果のまとめ【学びの充実度】

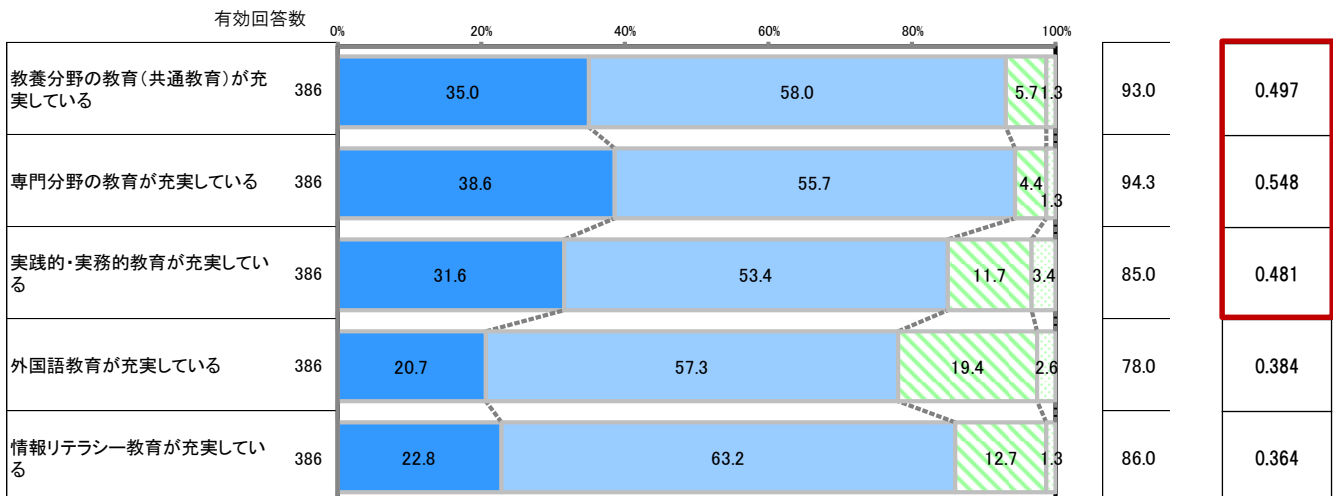
- 専門教育と実践・実務的教育に対する評価は高い。これらはとりわけ重要度が高い項目でもあり、今後も注力が必要。短期大学部では「教養分野の教育」も重要度が高い。
- 9割以上の学生が「専門分野」「教養分野」の教育が充実していると回答し、評価が高い。
- 対して「外国語教育が充実している」は他項目と比べて評価が低く、特に大学では6割にとどまる。
- 各項目と教育満足度との相関をみると、大学と短期大学部のいずれにおいても「専門分野の教育が充実している」「実践的・実務的教育が充実している」で相関係数が高く、貴学の教育内容の満足度に強く影響していることが想定される。そのため、現状評価が高くはあるが今後も注力が必要な項目である。
- 短期大学部では、上記に加えて「共通分野の教育が充実している」も教育満足度との相関係数が高く、教育満足度への影響がうかがえる。

学びの充実度

【大学全体】



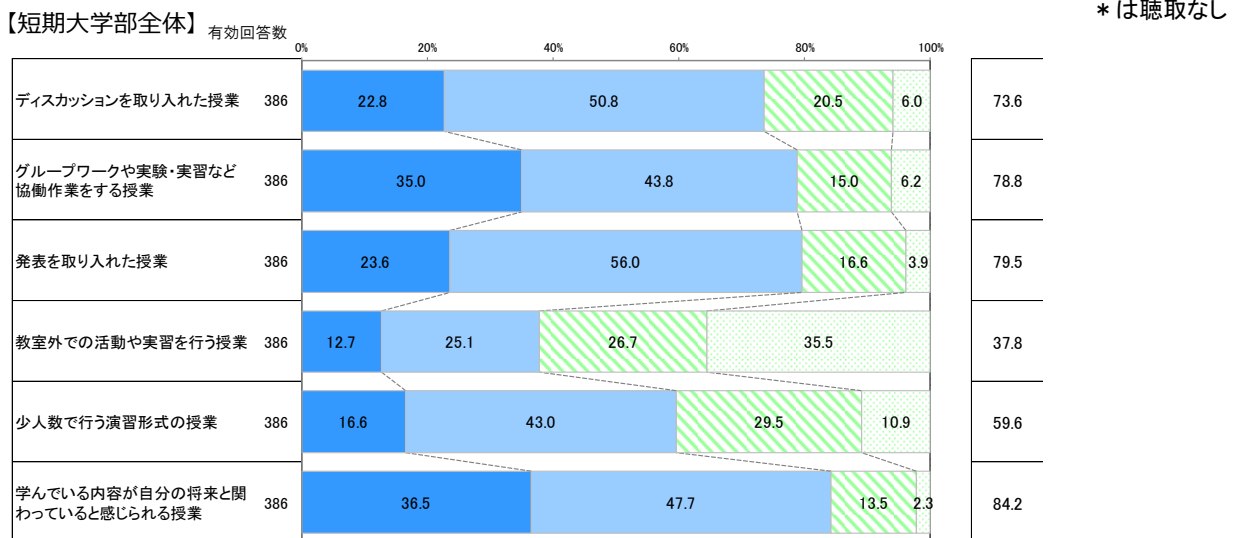
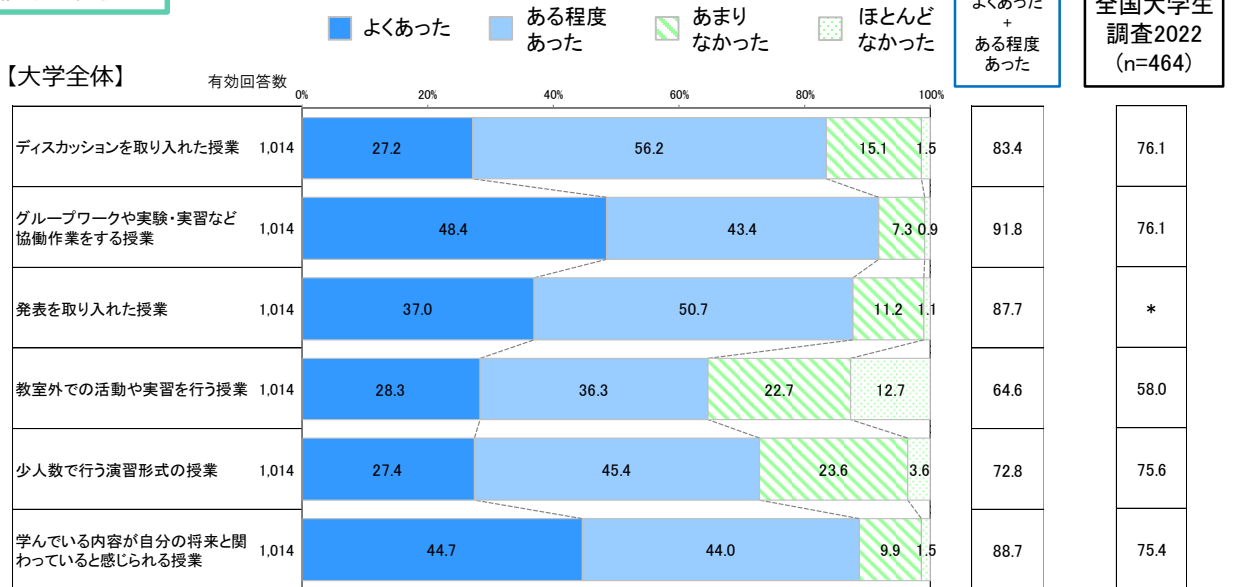
【短期大学部全体】



■ 協働作業や発表を行う授業、将来との関わりを感じる授業が充実している点は貴学の強み。

- 大学では、約9割の学生が「グループワークや実験・実習など協働作業をする授業」「学んでいる内容が自分の将来と関わっていると感じられる授業」「発表を取り入れた授業」があったと回答している。全国大学生調査の結果と比較をしても評価が高く、貴学の強みといえる。その他の項目を比較しても、全国大学生調査より突出して低い項目は見られない。
- 短期大学部では、「教室外での活動や実習を行う授業」の経験があったと回答している学生が4割を下回り、他項目と比べて低い。「少人数で行う演習形式の授業」も6割程度と他項目より低い。

授業の経験



<全国大学生調査>

進研アド独自調査 調査方法: インターネット調査 対象者数: 4,124名 実施時期: 2022年6月

女子・4年生 (n=464) の値を掲載 聴取項目は上から
 授業で、グループワーク・ディスカッションなどに参加する
 授業で、グループワーク・ディスカッションなどに参加する
 (聴取なし)
 授業で、フィールドワークなどの体験的な活動や実習を行う
 少人数教育(1クラスが20~30人以下)の授業を受ける
 授業で、学んでいる内容と将来のかかわりについて考える

■ 大学では実践力・社会に通用する力を獲得したい、専門教育の充実に関する要望があがる。

- ・ 教育満足度との関連性が推測される実践力と専門教育において、さらなる充実を求める意見があがる。
- ・ 学部学科間や外部との連携をしてほしいといった要望もあがっており、これは実践力の獲得にもつながりそうである。
- ・ 実践力、専門教育、外部連携は、それぞれ関連する要望でもあり、いずれも「外部で通用する力を身につけたい」という気持ちが背景にあることが推測される。

大学からの主な要望

実践力・社会に通用する力の獲得	学部学科
<p>授業の数が充実していて良かった。もう少し実践内容が有れば良かった</p>	<p>文学部 教育学科</p>
<p>成績はそこそこ良かったはずだったのに、実際社会に役立つ知識やスキルは何も身につけませんでした。</p>	<p>文学部 英語文化学科</p>
<p>学んだ知識が浅いことが多かったので社会に出てから通用しないのではないかと感じる。そのため危機感を覚えることがあった。結局は授業外の学びが大切だと感じる大学だったなと思う。</p>	<p>生活環境学部 情報メディア学科</p>
<p>内部の指標での評価だけで、外部にそれが伝わっていない</p>	<p>生活環境学部 建築学科</p>
<p>紙へのテストに対応する力はしっかり身についた。実務現場へ生かせるかどうかの点は弱い。</p>	<p>薬学部 薬学科</p>
専門教育の充実	学部学科
<p>建築やアパレルの専門的な先生はいるが、「生活」という空間の中には、プロダクトもあるため、プロダクト専門の先生の授業を受けたいと感じました。授業名を変えても先生が同じであれば、内容が自然に先生の専門になってしまっていると思います。</p>	<p>生活環境学部 生活環境学科</p>
<p>コロナ禍になり、実習がほとんど無くなったことにより、就職してからの実務が不安である。また、設計もCADではなく手書きがほとんどであったため、もう少しCADやIllustratorなどを触る機会が欲しかった。</p>	<p>生活環境学部 生活環境学科</p>
<p>幅広く学ぶことが出来たため、そこは良かった所でもあるのだが、4年生になっても専門性があまりなかった為就活等で学科の説明をする時には少し困った。共通教育はそこそこ充実していたと思うが、専門教育と時間が被ったり、受講人数が多かったりして中々希望のものを受講出来なかった。</p>	<p>生活環境学部 情報メディア学科</p>
<p>4回生にプログラミング教育の授業を初めて受けることが出来ましたが、1回生の時から受けられたならもっと追求できたのになと、思いました。</p>	<p>文学部 教育学科</p>
外部との連携をしてほしい、閉鎖的	学部学科
<p>学科でも共通でも授業で外部との連携がないものが多く閉鎖的なので、他大学や他学科、企業との交流を授業で取り入れてもいいと思う。</p>	<p>文学部 英語文化学科</p>
<p>多くの学生がいるので、違う学部同士の交流やイベントがあれば学びの幅も広まると思う。 使用している施設をもっとオープンに広報してもらえると施設を有効に使えると思う</p>	<p>健康・スポーツ科学部 健康・スポーツ科学科</p>
<p>他大学は一般教養科目もすごく充実している感じがして、いいなあと思っています。武庫女には歴史学専攻の学科がないので、日本史を学べないのは仕方ないとしても、他の学科の科目を履修や聴講できる制度があれば、大日の科目とかも履修したかったなあと思います。共通教育科目のさらなる充実や、他学科の授業を履修できる制度のご検討をしてほしいです。</p>	<p>生活環境学部 食物栄養学科</p>

■ 短期大学部では、対面授業の充実を中心に要望があがる。

- ・ 短期大学部でもコロナ禍の影響でオンライン授業となり、授業の内容に関する改善要望があがる。
- ・ 今回調査対象となった短期大学部の卒業生は、在学期間中ずっとコロナ禍の影響を受けており、特にオンライン授業の質が貴学の教育内容に対する満足度の低下に関連している可能性が推測される。
- ・ 他には「受けたい授業が受けられない」「フィードバックがほしい」など、もっと学びたいという意見がみられた。

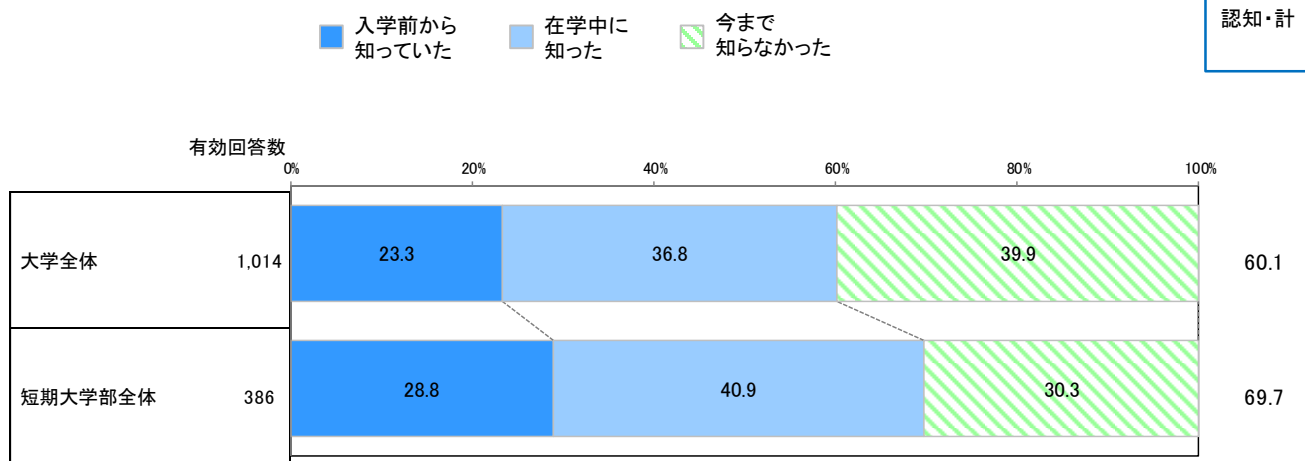
短期大学部からの主な要望

対面授業の充実	学科
短心はこのコロナ禍で他の学科の子よりも対面が少なく、少し寂しかった。	心理・人間関係学科
もう少し対面で授業がしたかったです。	生活造形学科
コロナだからとはいえほとんど大学に行けず、課題を出せば出席になる授業もあったり、90分の授業なのに半分程度の時間で終わったりした。私の他大学や専門に通っていた友人は私たちよりも対面授業が多かった。	英語キャリア・コミュニケーション学科
受けたい授業が受けられない、その他授業改善	学科
共通科目の抽選枠が少なすぎる 受けたい授業が受けれない	心理・人間関係学科
毎回第8希望まで出していましたが、履修登録で共通教育科目があまりにも取れなさすぎて結果を見るたびにこれだけしか取れてなくても卒業出来るのか？単位は足りるのだろうか？と毎回不安になりました。抽選だから仕方ないとは思いつつも、もう少し多くの共通教育科目の授業を受けてみたかったです。	日本語文化学科
学ぶ中で、例えば課題提出の際に、フィードバックがほとんどなく、自分自身がどれだけ成長できたのか、評価の意味、これからの改善点が全くわからないまま終わってしまった講義も多くありました。今後は出来ればもう少しフィードバックがある学びを得ることが出来れば、それだけでも学生は助かる場所があるのではないかと考えます。	日本語文化学科
出席番号順でメンバーが固定したグループワークが多かったので、様々なクラスの人達と関われるような機会がよりあった方がいいと思いました。	幼児教育学科

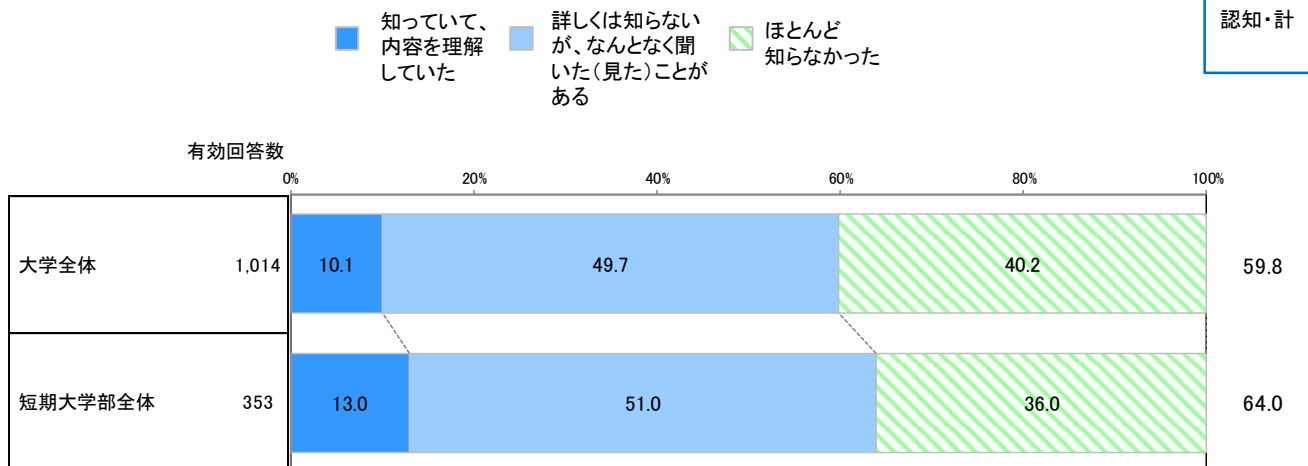
■ 6割前後の学生がディプロマ・ポリシーを認知しているものの、理解している学生は1割。

- 立学の精神で掲げる女性像やディプロマ・ポリシーは半数を超える学生が認知している。
- ディプロマ・ポリシーの内容理解度をみると理解している学生は少数にとどまる。理解度の向上は、前回調査に引き続き課題といえる。

立学の精神認知



DP理解度



アンケート結果 詳細内容
【回答者のプロフィール】

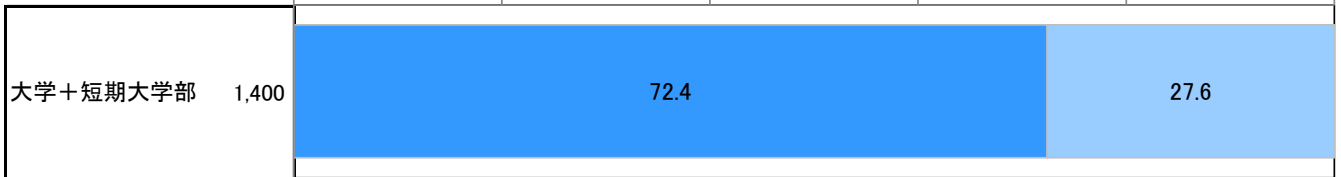
回答者プロフィール

■ 所属

■ 大学 ■ 短期大学部

有効回答数

0% 20% 40% 60% 80% 100%

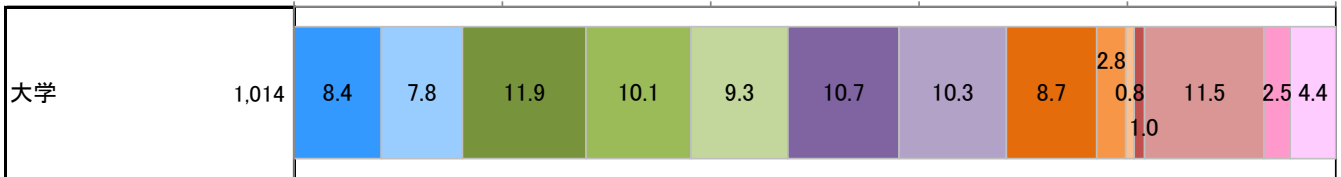


【大学 在籍学部・学科】

- 文学部 日本語日本文学科
- 文学部 英語文化学科
- 文学部 教育学科
- 文学部 心理・社会福祉学科
- 健康・スポーツ科学部 健康・スポーツ科学科
- 生活環境学部 生活環境学科
- 生活環境学部 食物栄養学科
- 生活環境学部 情報メディア学科
- 生活環境学部 建築学科
- 音楽学部 演奏学科
- 音楽学部 応用音楽学科
- 薬学部 薬学科
- 看護学部 看護学科
- 薬学部 健康生命薬科学科

有効回答数

0% 20% 40% 60% 80% 100%

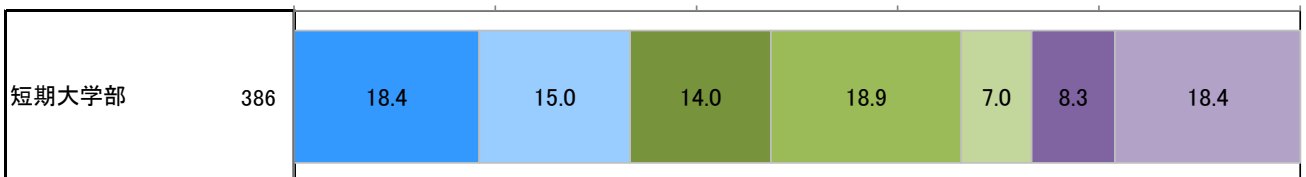


【短期大学部 在籍学科】

- 日本語文化学科
- 英語キャリア・コミュニケーション学科
- 幼児教育学科
- 心理・人間関係学科
- 健康・スポーツ学科
- 食生活学科
- 生活造形学科

有効回答数

0% 20% 40% 60% 80% 100%

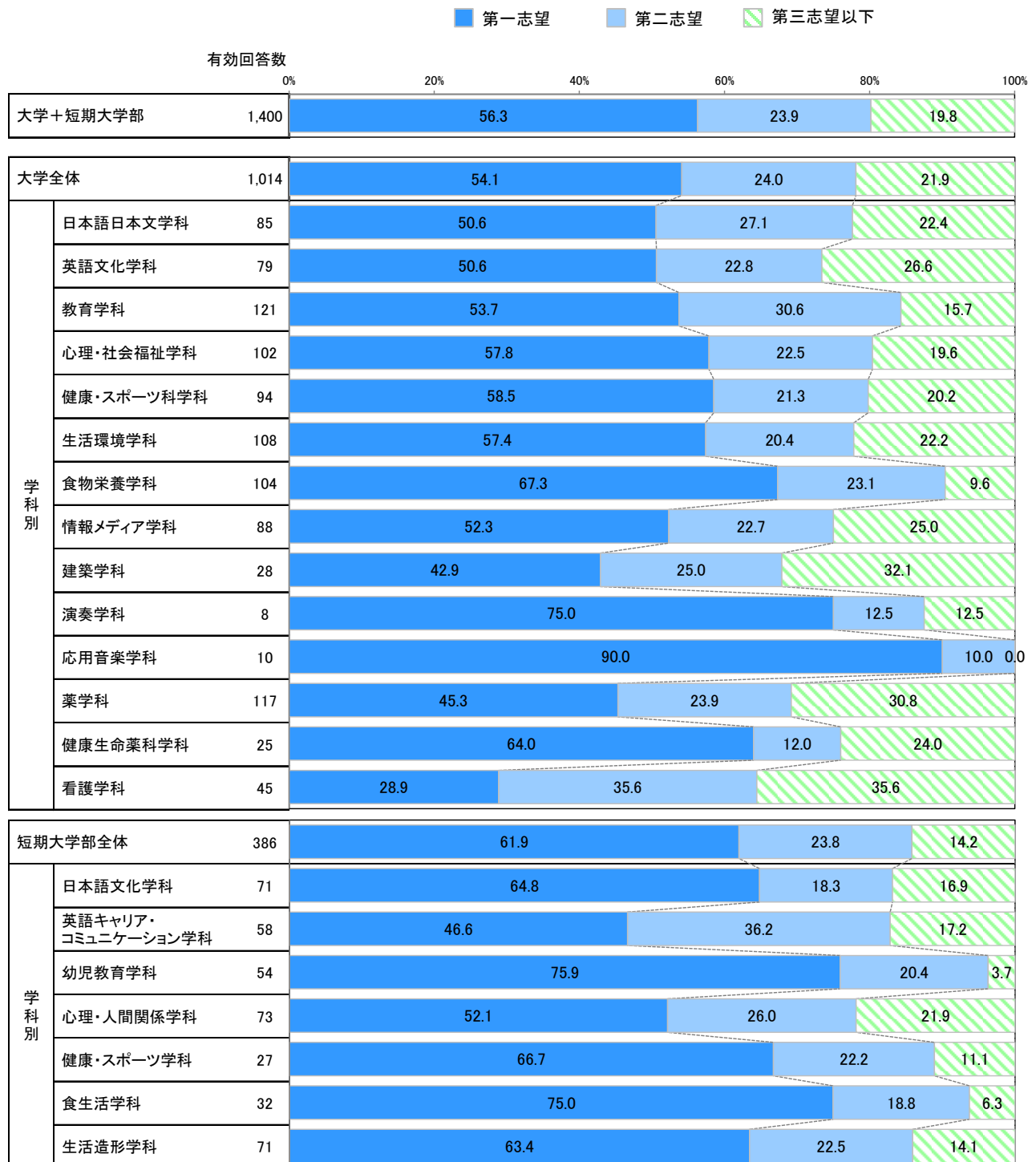


回答者プロフィール【学科別】

- 大学の「第一志望」の割合は5割台、短期大学部では約6割である。
- 大学の学科別で「第一志望」の割合が特に高いのは、食物栄養学科、演奏学科、応用音楽学科、健康生命薬科学科で、いずれも6割を超える。対して、建築学科、薬学科、看護学科は、「第一志望」が約3割～4割台と低い。
- 短期大学部の学科別で「第一志望」の割合が特に高いのは、幼児教育学科、食生活学科で、いずれも7割を超える。対して、英語キャリア・コミュニケーション学科は「第一志望」が4割台後半と低い。

Q1 本学はどの程度の志望順位でしたか。

■ 志望度

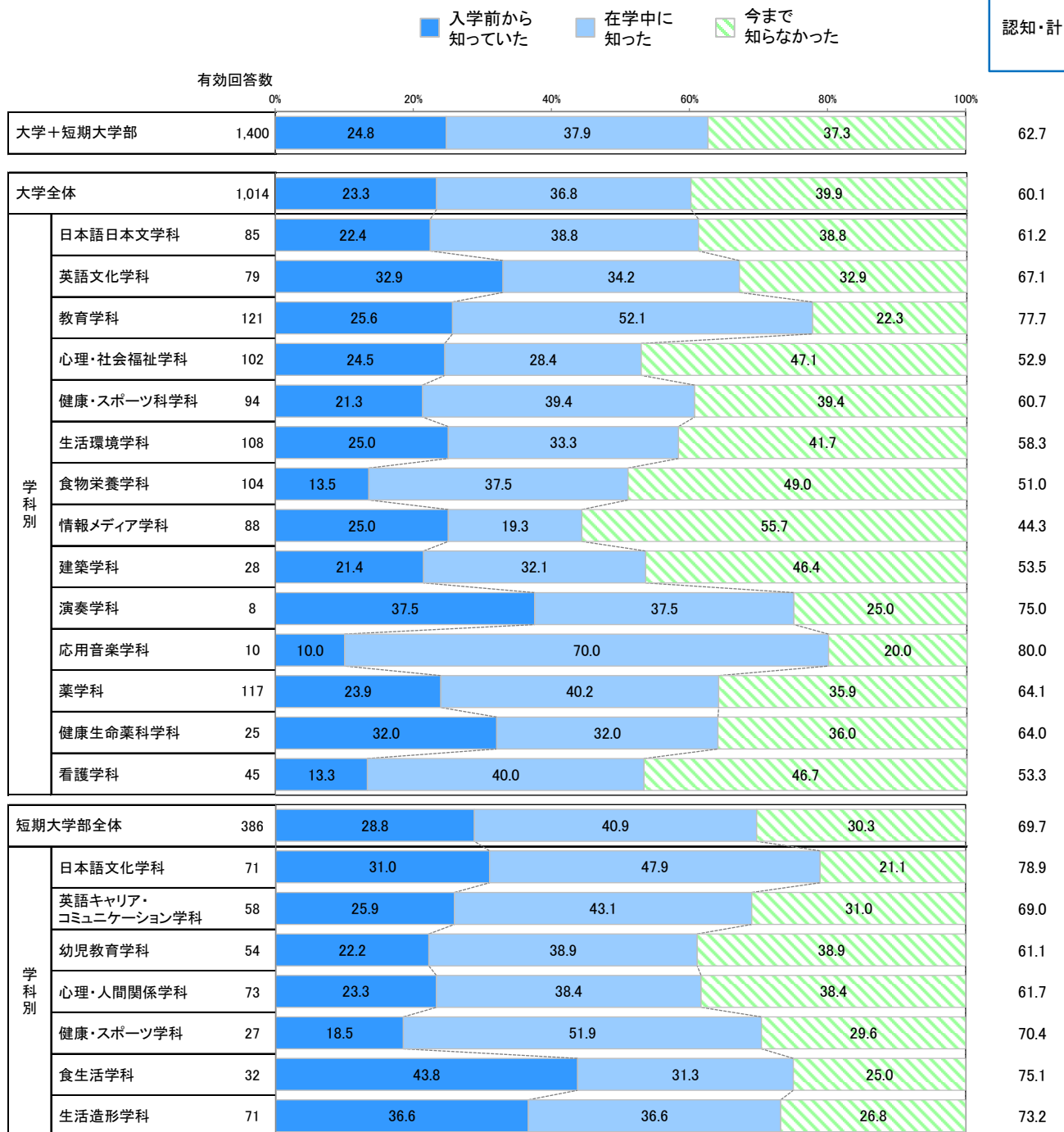


アンケート結果 詳細内容
【立学の精神、ディプロマ・ポリシーの浸透度】

「立学の精神」の浸透度【学科別】

- 「立学の精神」を「入学前から知っていた」「在学中に知った」を合わせた卒業時点での認知・計は、大学では約6割で、短期大学部では約7割の認知率。
- 大学の学科別で認知・計が最も高いのは応用音楽学科であり、8割の学生が「立学の精神」を認知している。対して、情報メディア学科は卒業時点での「立学の精神」の認知・計が4割台と低い。
- 短期大学部の学科別で認知・計が最も高いのは日本語文化学科であり、約8割の学生が「立学の精神」を認知している。対して、幼児教育学科、心理・人間関係学科は、認知・計が約6割とやや低い。

Q2 本学では、立学の精神の中で、「高い知性」、「善美な情操」、「高雅な徳性」を兼ね備えた有為な女性を育成することを掲げています。あなたは、このことを知っていましたか。

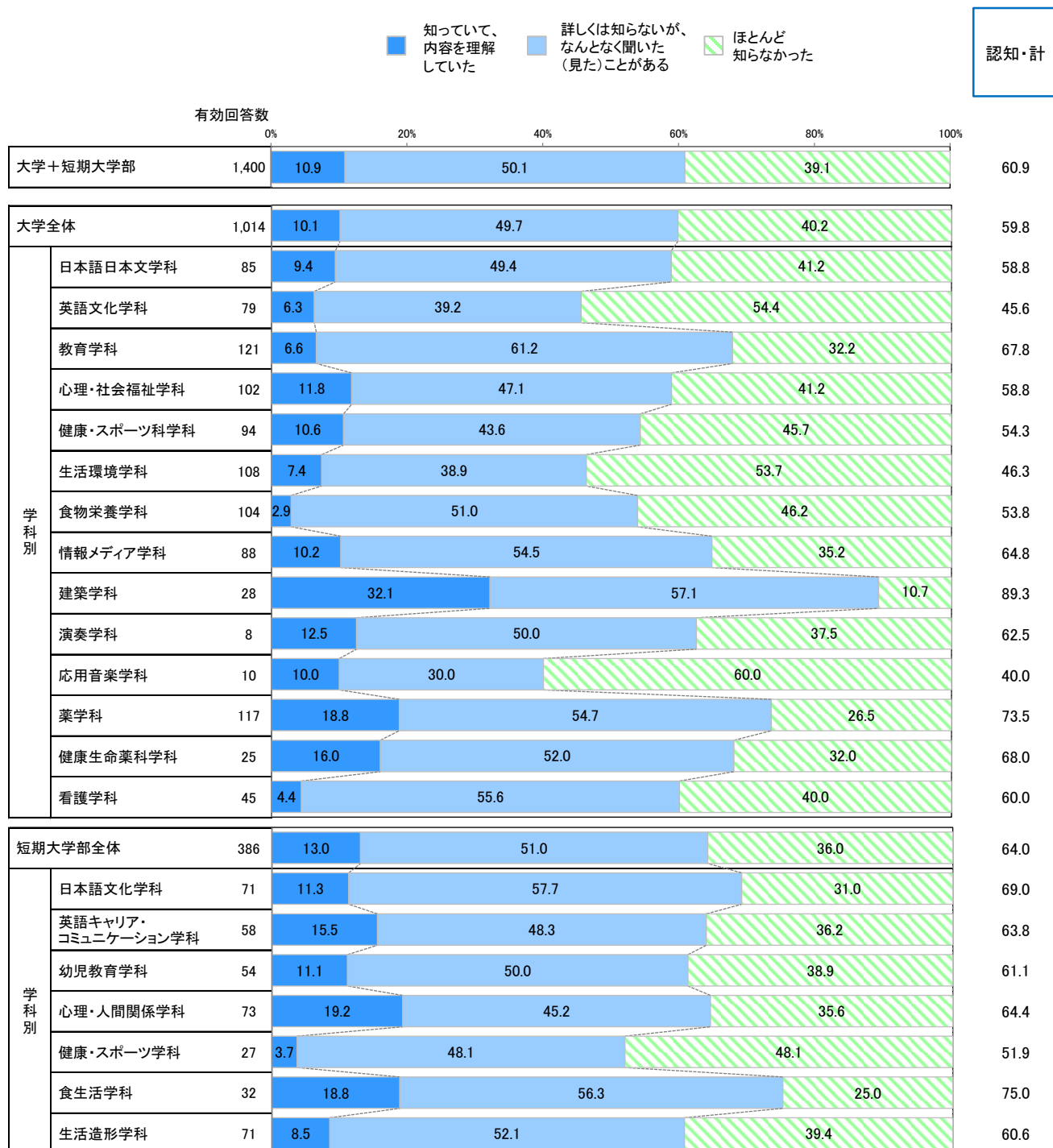


ディプロマ・ポリシーの浸透度【学科別】

- 「ディプロマ・ポリシー」を「知っていて、内容を理解していた」「詳しくは知らないが、なんとなく聞いた(見た)ことがある」を合わせた認知・計は、大学では約6割、短期大学部でも6割台にとどまる。
- 大学の学科別で認知・計が最も高いのは建築学科であり、約9割の学生が「ディプロマ・ポリシー」を認知している。対して、英語文化学科、生活環境学科、応用音楽学科は、認知・計が半数に満たない。
- 短期大学部の学科別で認知・計が最も高いのは食生活学科であり、75.0%の学生が「ディプロマ・ポリシー」を認知している。対して、健康・スポーツ学科は、認知・計が約半数と低い。

Q4 本学では、学科ごとに卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)を設定しています。

あなたは、所属学科のディプロマ・ポリシーの内容を知っていましたか。

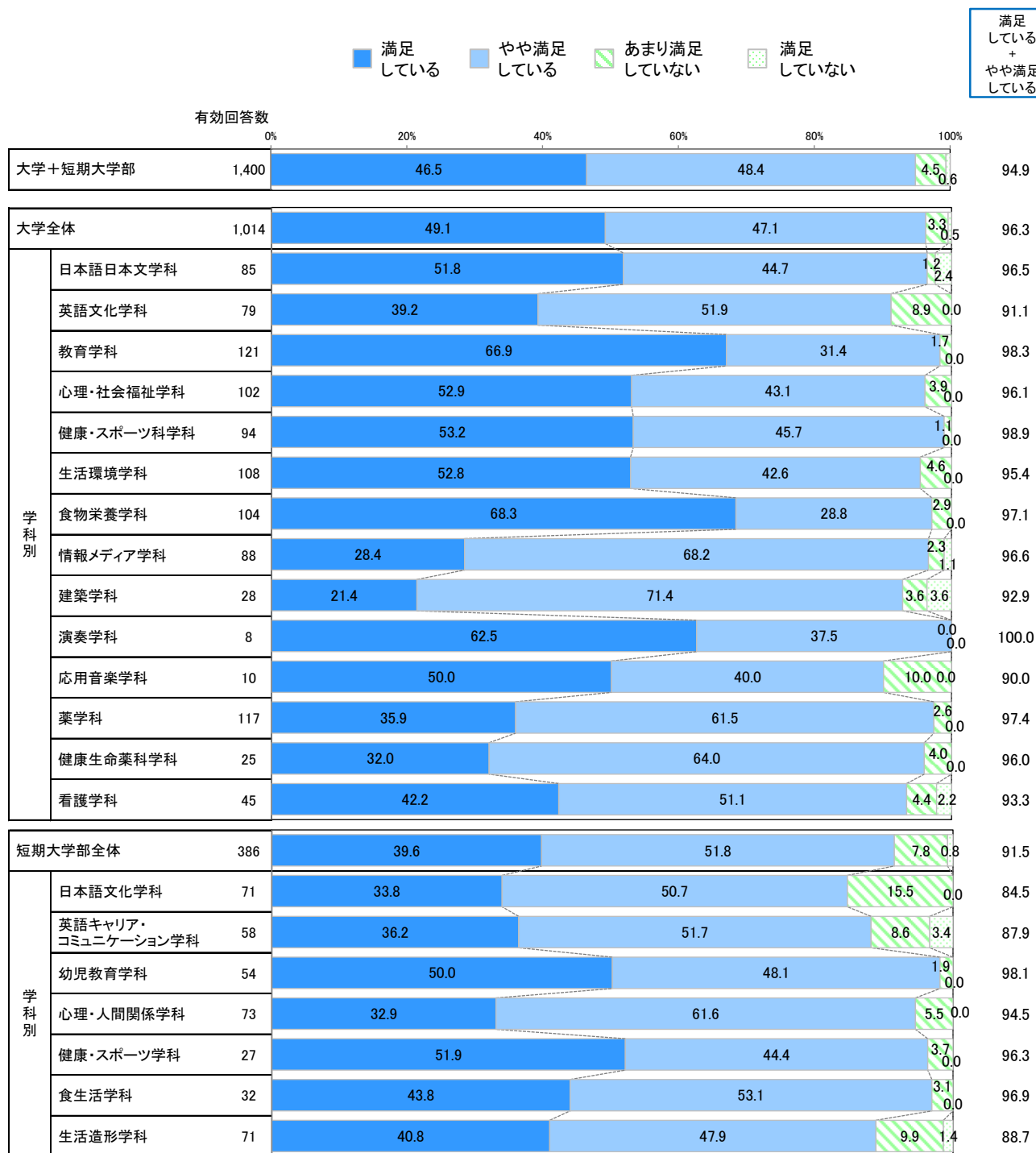


アンケート結果 詳細内容
【満足度】

教育内容の満足度【学科別】

- 教育内容に「満足している」「やや満足している」を合わせた教育満足度は、大学では9割台後半、短期大学部で約9割と高い。
- 大学の学科別で教育満足度が特に高いのは、教育学科、健康・スポーツ科学科、演奏学科で、いずれもほぼ全数。最も低い応用音楽学科でも、約9割が満足している。
- 短期大学部の学科別で教育満足度が特に高いのは、幼児教育学科、健康・スポーツ学科、食生活学科で、いずれも9割台後半。対して、日本語文化学科は、教育満足度が84.5%とやや低い。

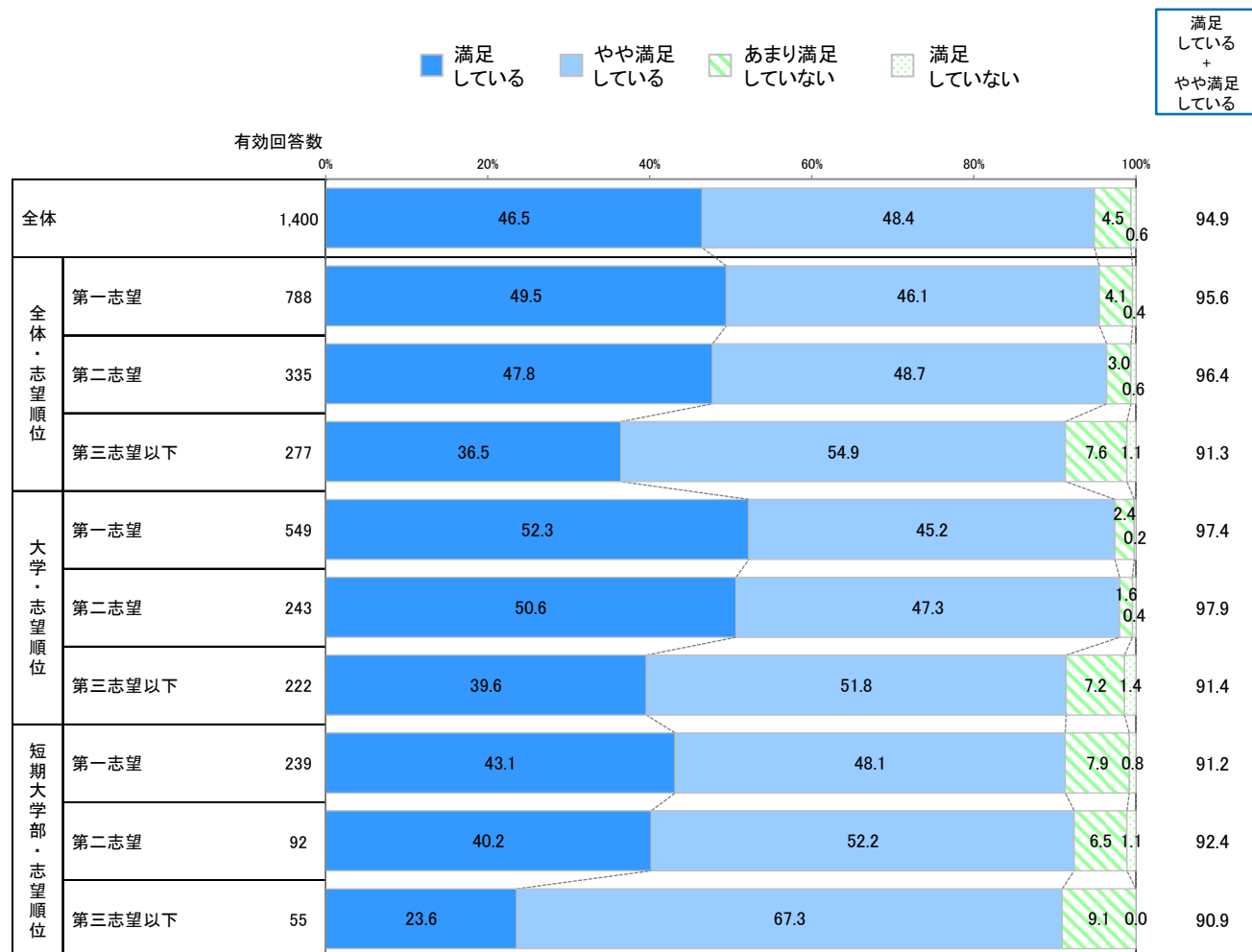
Q7 総合的にみて、あなたは本学の教育内容に満足していますか。



教育内容の満足度【志望度別】

- 大学、短期大学部ともに、第三志望以下でも9割以上の学生が、教育内容に満足している。
- ただし、「満足している」(TOP1)は、志望度が下がるにつれて低くなる傾向がみられる。

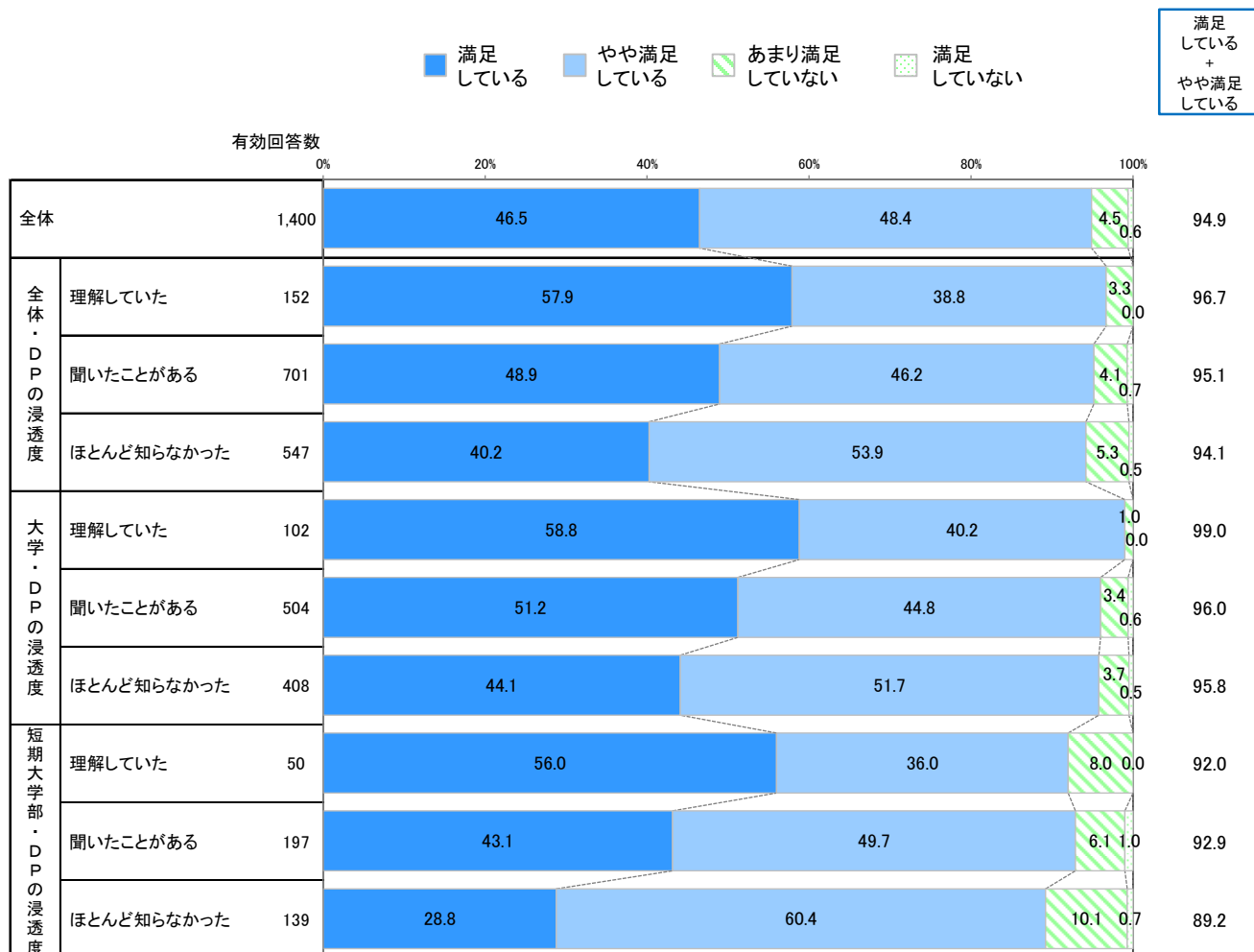
Q7 総合的にみて、あなたは本学の教育内容に満足していますか。



教育内容の満足度【ディプロマ・ポリシーの浸透度別】

- 大学、短期大学部ともに、ディプロマ・ポリシーを理解している人は、半数以上が教育内容に「満足している」(TOP1)。
- ディプロマ・ポリシーの理解が明確なほど、「満足している」(TOP1)はより高くなる。

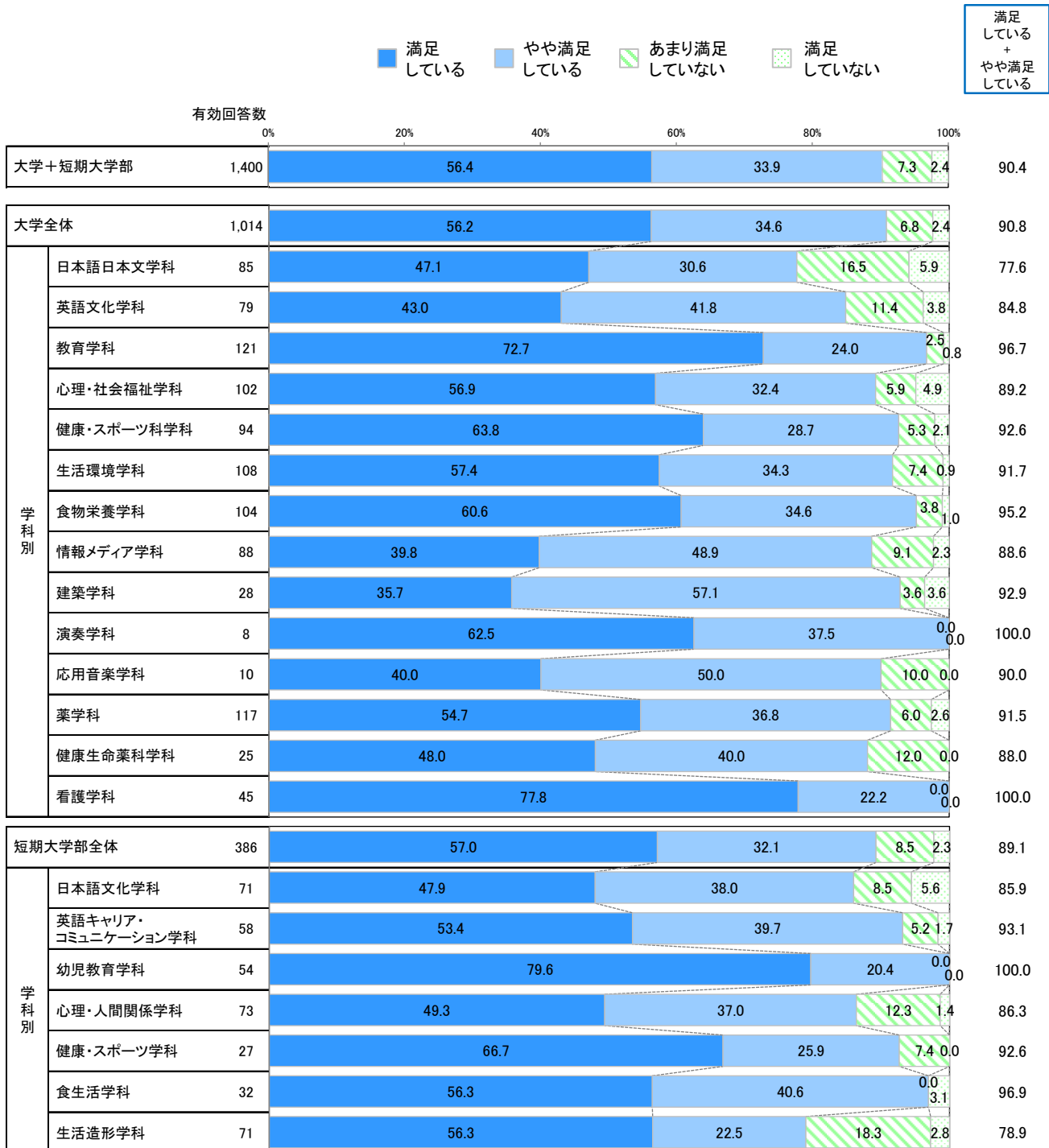
Q7 総合的にみて、あなたは本学の教育内容に満足していますか。



卒業後の進路の満足度【学科別】

- 進路に「満足している」「やや満足している」を合わせた進路満足度は、大学、短期大学部ともに約9割と高い。
- 大学の学科別で進路満足度が特に高いのは、演奏学科、看護学科で、ともに100.0%である。対して、日本語日本文学科は、進路満足度が約8割と低い。
- 短期大学部の学科別で進路満足度が特に高いのは、幼児教育学科、食生活学科で、ともに9割以上。中でも幼児教育学科の進路満足度は100.0%であり、「満足している」の回答に絞っても79.6%と高い。対して、生活造形学科は進路満足度が8割に達していない。

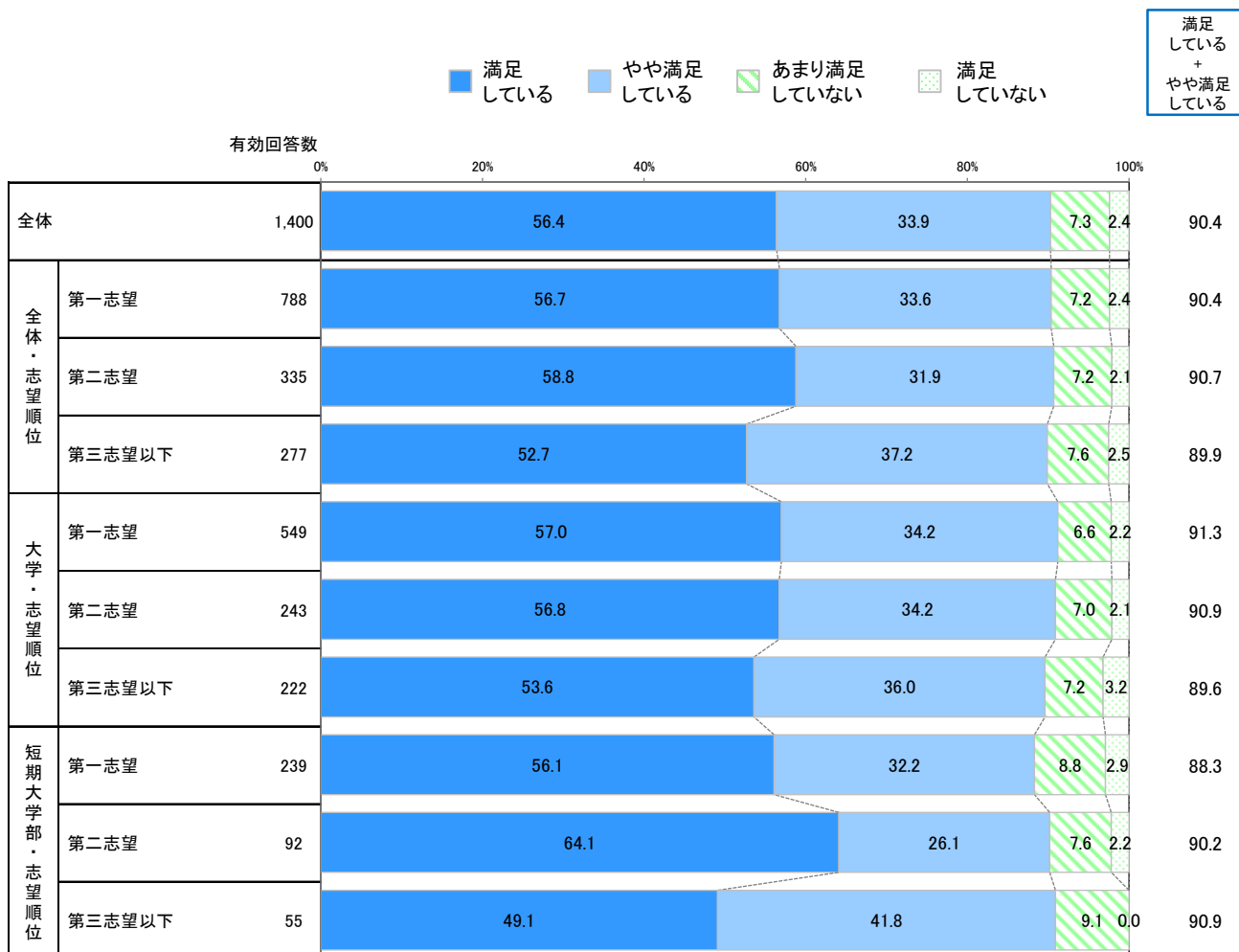
Q8 卒業後の進路について伺います。あなたはご自身の卒業後の進路に満足していますか。



卒業後の進路の満足度【志望度別】

■ 大学、短期大学部ともに、志望順位の高低で、進路の満足度はほとんど変わらない。

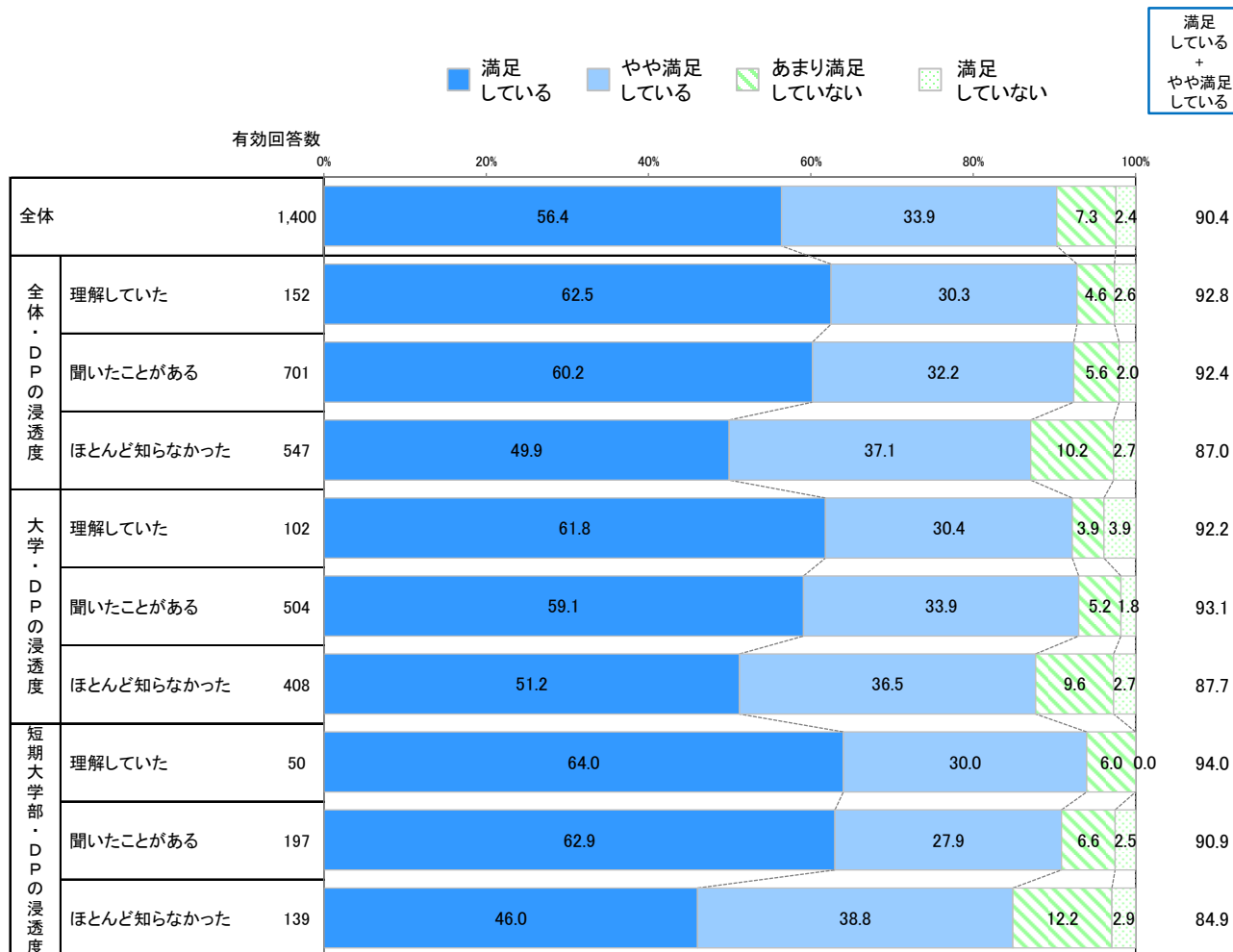
Q8 卒業後の進路について伺います。あなたはご自身の卒業後の進路に満足していますか。



卒業後の進路の満足度【ディプロマ・ポリシーの浸透度別】

- 大学では、ディプロマ・ポリシーを理解している人の「満足している」「やや満足している」を合わせた進路満足度は約9割である。
- 短期大学部では、ディプロマ・ポリシーを理解している人の進路満足度は94.0%と高い。
- 大学、短期大学部ともに、理解度が低くなるにつれて進路満足度も低くなる傾向がみられる。

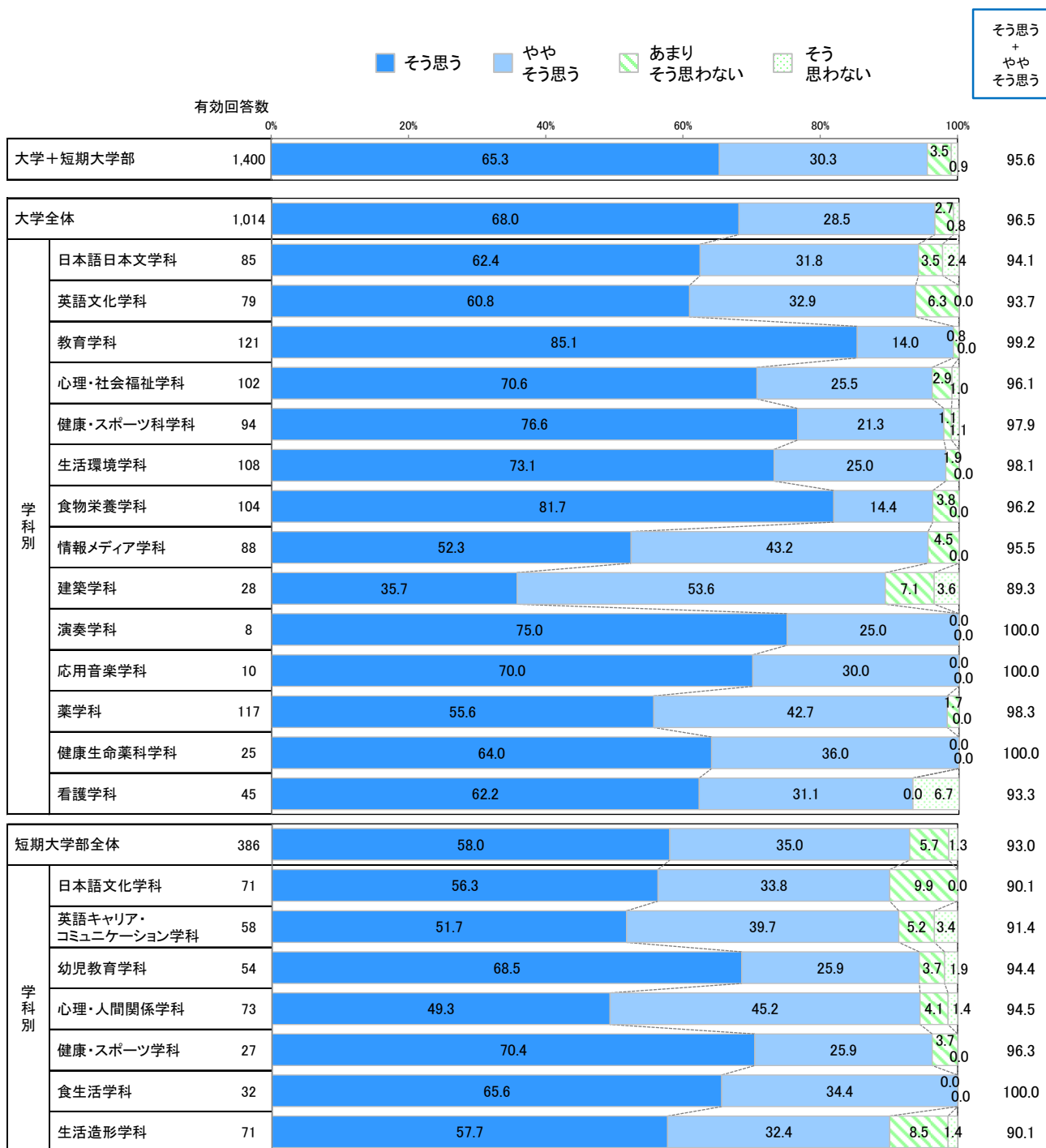
Q8 卒業後の進路について伺います。あなたはご自身の卒業後の進路に満足していますか。



総合満足度【学科別】

- 総合満足度(本学に入学してよかった「そう思う」+「ややそう思う」)は、大学、短期大学部ともに9割を超えている。
- 大学の学科別で総合満足度が特に高いのは、演奏学科、応用音楽学科、健康生命薬科学科で、いずれも100.0%に達している。最も低い建築学科でも総合満足度は約9割にのぼるが、「そう思う(TOP1)」の割合は35.7%にとどまっております、5割を超える他学科と比べて低い。
- 短期大学部の学科別で総合満足度が特に高いのは、食生活学科で100.0%に達している。最も低い日本語文化学科、生活造形学科でも、総合満足度はともに約9割にのぼる。

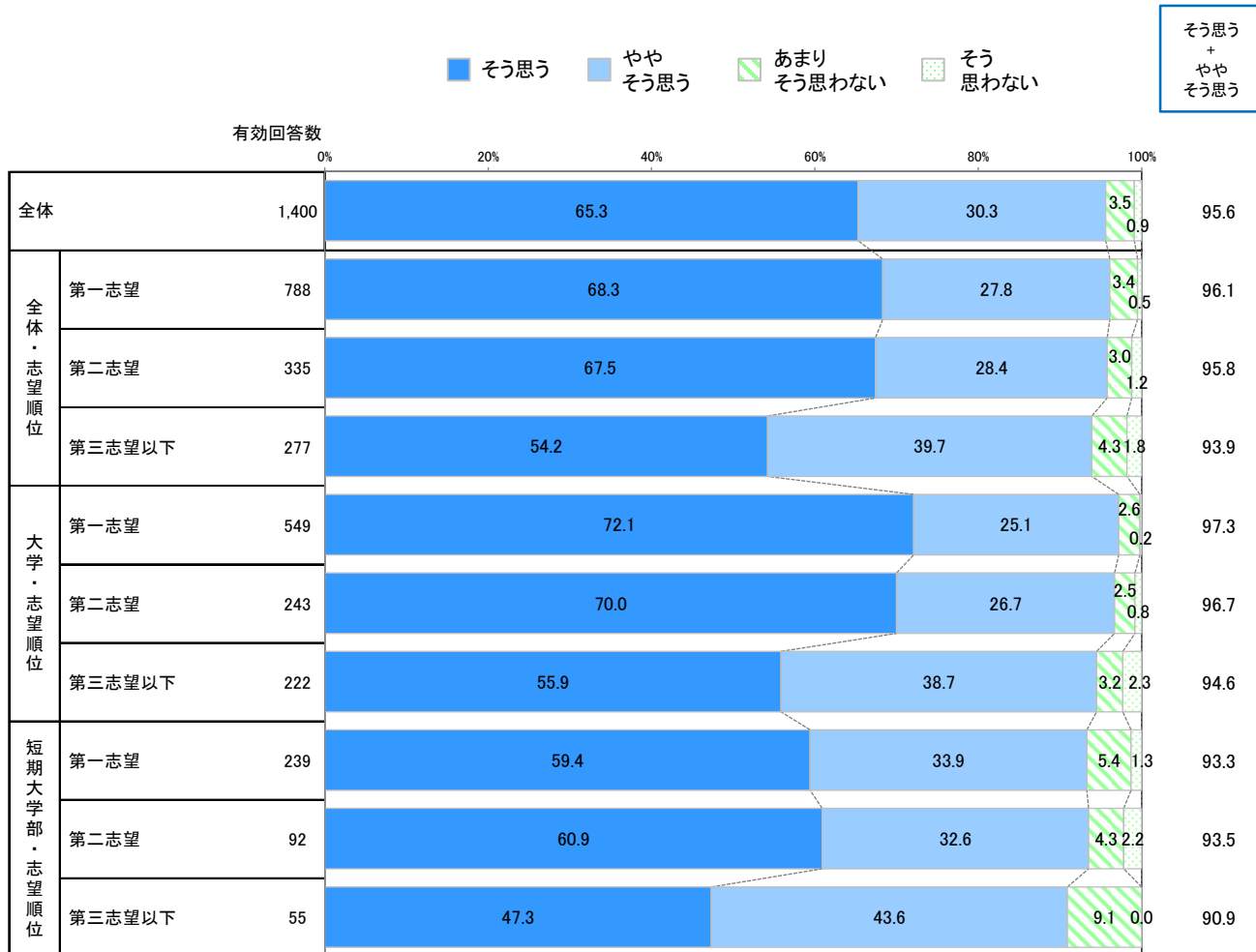
Q9 学生生活を振り返ってみて、本学に入学してよかったと思いますか。



総合満足度【志望度別】

- 大学、短期大学部ともに、志望度の低い層でも、9割を超える学生が大学生生活に満足している。
- しかし、「そう思う(TOP1)」の割合は、大学、短期大学部ともに第一志望・第二志望と比べて、第三志望以下では15pt程度低くなる。

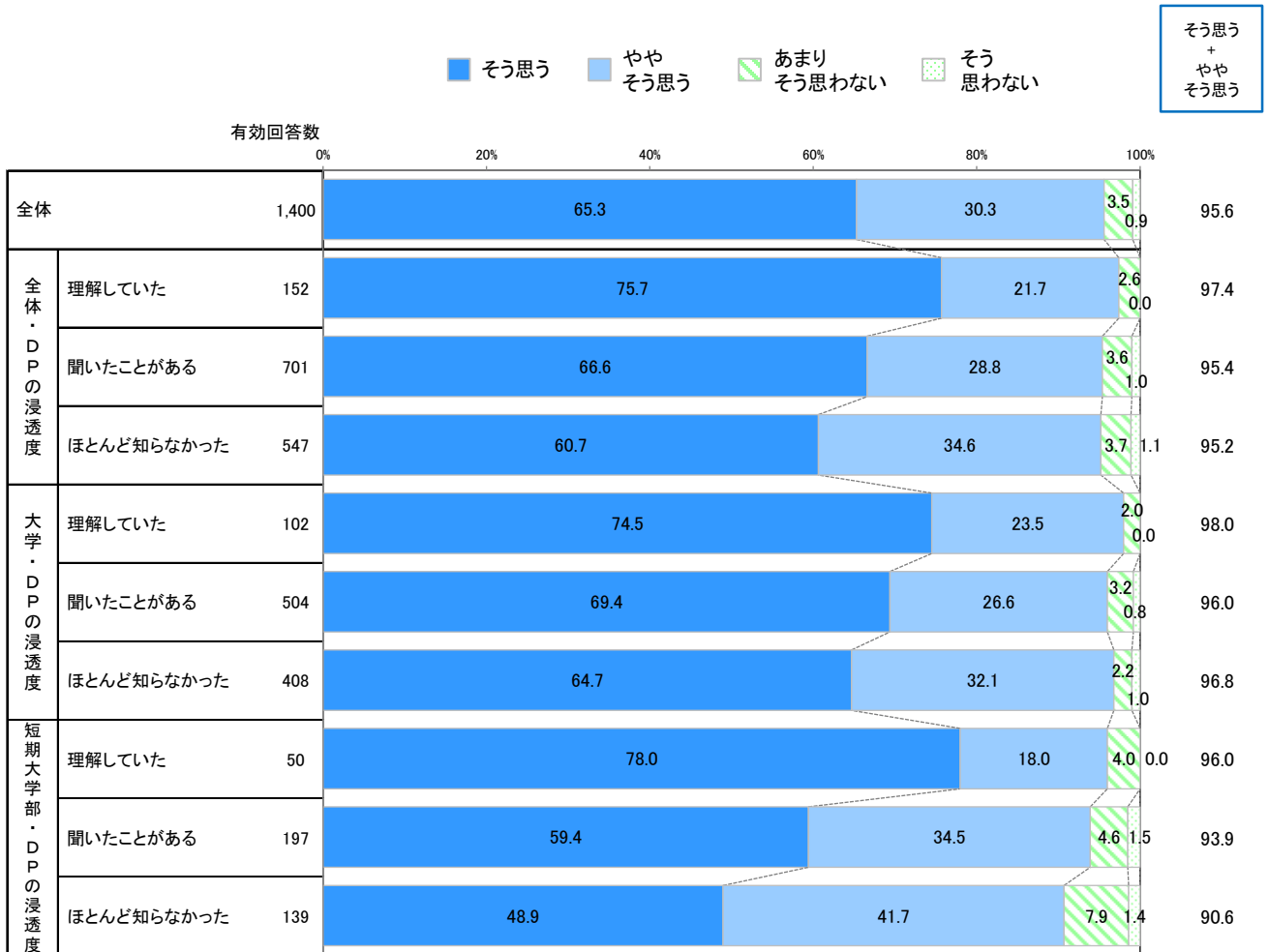
Q9 学生生活を振り返ってみて、本学に入学してよかったと思いますか。



総合満足度【ディプロマ・ポリシーの浸透度別】

- 大学、短期大学部ともに、ディプロマ・ポリシーの理解度が低い層でも、9割を超える学生が大学生生活に満足している。
- ただし、「そう思う」(TOP1)は、理解度が下がるにつれて低くなる傾向がみられる。

Q9 学生生活を振り返ってみて、本学に入学してよかったと思いますか。

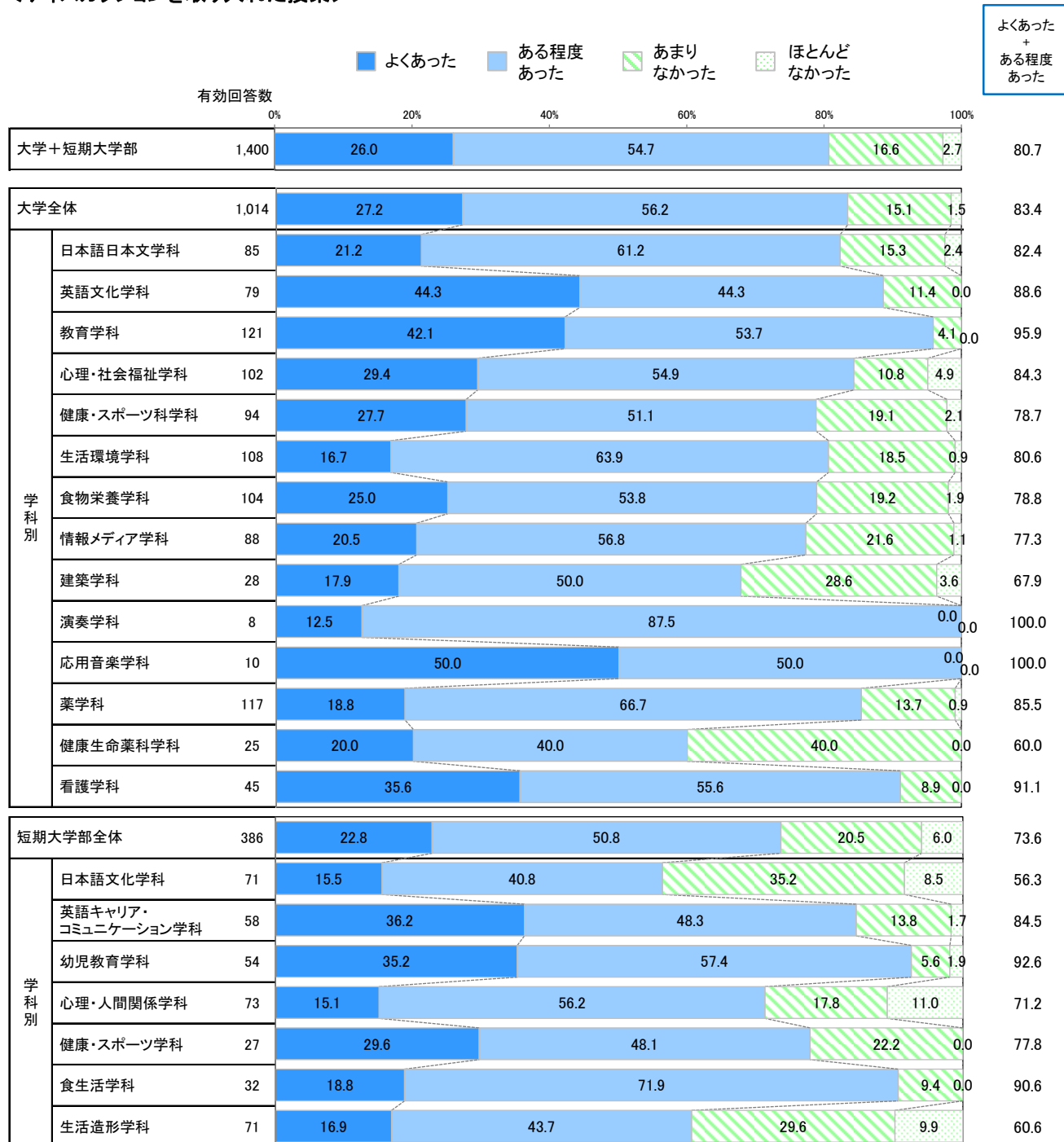


アンケート結果 詳細内容
【修学状況】

- ディスカッションを取り入れた授業の経験率(「よくあった」+「ある程度あった」)は、大学で8割強、短期大学部では7割強である。
- 大学の学科別で経験率が特に高いのは、演奏学科、応用音楽学科で、いずれも100.0%である。対して、建築学科、健康生命薬科学科は、経験率がともに7割に満たない。
- 短期大学部の学科別で経験率が特に高いのは、幼児教育学科、食生活学科で、いずれも約9割である。対して、日本語文化学科、生活造形学科は、経験率が6割弱～約6割と低い。

Q3 あなたが在学中に受講した授業の中で、次のような経験がどの程度ありましたか。

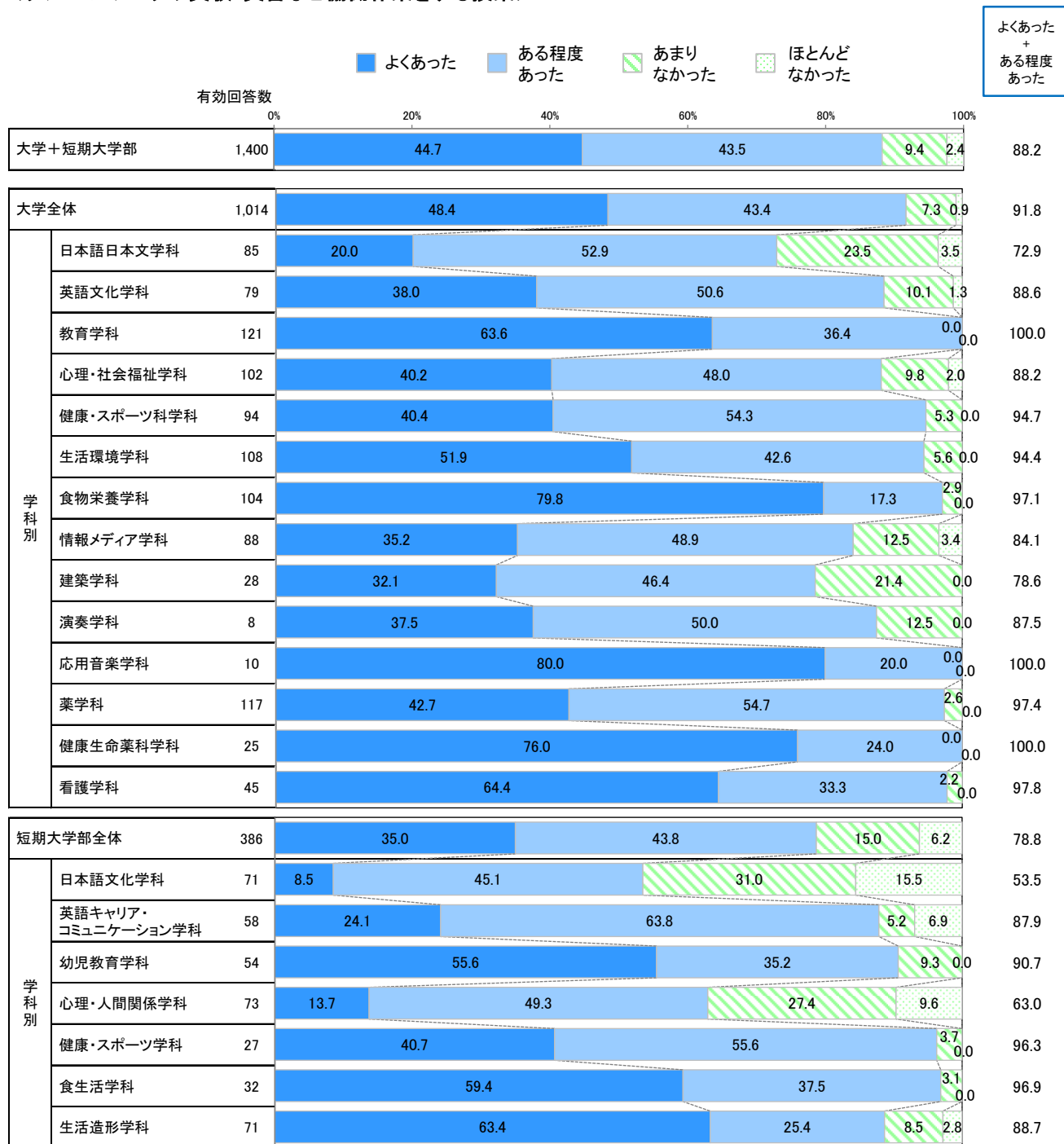
<ディスカッションを取り入れた授業>



- グループワークや実験・実習など協働作業をする授業の経験率(「よくあった」+「ある程度あった」)は、大学で約9割、短期大学部では約8割である。
- 大学の学科別で経験率が特に高いのは、教育学科、応用音楽学科、健康生命薬科学科で、いずれも100.0%である。対して、日本語日本文学科、建築学科は経験率が8割に満たず、「よくあった(TOP1)」の回答に絞った場合も2割～約3割にとどまる。
- 短期大学部の学科別で経験率が特に高いのは、健康・スポーツ学科、食生活学科で、ともに9割後半である。対して、日本語文化学科は経験率が5割強と低い。

Q3 あなたが在学中に受講した授業の中で、次のような経験がどの程度ありましたか。

<グループワークや実験・実習など協働作業をする授業>

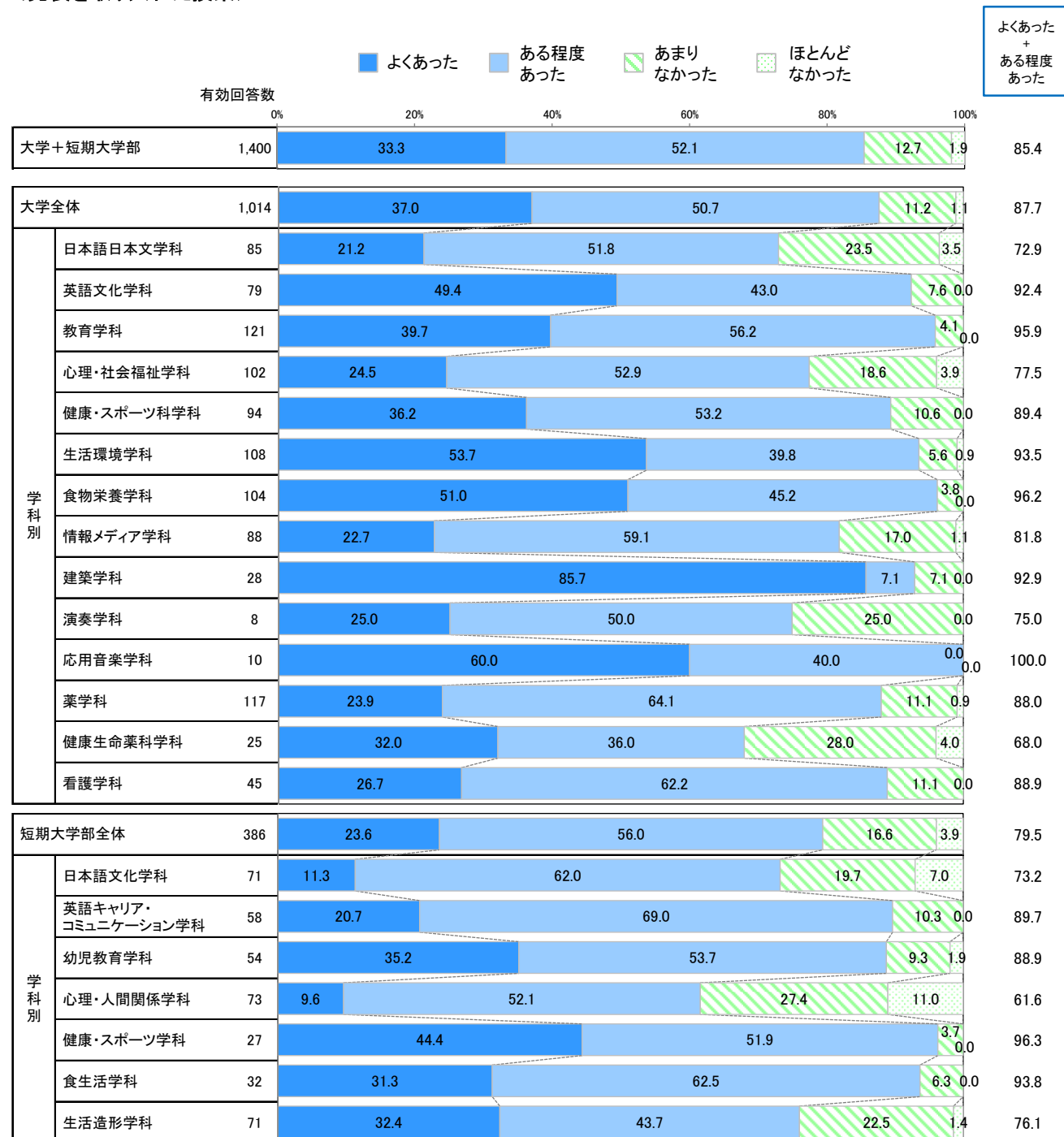


学びの機会【学科別】

- 発表を取り入れた授業の経験率(「よくあった」+「ある程度あった」)は、大学で約9割、短期大学部では約8割である。
- 大学の学科別で経験率が特に高いのは、食物栄養学科、応用音楽学科、教育学科で、ともに9割後半を超える。対して、日本語日本文学科、健康生命薬科学科は経験率が約7割と低い。
- 短期大学部の学科別で経験率が特に高いのは、健康・スポーツ学科、食生活学科で、ともに9割を超える。対して、心理・人間関係学科は経験率が約6割にとどまる。

Q3 あなたが在学中に受講した授業の中で、次のような経験がどの程度ありましたか。

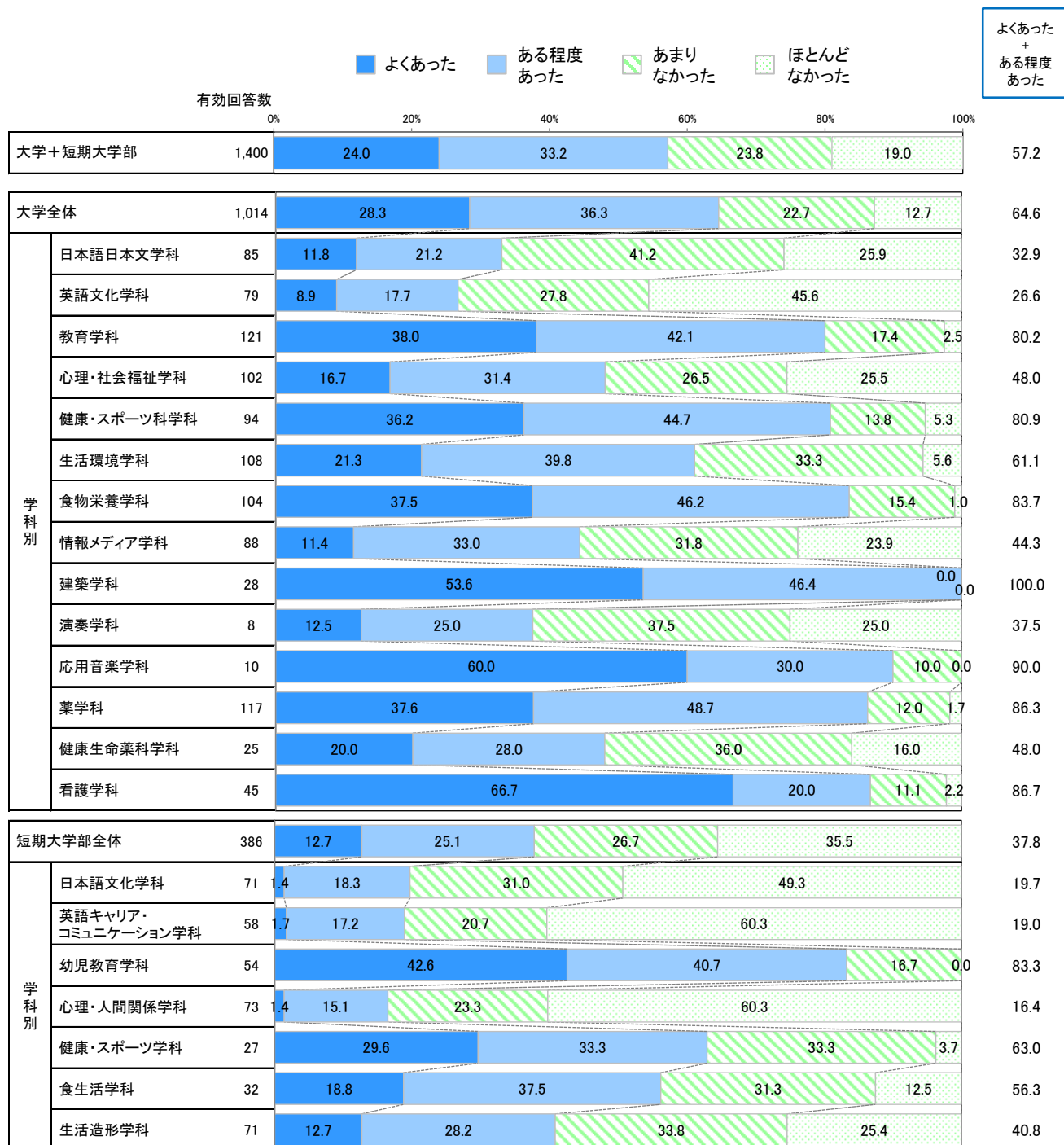
<発表を取り入れた授業>



- 教室外での活動や実習を行う授業の経験率(「よくあった」+「ある程度あった」)は、大学で6割台、短期大学部では約4割である。
- 大学の学科別で経験率が特に高いのは、建築学科、応用音楽学科で、ともに9割以上。対して、日本語日本文学科、英語文化学科、演奏学科は、いずれも経験率が4割に満たない。
- 短期大学部の学科別で経験率が最も高いのは、幼児教育学科で、8割強と高い。対して、日本語文化学科、英語キャリア・コミュニケーション学科、心理・人間関係学科は、経験率が2割未満と低く、「よくあった(TOP1)」と回答した人の割合もいずれも2%以下ときわめて低い。

Q3 あなたが在学中に受講した授業の中で、次のような経験がどの程度ありましたか。

<教室外での活動や実習を行う授業>

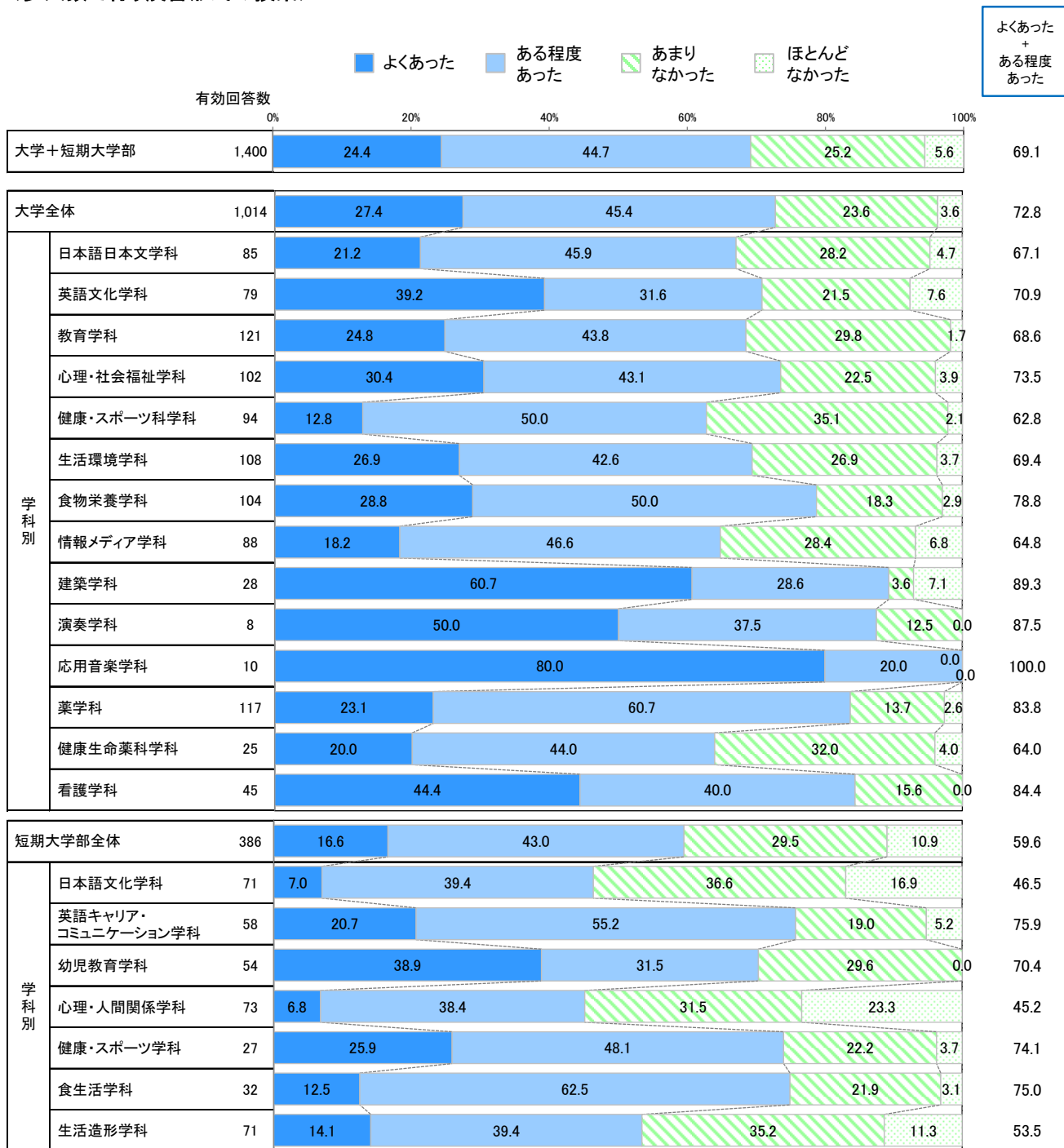


学びの機会【学科別】

- 少人数で行う演習形式の授業の経験率(「よくあった」+「ある程度あった」)は、大学で約7割、短期大学部では約6割である。
- 大学の学科別で経験率が特に高いのは、建築学科、演奏学科、応用音楽学科で、いずれも8割台後半～100.0%である。対して、健康・スポーツ科学科、情報メディア学科、健康生命薬科学科は、経験率が6割台前半とやや低い。
- 短期大学部の学科別で経験率が特に高いのは、英語キャリア・コミュニケーション学科、食生活学科で、7割台後半である。対して、日本語文化学科、心理・人間関係学科は、ともに経験率が5割に満たず、「ほとんどなかった」と回答した学生が2割前後にのぼる。

Q3 あなたが在学中に受講した授業の中で、次のような経験がどの程度ありましたか。

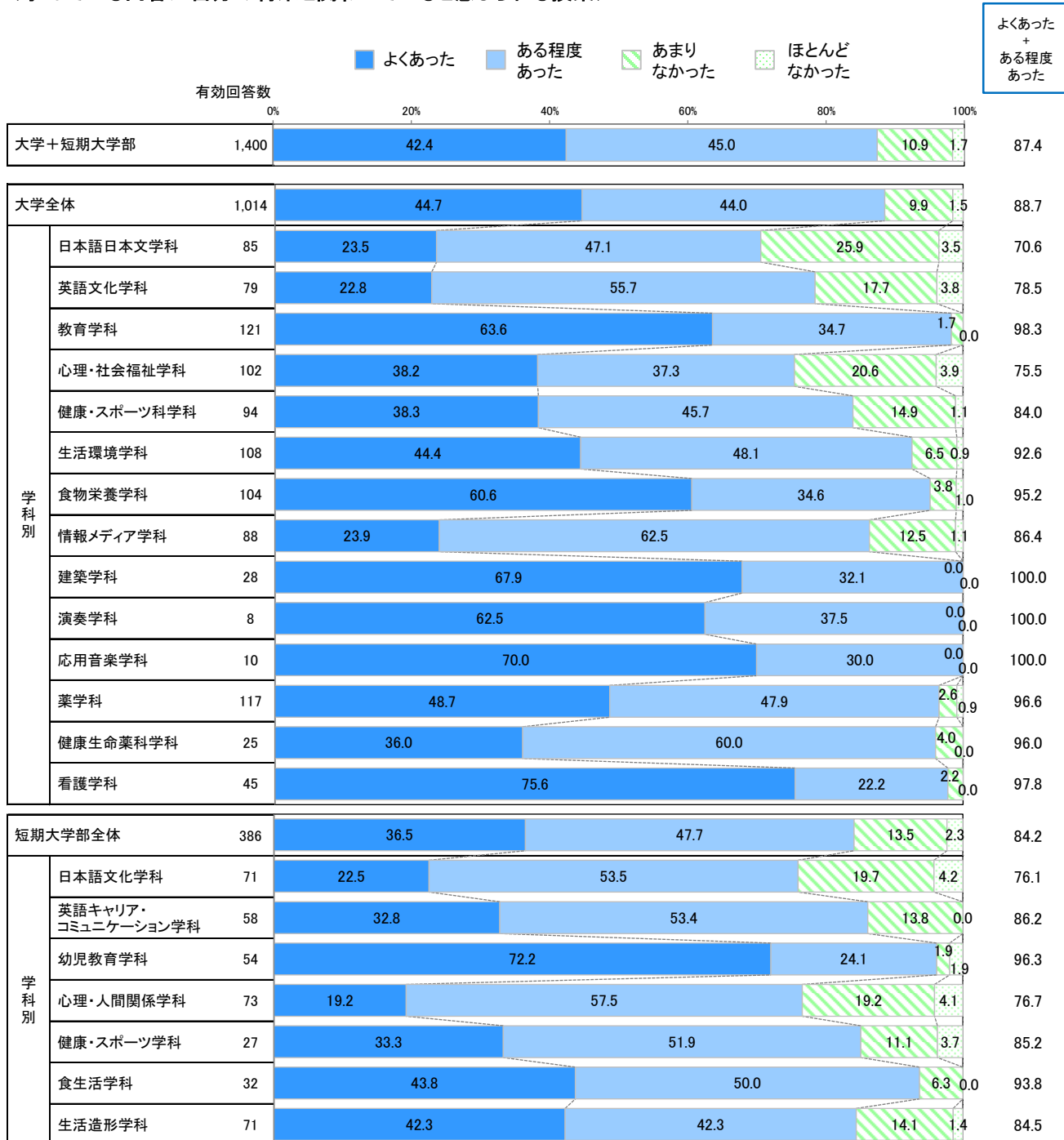
<少人数で行う演習形式の授業>



- 学んでいる内容が自分の将来と関わっていると感じられる授業の経験率(「よくあった」+「ある程度あった」)は、大学で約9割、短期大学部では8割台である。
- 大学の学科別で経験率が特に高いのは、建築学科、演奏学科、応用音楽学科で、いずれも100.0%である。対して、日本語日本文学科、英語文化学科、心理・社会福祉学科は、経験率が8割に満たず低い。
- 短期大学部の学科別で経験率が最も高いのは幼児教育学科で、96.3%である。対して、日本語文化学科、心理・人間関係学科は、経験率が7割台後半とやや低い。

Q3 あなたが在学中に受講した授業の中で、次のような経験がどの程度ありましたか。

<学んでいる内容が自分の将来と関わっていると感じられる授業>

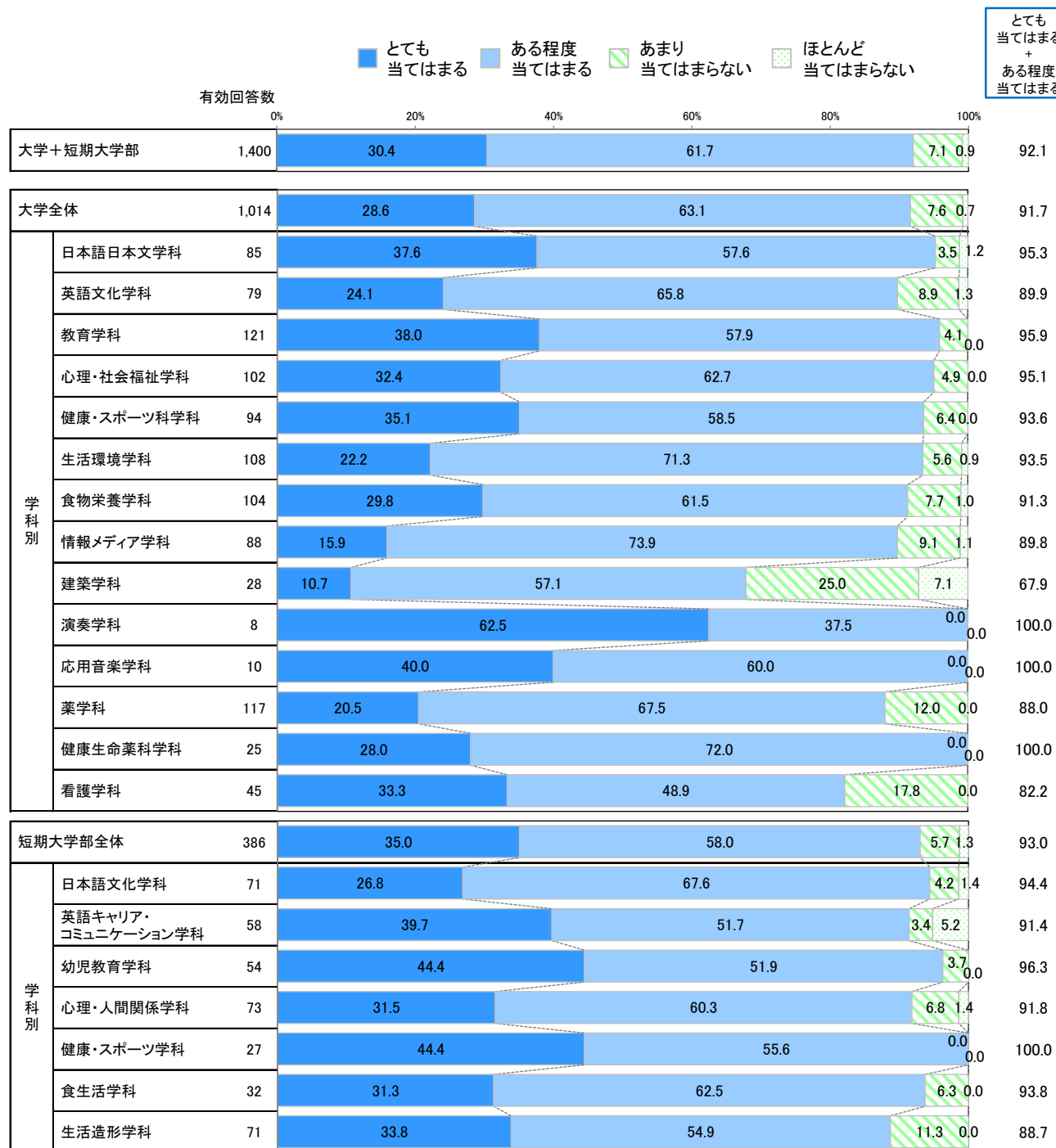


学びの充実度【学科別】

- 教養分野の教育(共通教育)が充実している(「とても当てはまる」+「ある程度当てはまる」と回答した充実度評価は、大学で約9割、短期大学部では9割強である。
- 大学の学科別で充実度評価が特に高いのは、演奏学科、応用音楽学科、健康生命薬科学科で、いずれも100.0%である。対して、建築学科は、充実度評価が約7割と低く、「あまり当てはまらない」の割合が2割半ばを占める。
- 短期大学部の学科別で充実度評価が特に高いのは、幼児教育学科、健康・スポーツ学科で、ともに95%を超える。

Q6 あなたは、在学期間を通して、本学の教育内容をどのように感じましたか。

<教養分野の教育(共通教育)が充実している>

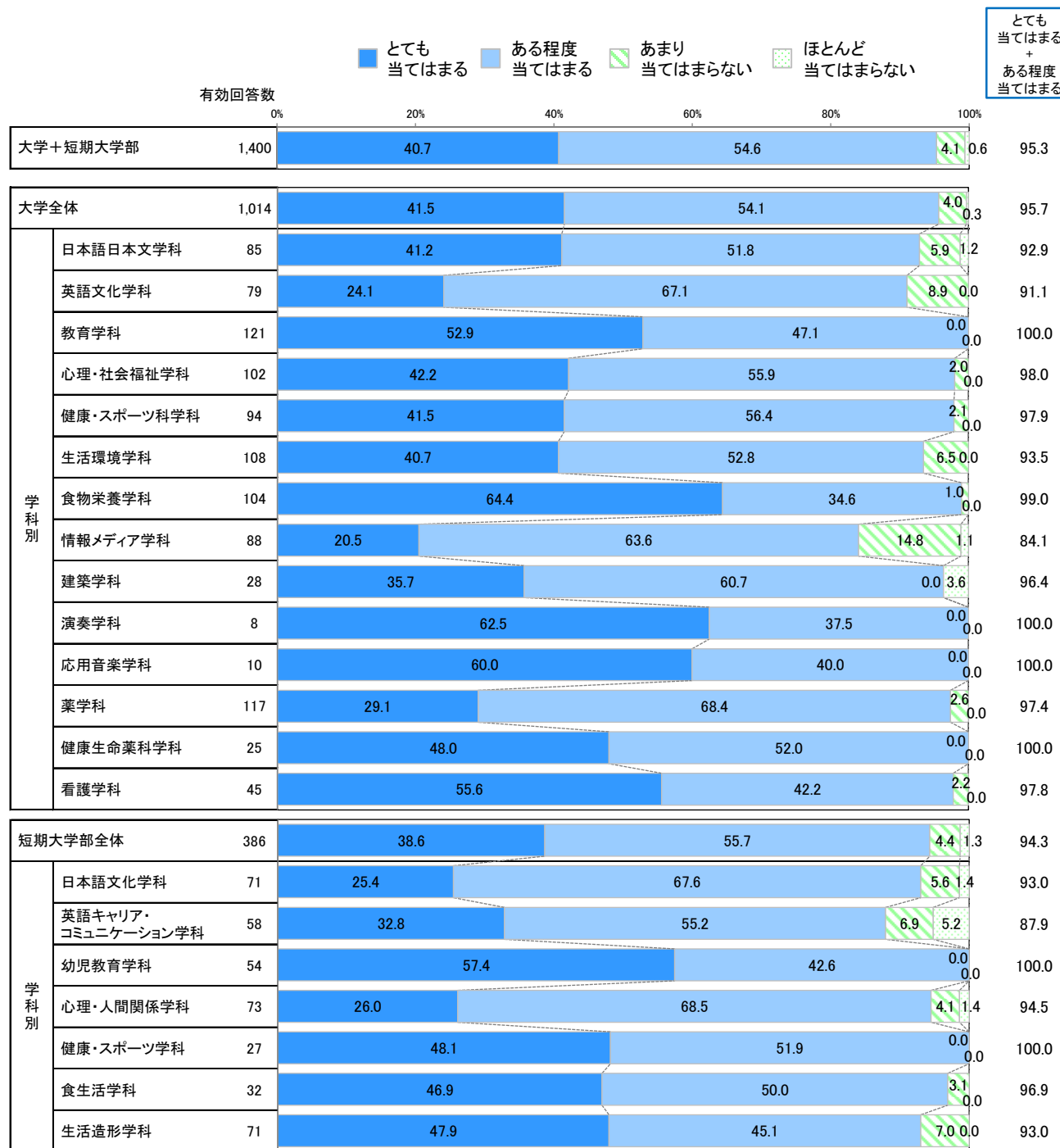


学びの充実度【学科別】

- 専門分野の教育が充実している(「とても当てはまる」+「ある程度当てはまる」と回答した充実度評価は、大学、短期大学部ともに9割台である。
- 大学の学科別で充実度評価が特に高いのは、教育学科、演奏学科、応用音楽学科、健康生命薬科学科で、いずれも100.0%である。対して、情報メディア学科は、充実度評価が唯一8割台と低い。
- 短期大学部の学科別で充実度評価が特に高いのは、幼児教育学科、健康・スポーツ学科で、ともに100.0%である。対して、英語キャリア・コミュニケーション学科は、充実度評価が9割にとどかずやや低い。

Q6 あなたは、在学期間を通して、本学の教育内容をどのように感じましたか。

<専門分野の教育が充実している>

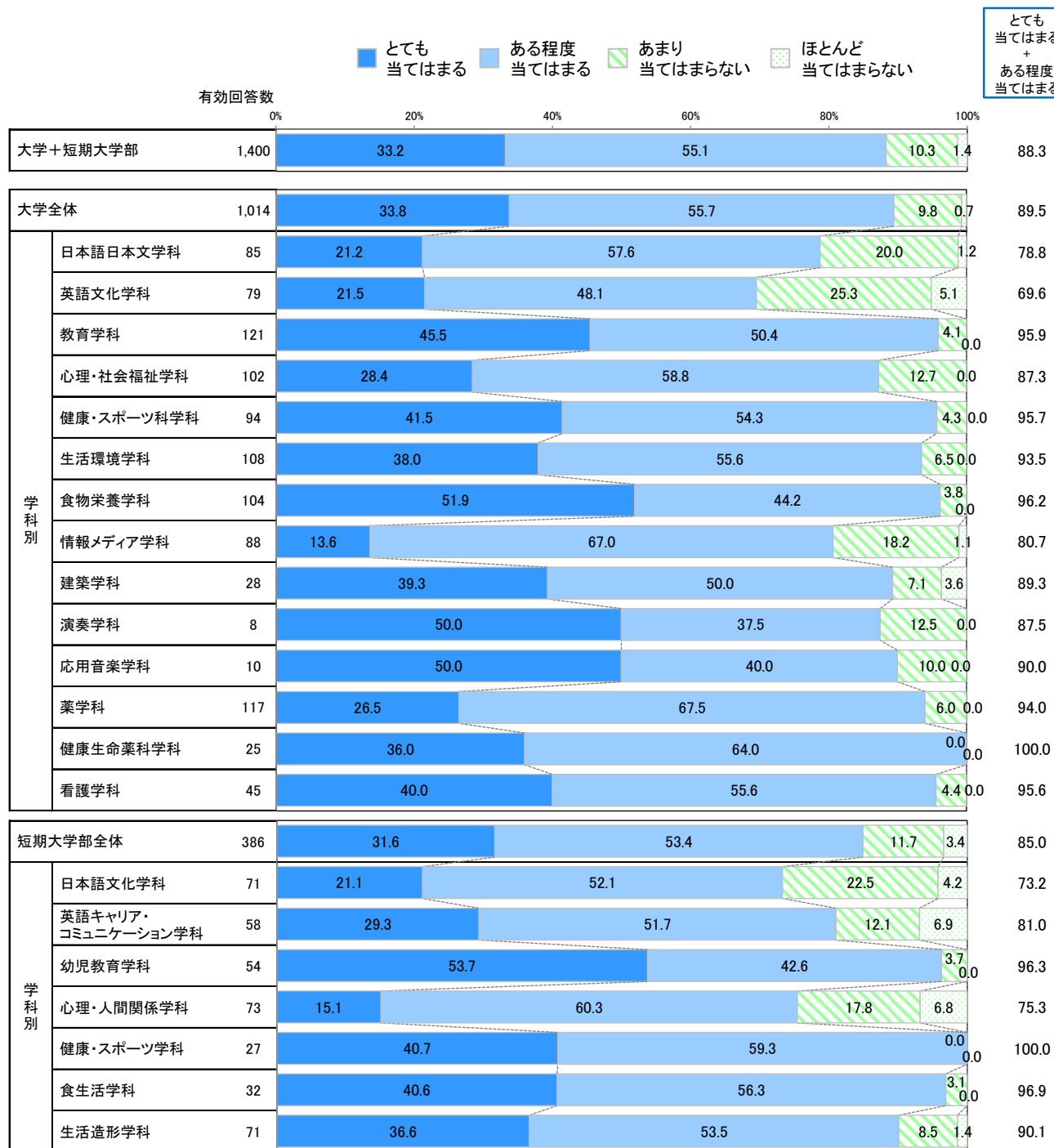


学びの充実度【学科別】

- 実践的・実務的教育が充実している(「とても当てはまる」+「ある程度当てはまる」と回答した充実度評価は、大学で約9割、短期大学部では8割半ばである。
- 大学の学科別で充実度評価が高いのは、教育学科、健康・スポーツ科学科、食物栄養学科、健康生命薬科学科、看護学科で、いずれも95%以上である。対して、英語文化学科は、充実度評価が約7割にとどまる。
- 短期大学部の学科別で充実度評価が特に高いのは、幼児教育学科、健康・スポーツ学科、食生活学科で、いずれも95%を超える。対して、日本語文化学科、心理・人間関係学科の評価は8割に満たない。

Q6 あなたは、在学期間を通して、本学の教育内容をどのように感じましたか。

<実践的・実務的教育が充実している>

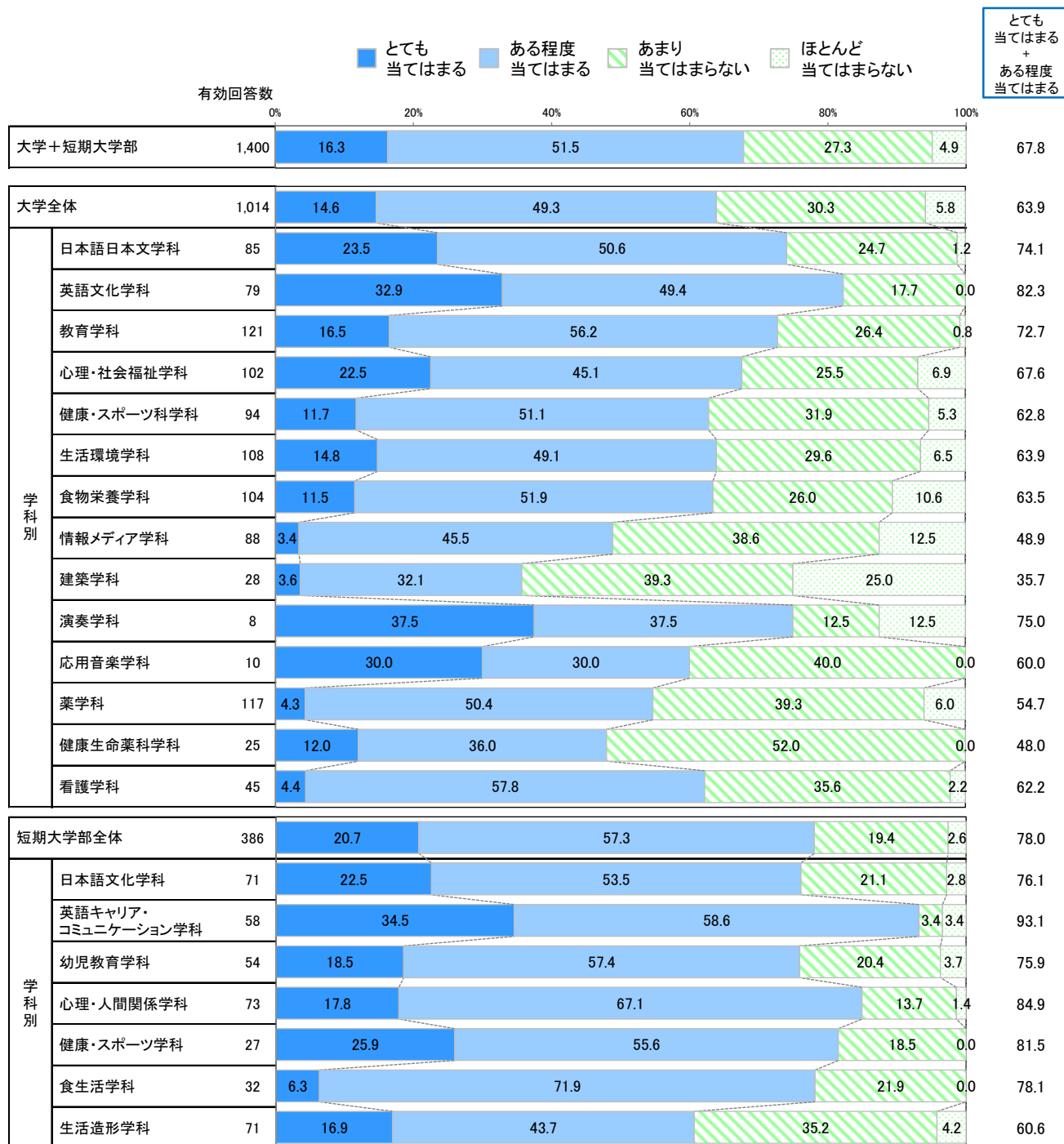


学びの充実度【学科別】

- 外国語教育が充実している（「とても当てはまる」+「ある程度当てはまる」）と回答した充実度評価は、大学で6割強、短期大学部では約8割である。
- 大学の学科別で充実度評価が最も高いのは、英語文化学科で、約8割である。対して、建築学科は、充実度評価が唯一4割に満たず低い。
- 短期大学部の学科別で充実度評価が最も高いのは、英語キャリア・コミュニケーション学科で、9割強と高い。対して、生活造形学科は、充実度評価が約6割と低い。

Q6 あなたは、在学期間を通して、本学の教育内容をどのように感じましたか。

<外国語教育が充実している>

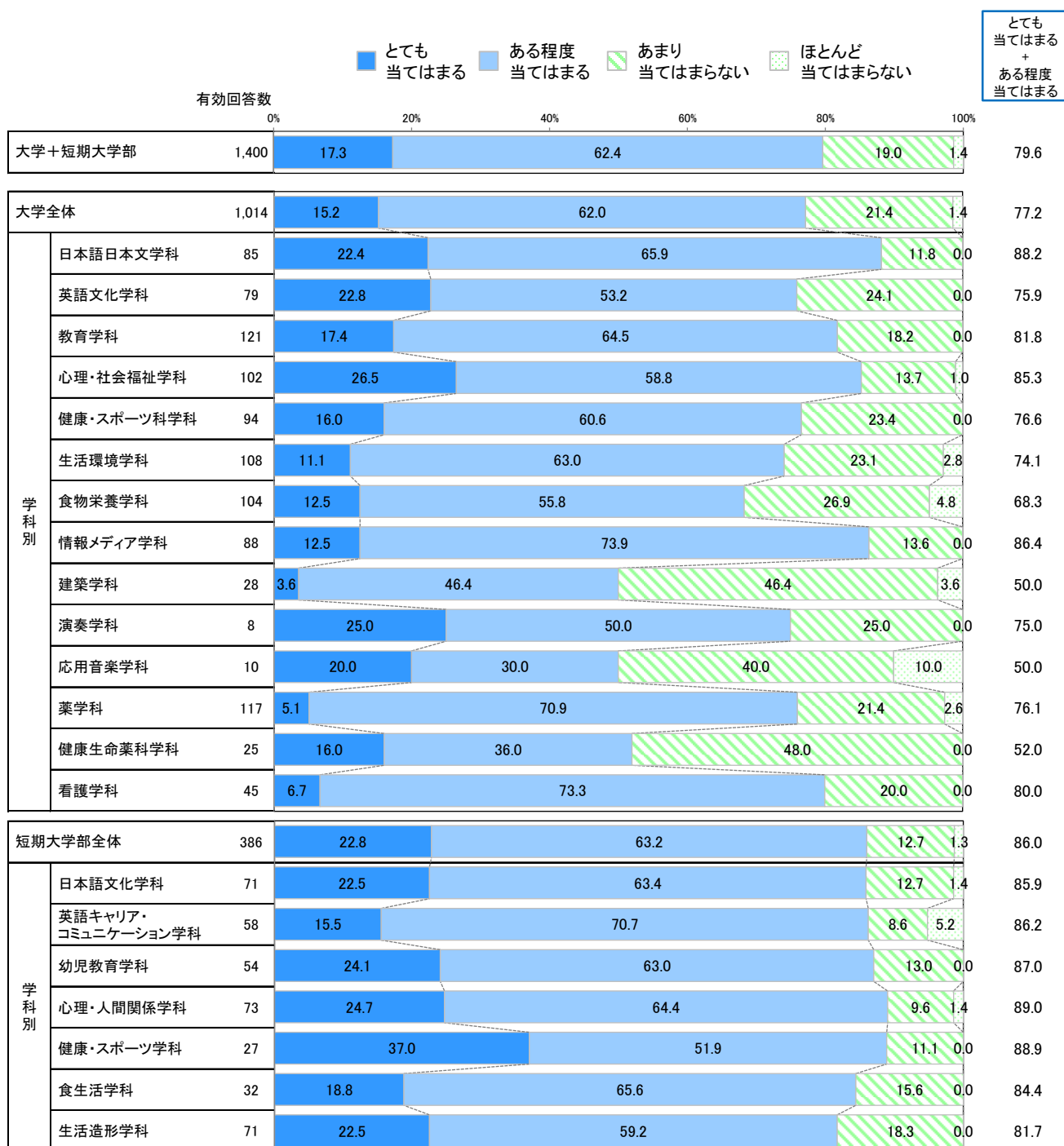


学びの充実度【学科別】

- 情報リテラシー教育が充実している(「とても当てはまる」+「ある程度当てはまる」と回答した充実度評価は、大学で約8割、短期大学部では8割台後半である。
- 大学の学科別で充実度評価が特に高いのは、日本語日本文学科、情報メディア学科で、ともに8割台後半を超えている。対して、建築学科、応用音楽学科、健康生命薬科学科は、充実度評価が約5割と低い。
- 短期大学部の学科別で充実度評価が特に高いのは、心理・人間関係学科、健康・スポーツ学科で、ともに約9割とやや高い。

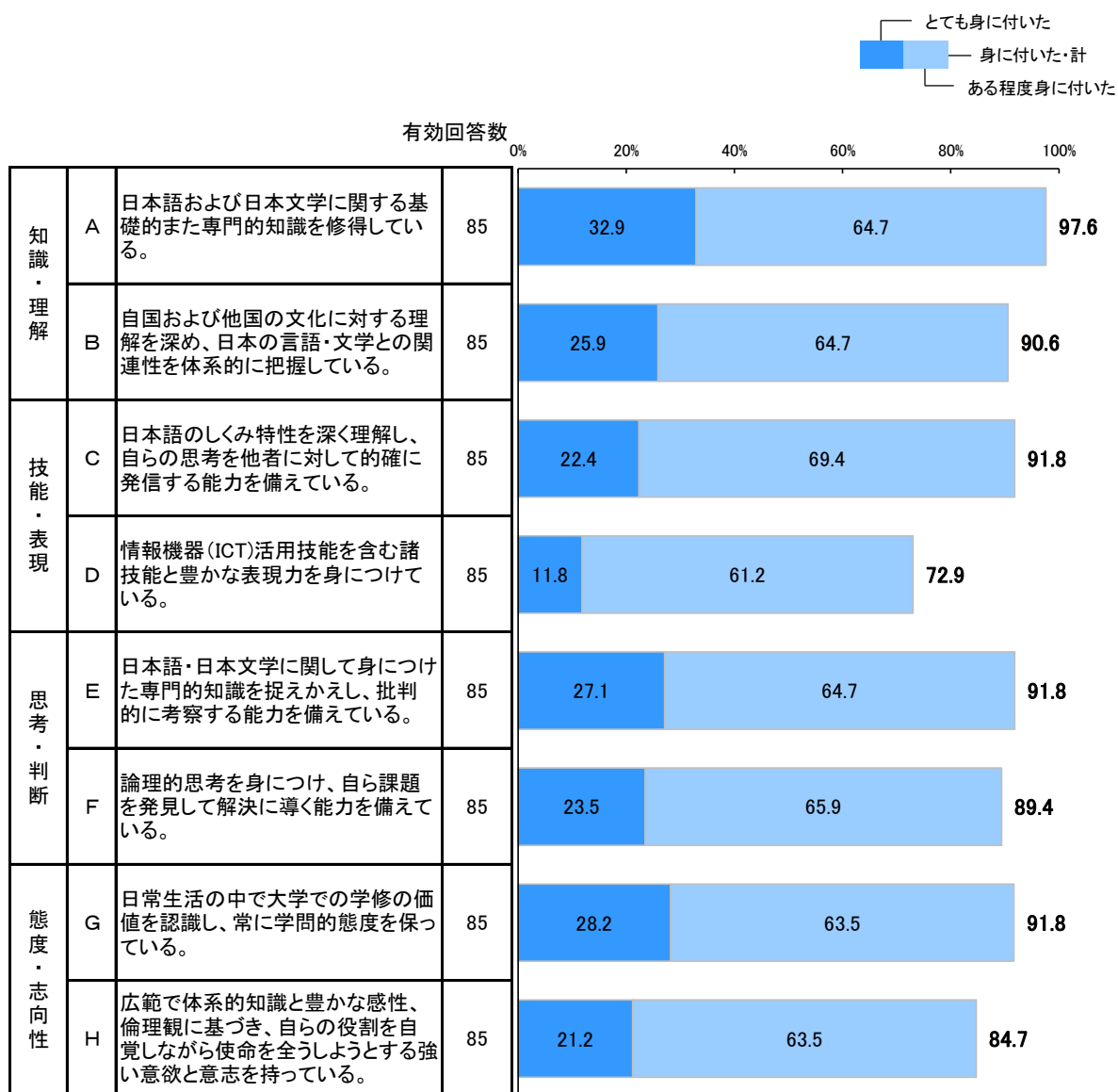
Q6 あなたは、在学期間を通して、本学の教育内容をどのように感じましたか。

<情報リテラシー教育が充実している>

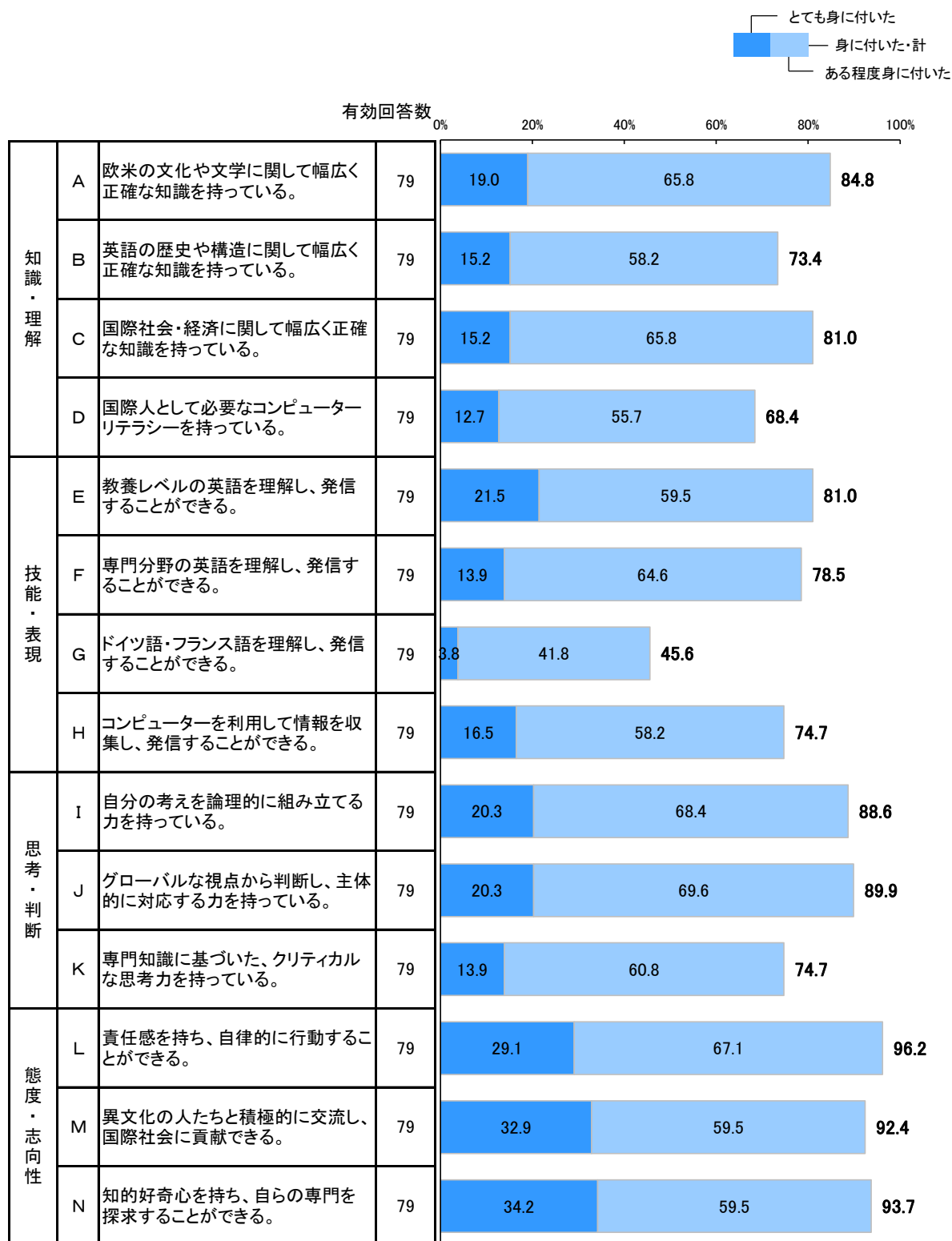


**アンケート結果 詳細内容
【ディプロマ・ポリシーの修得度】**

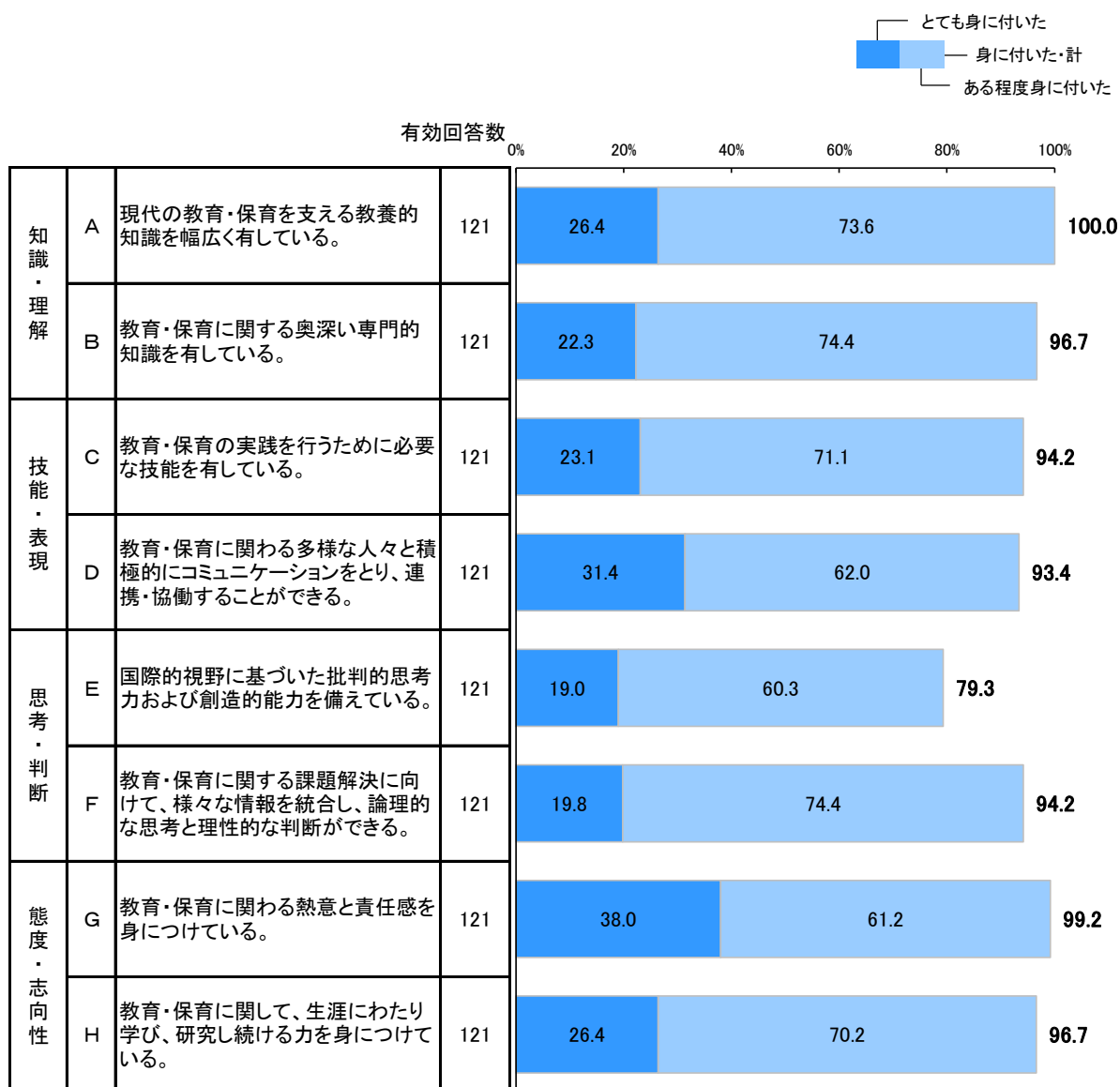
Q5 あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。



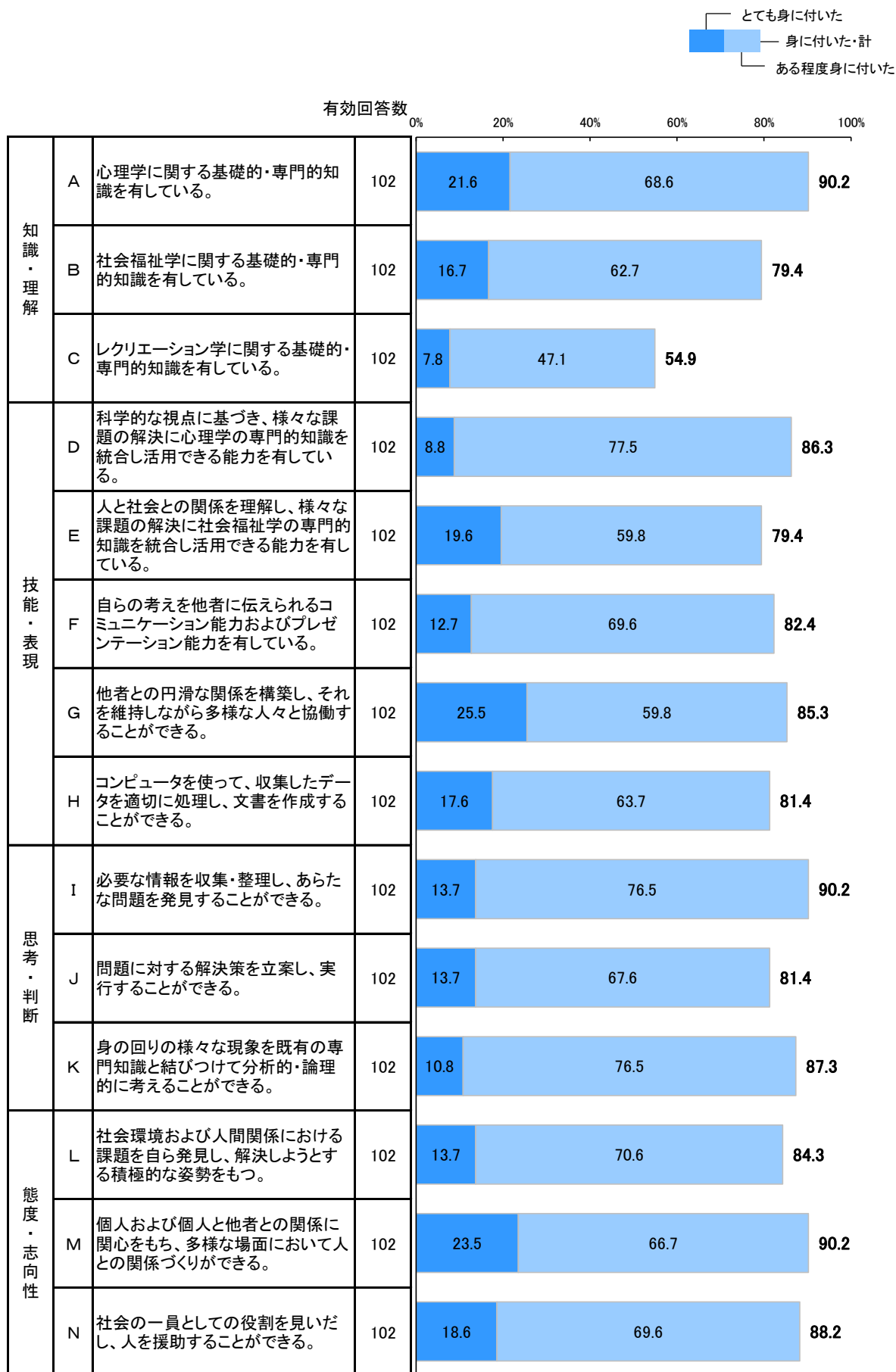
Q5 あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。



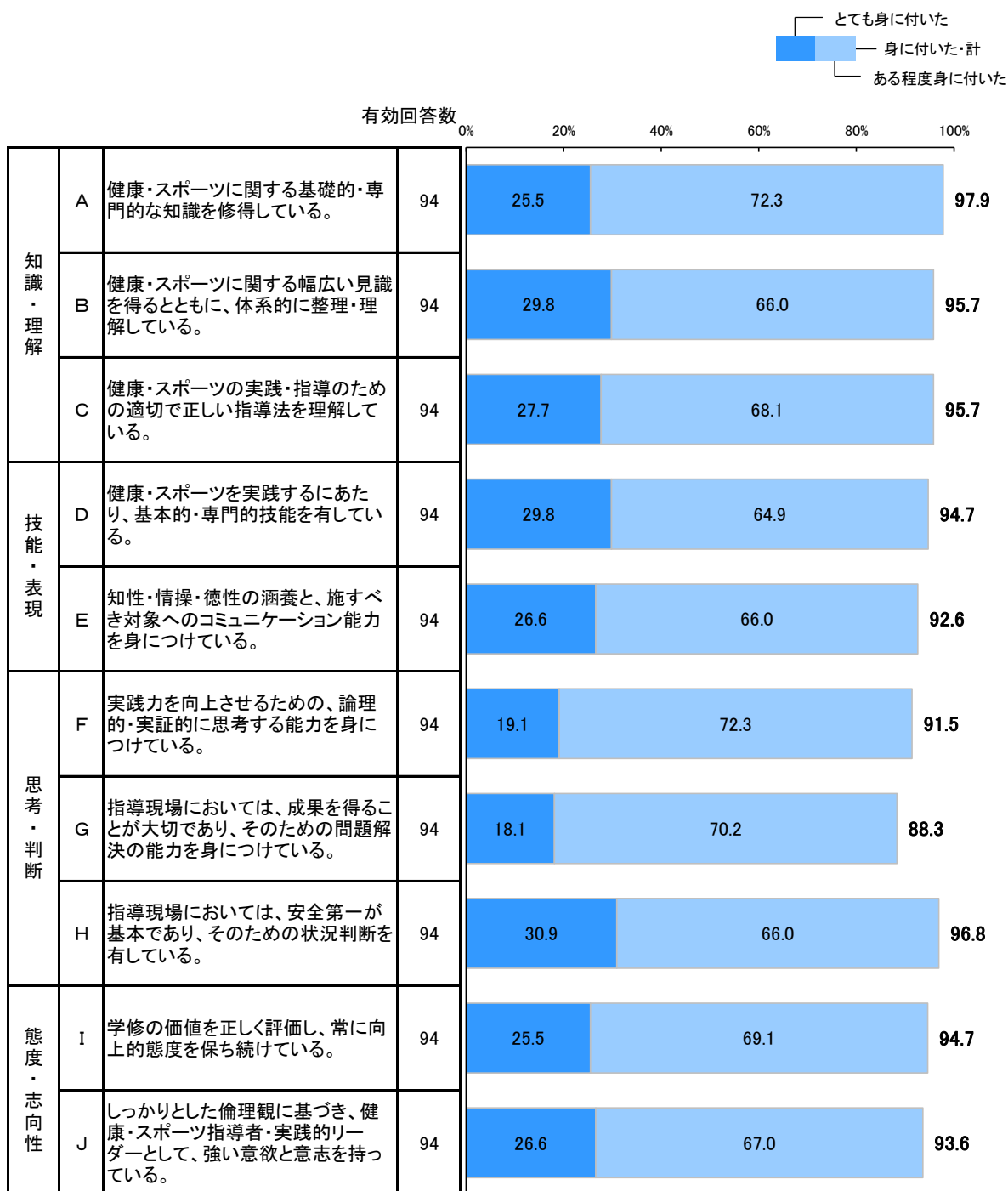
Q5 あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。



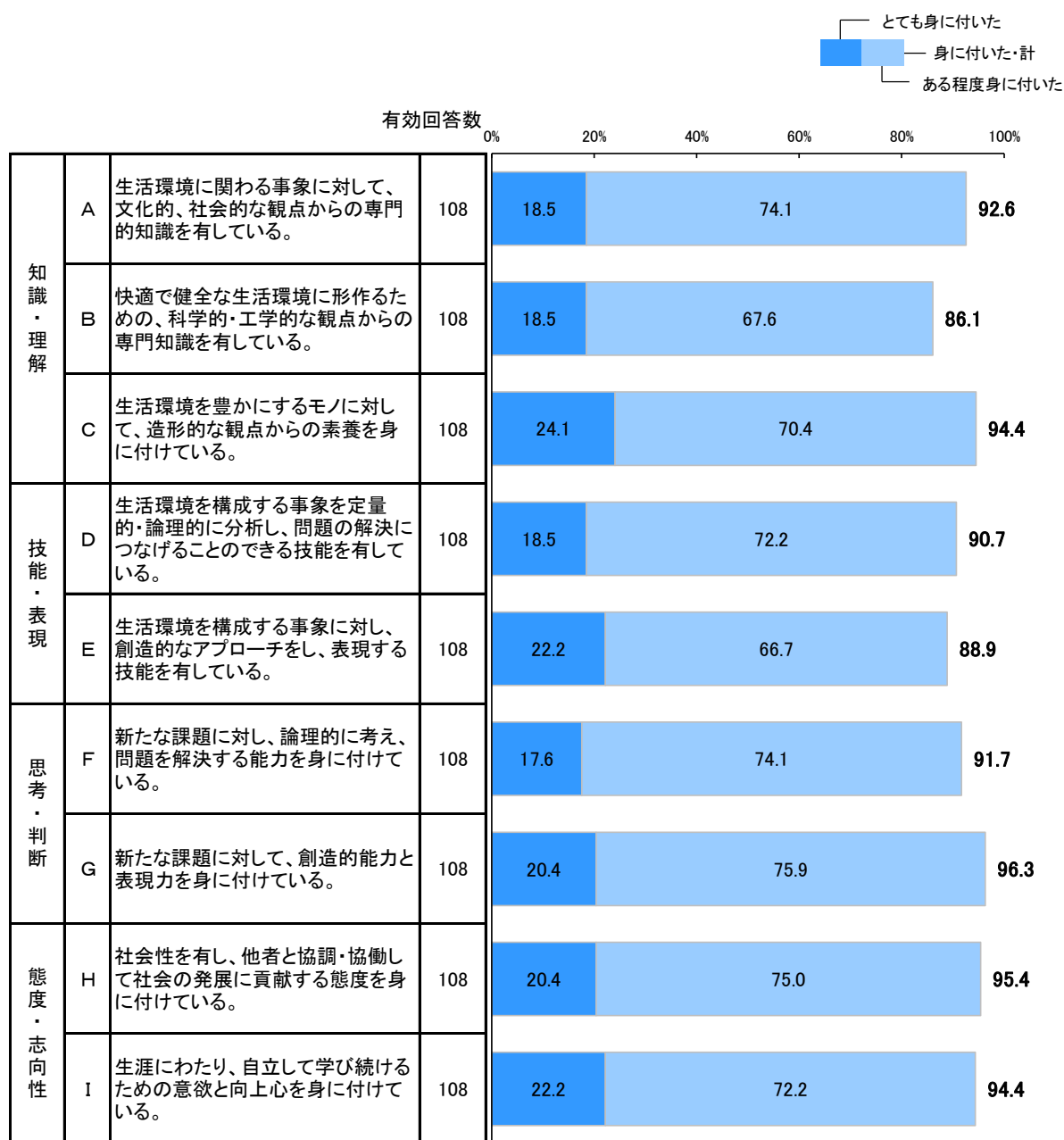
Q5 あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。



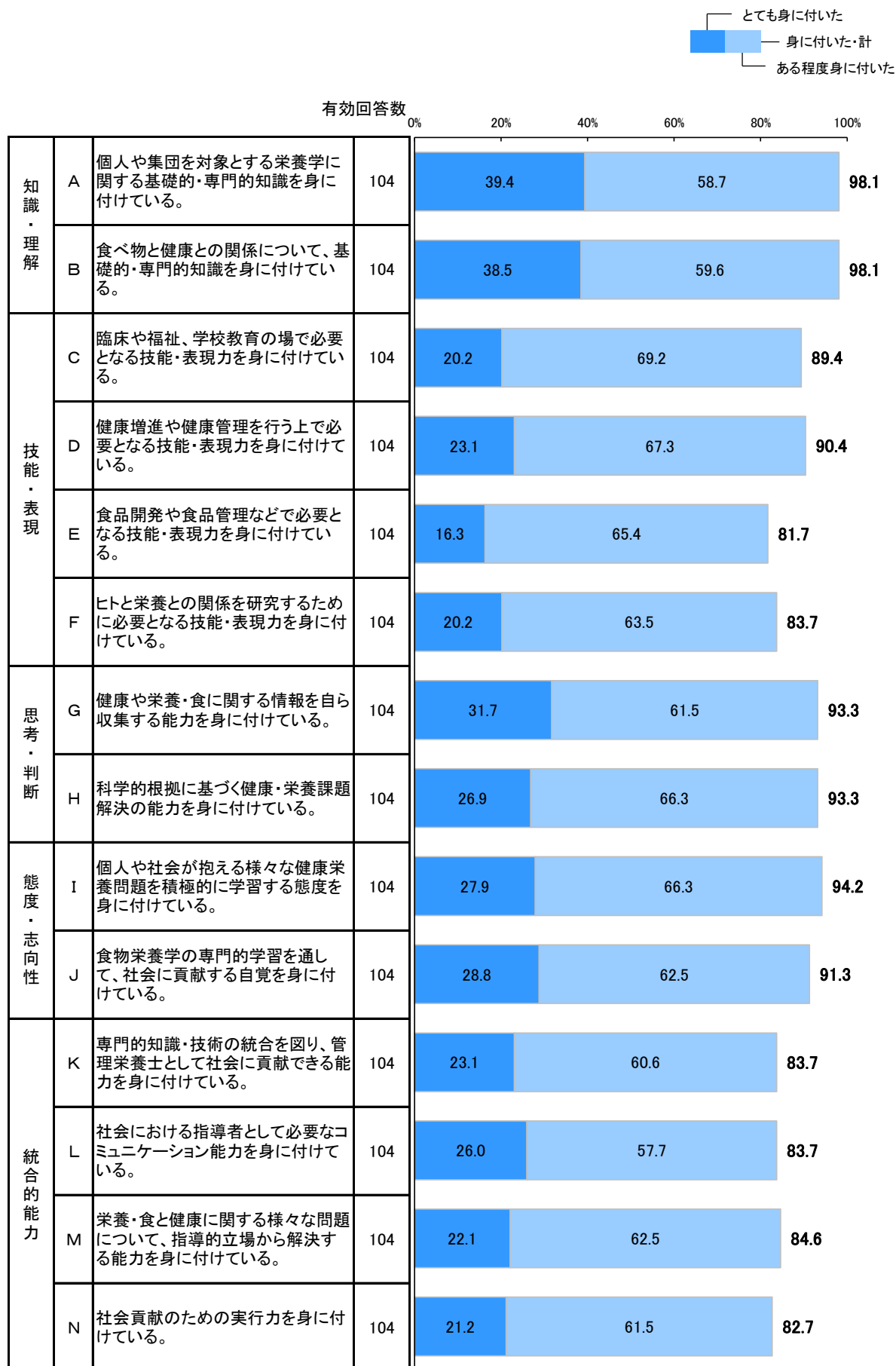
Q5 あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。



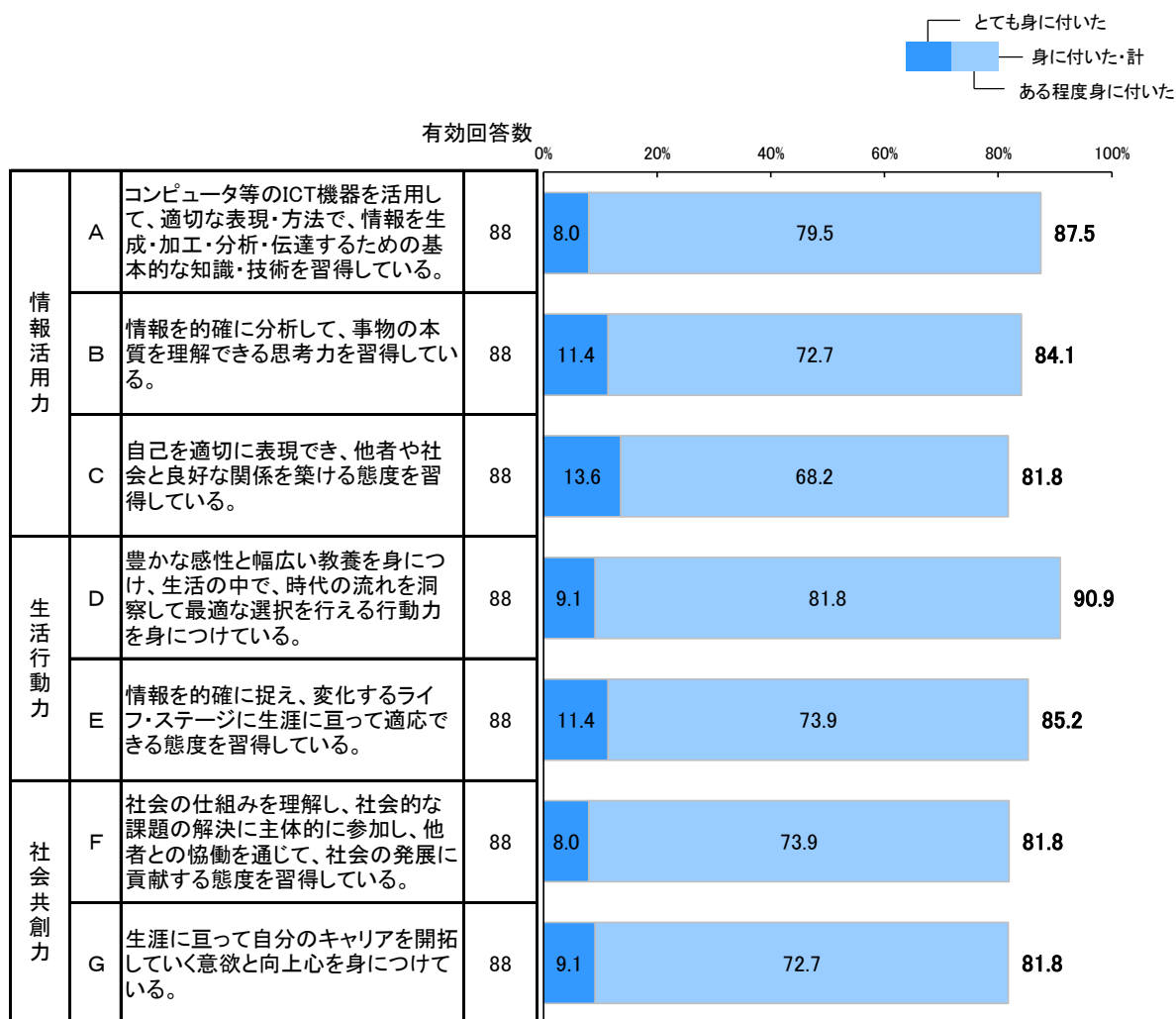
Q5 あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。



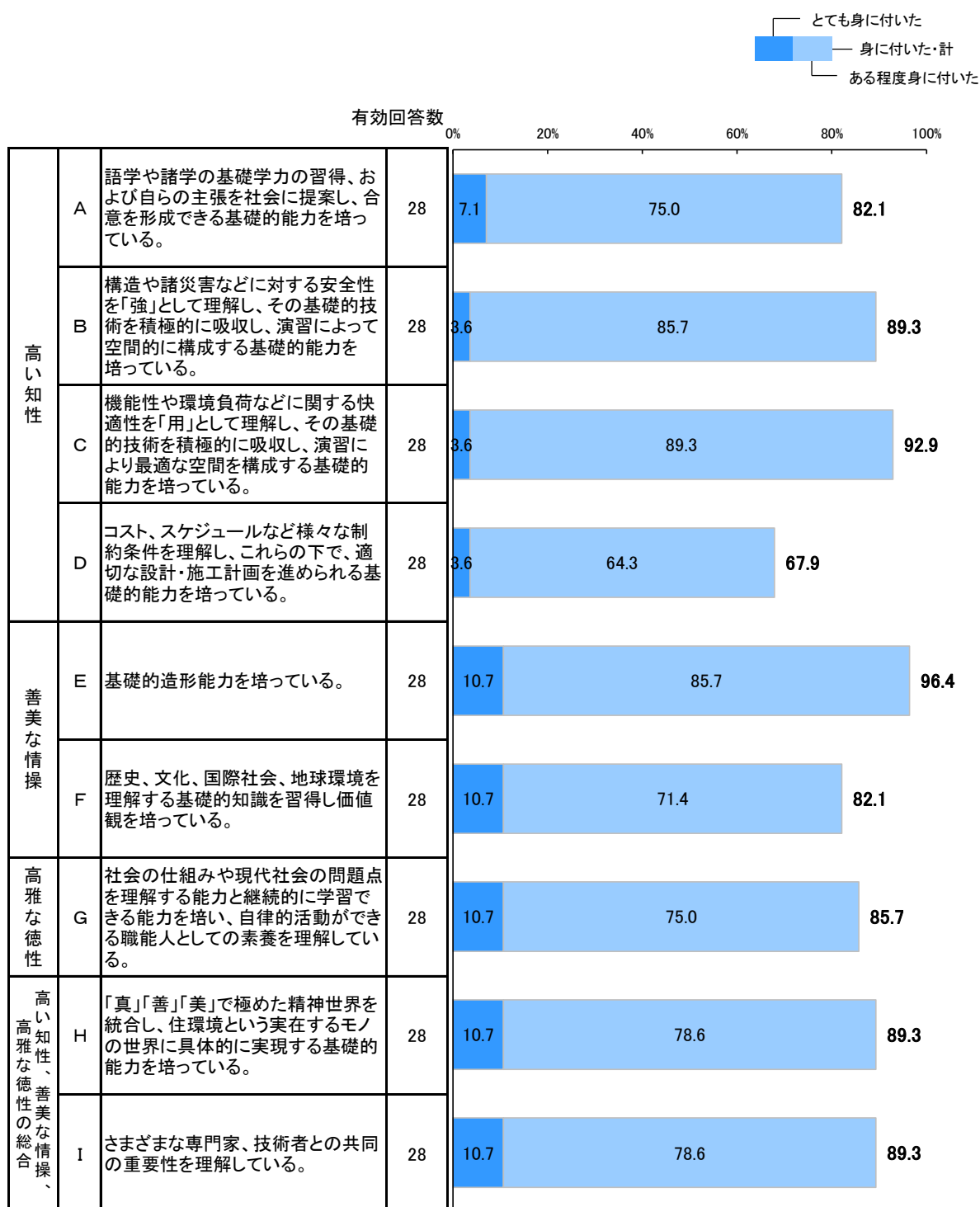
Q5 あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。



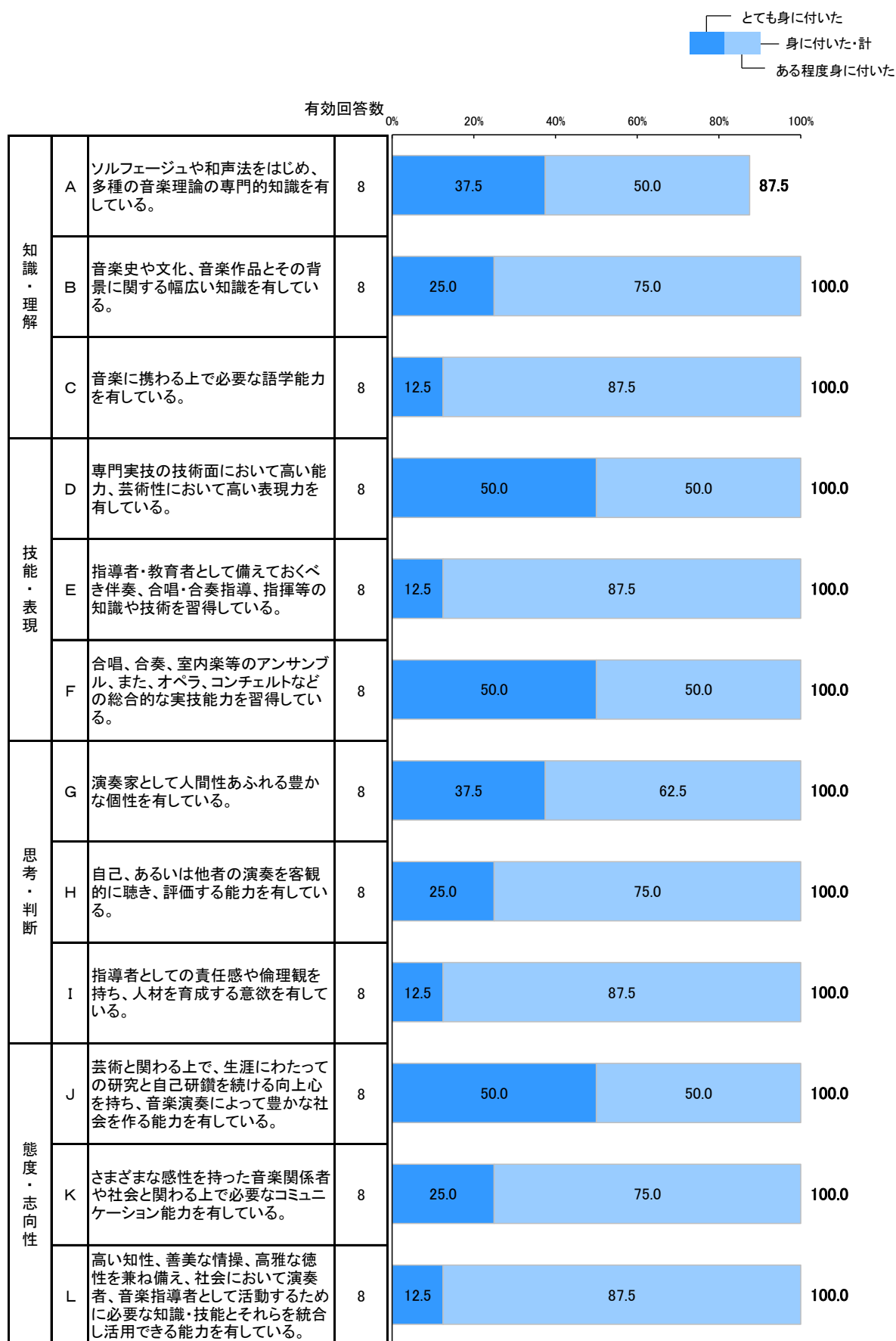
Q5 あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。



Q5 あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。

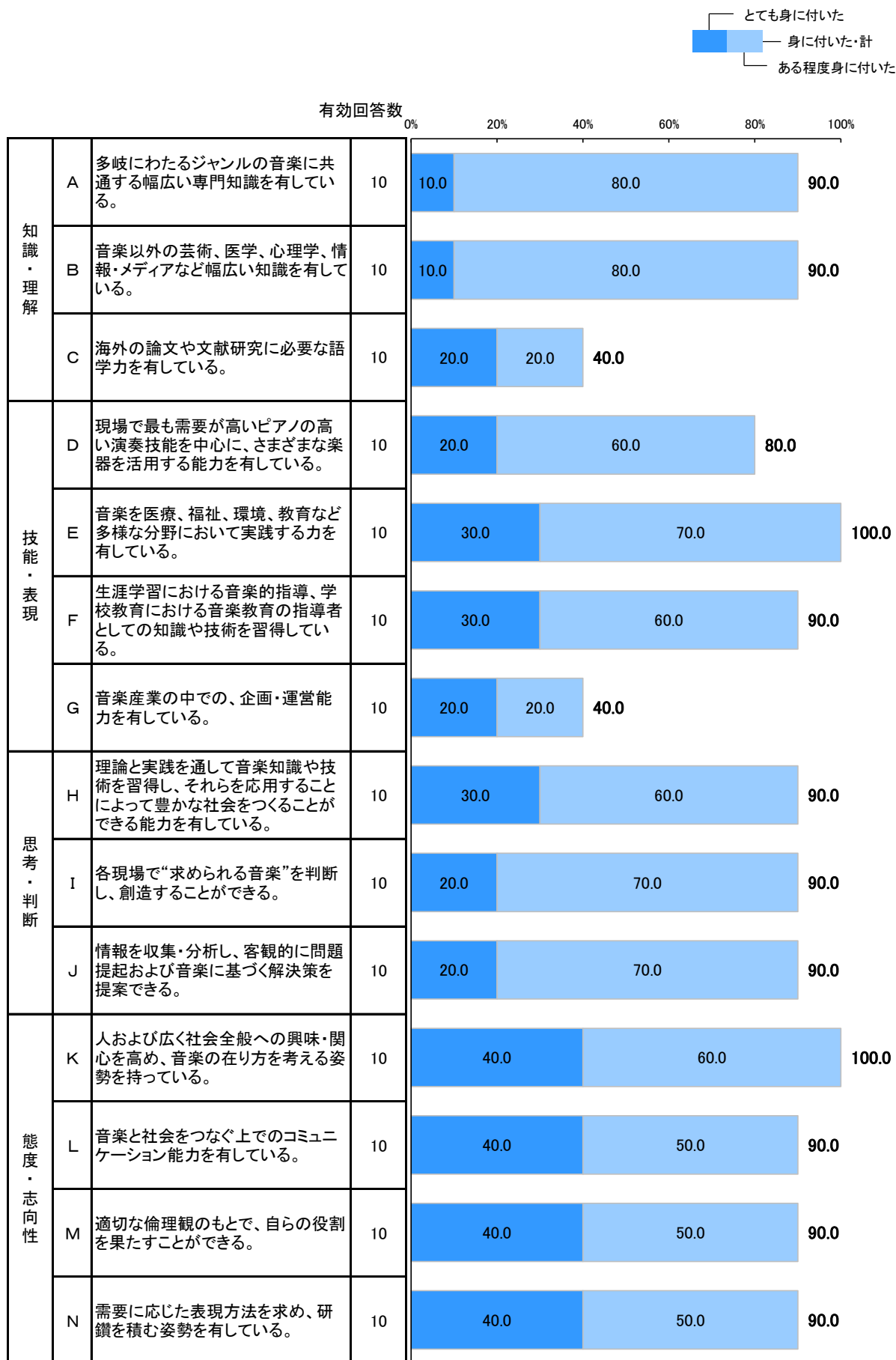


Q5 あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。

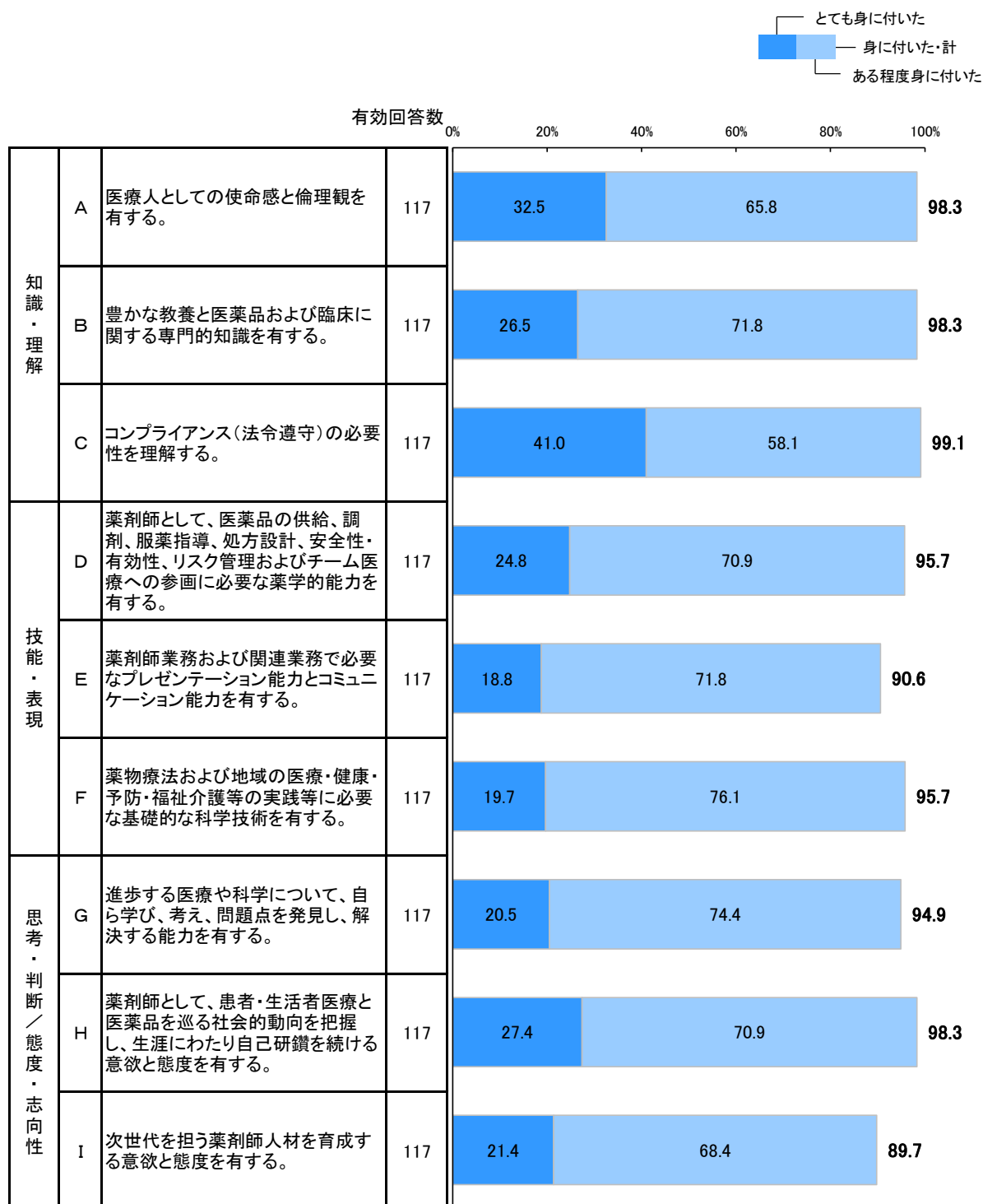


修得した能力【大学 音楽学部 応用音楽学科】

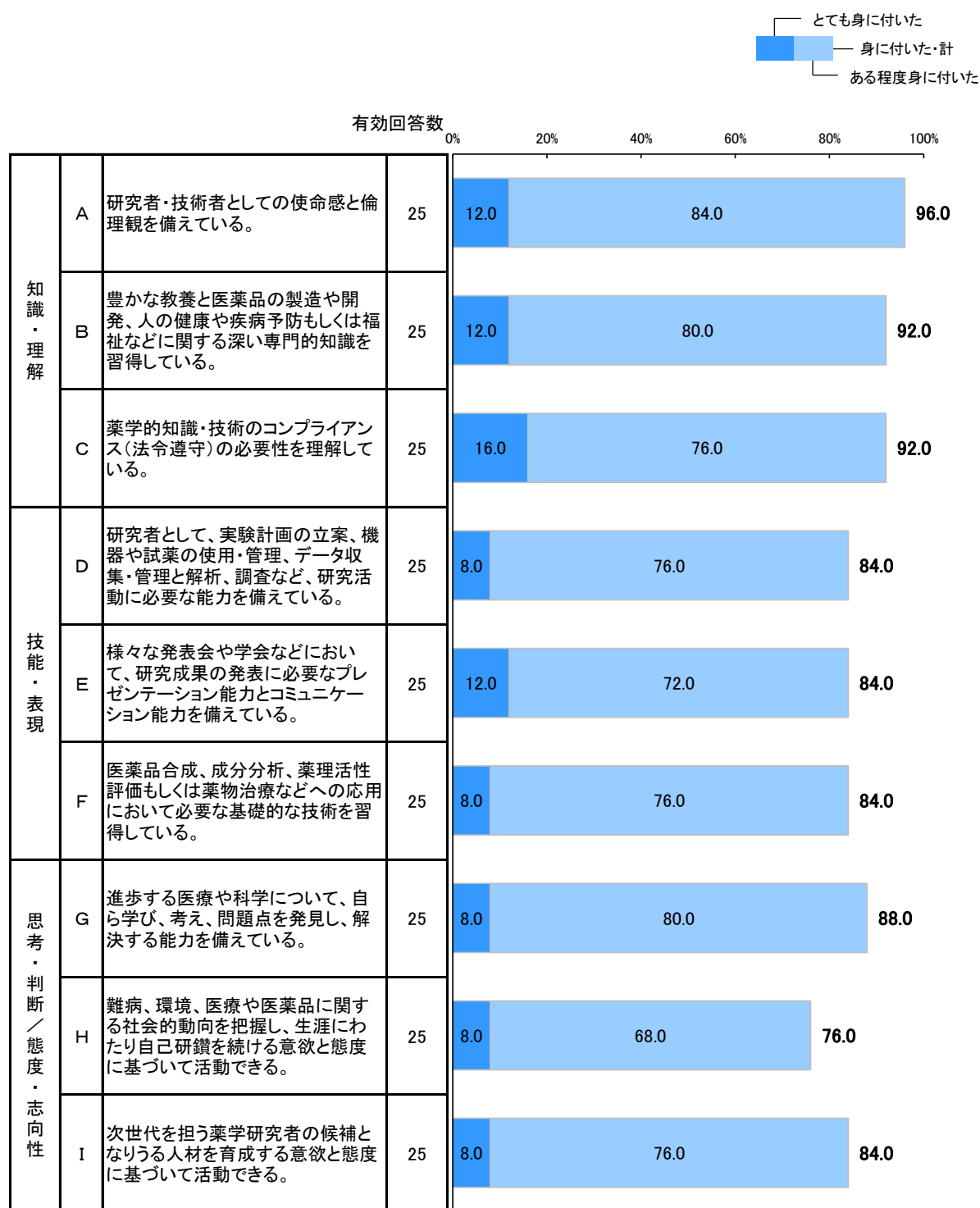
Q5 あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。



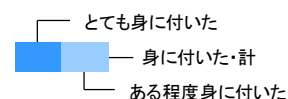
Q5 あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。



Q5 あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。

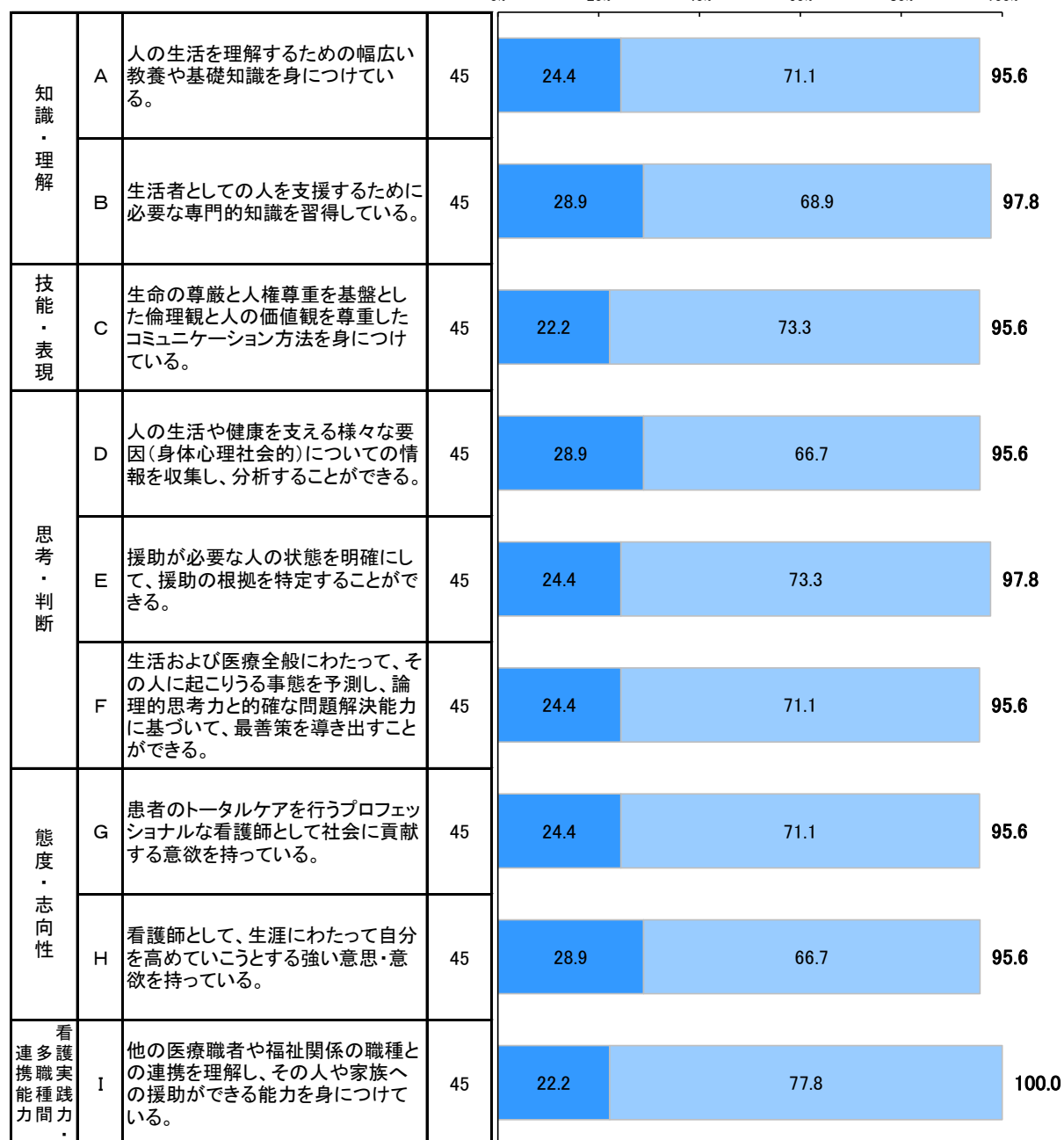


Q5 あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。

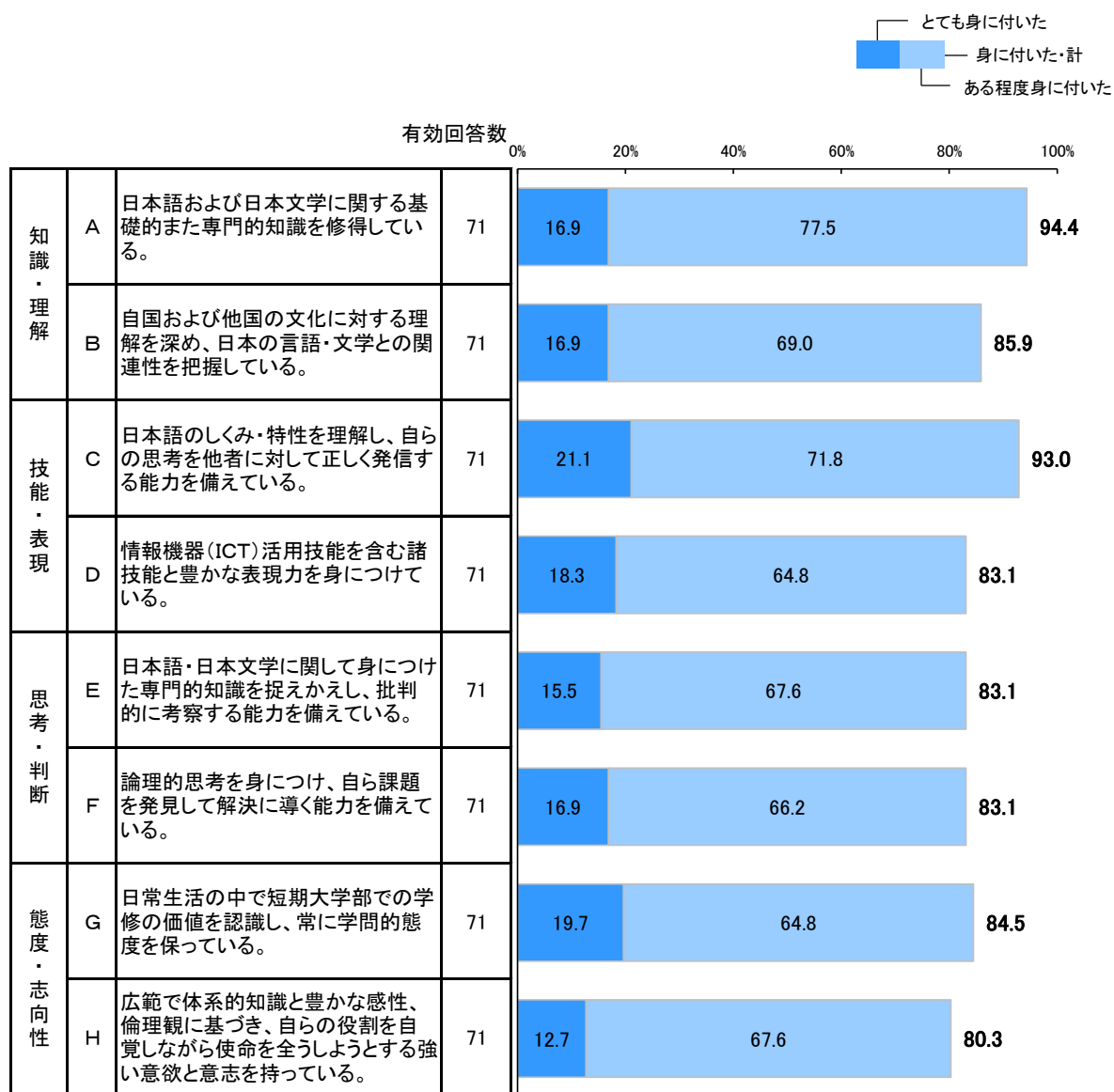


有効回答数

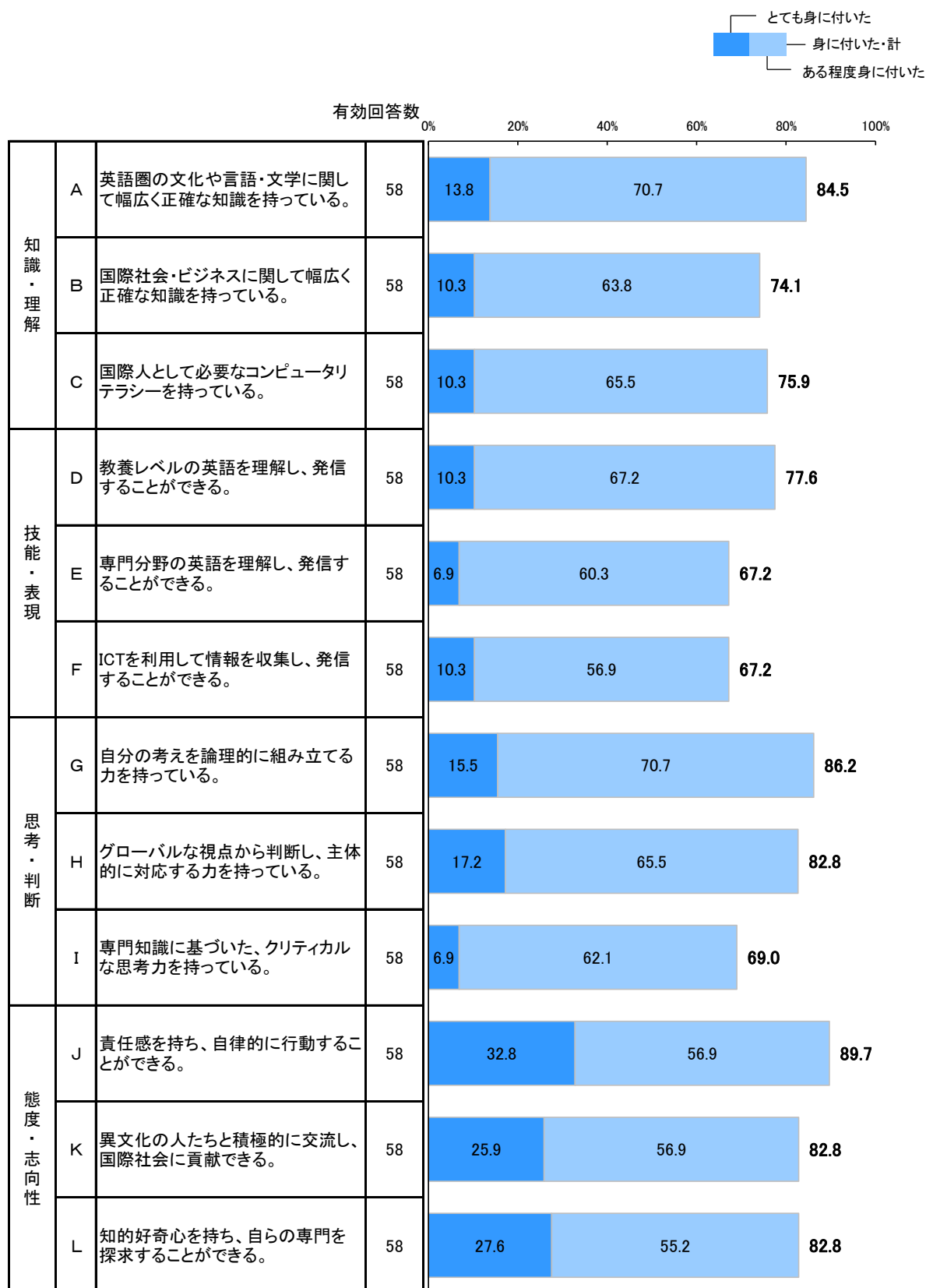
0% 20% 40% 60% 80% 100%



Q5 あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。

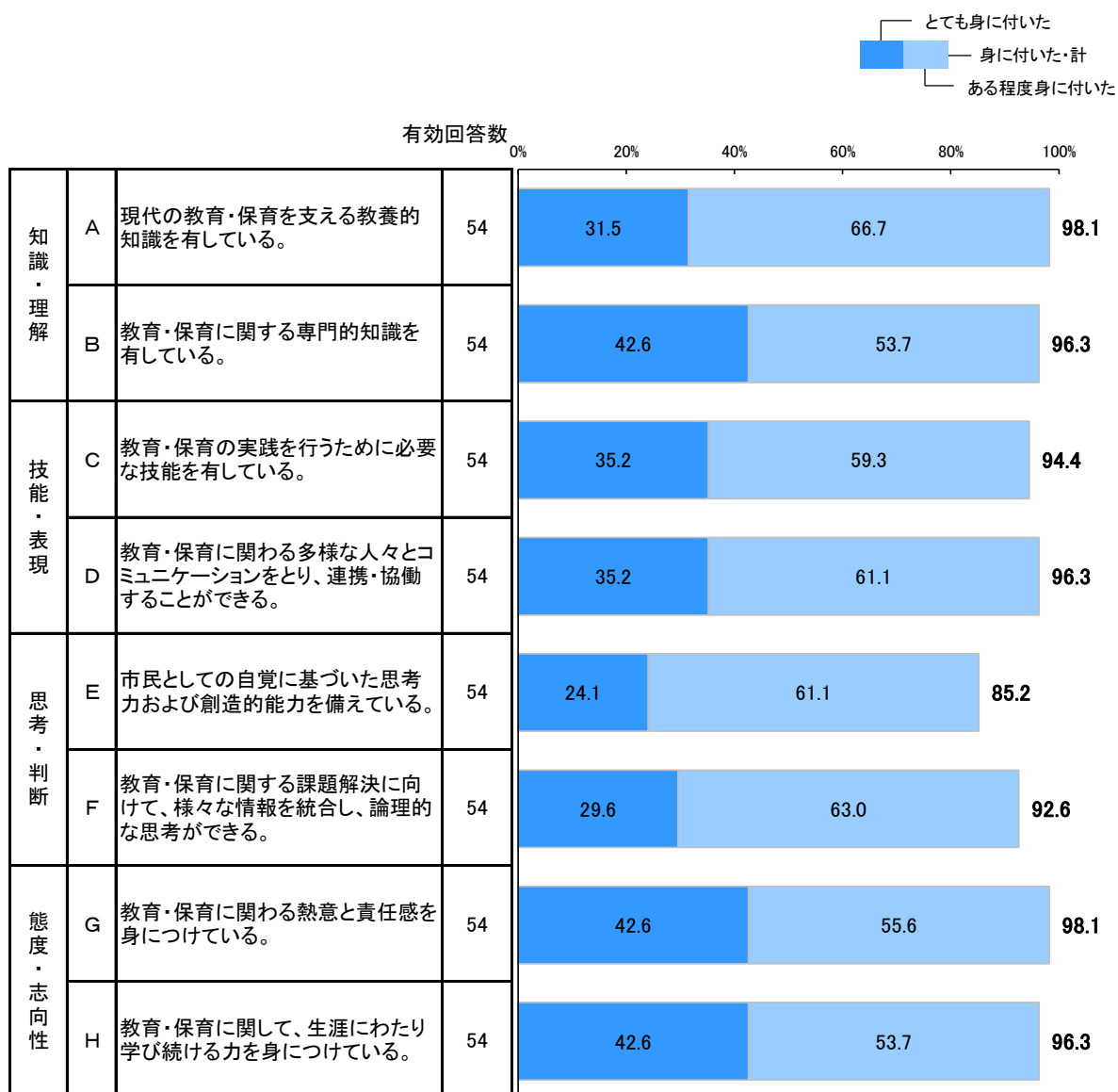


Q5 あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。



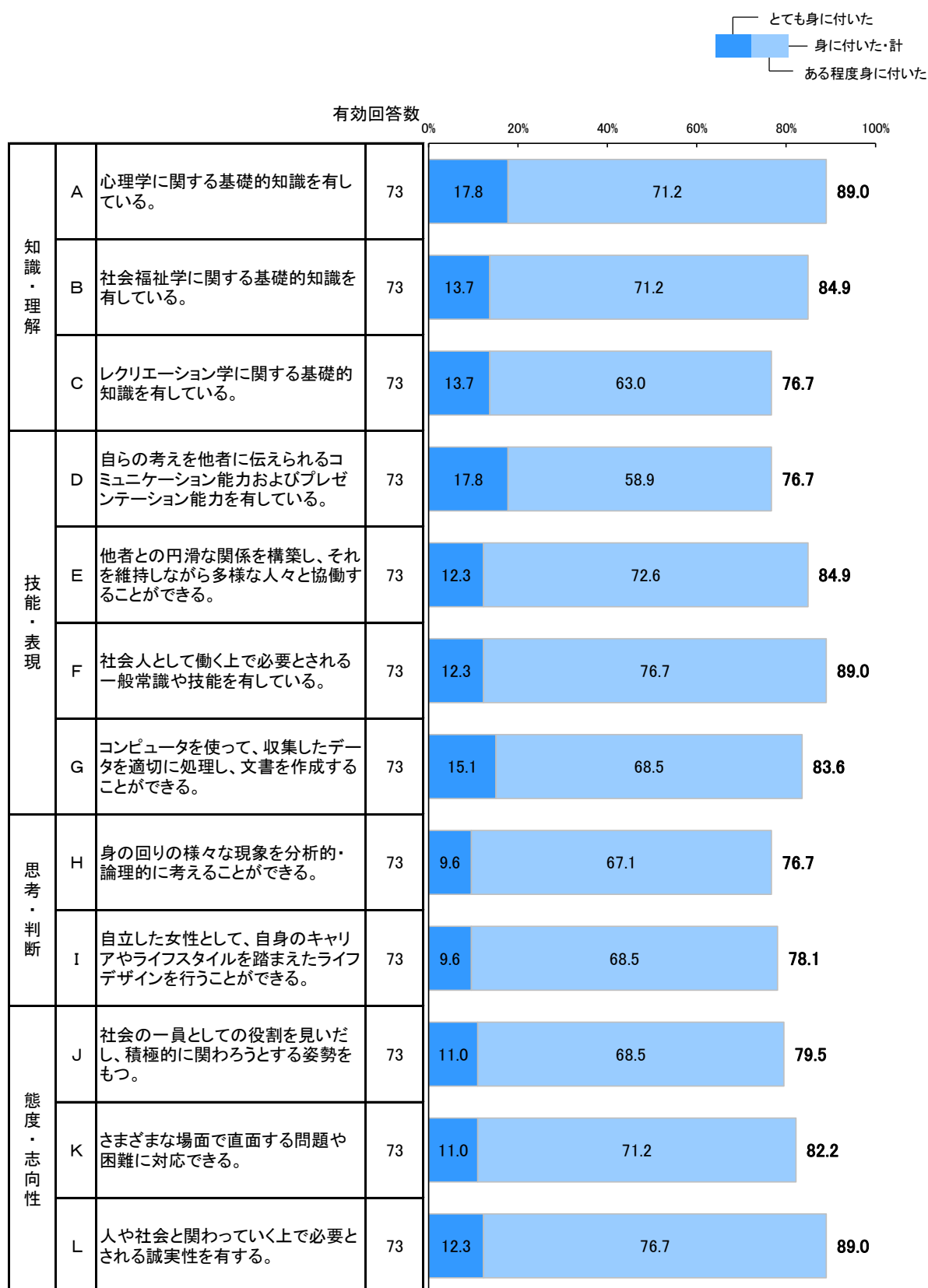
修得した能力【短期大学部 幼児教育学科】

Q5 あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。



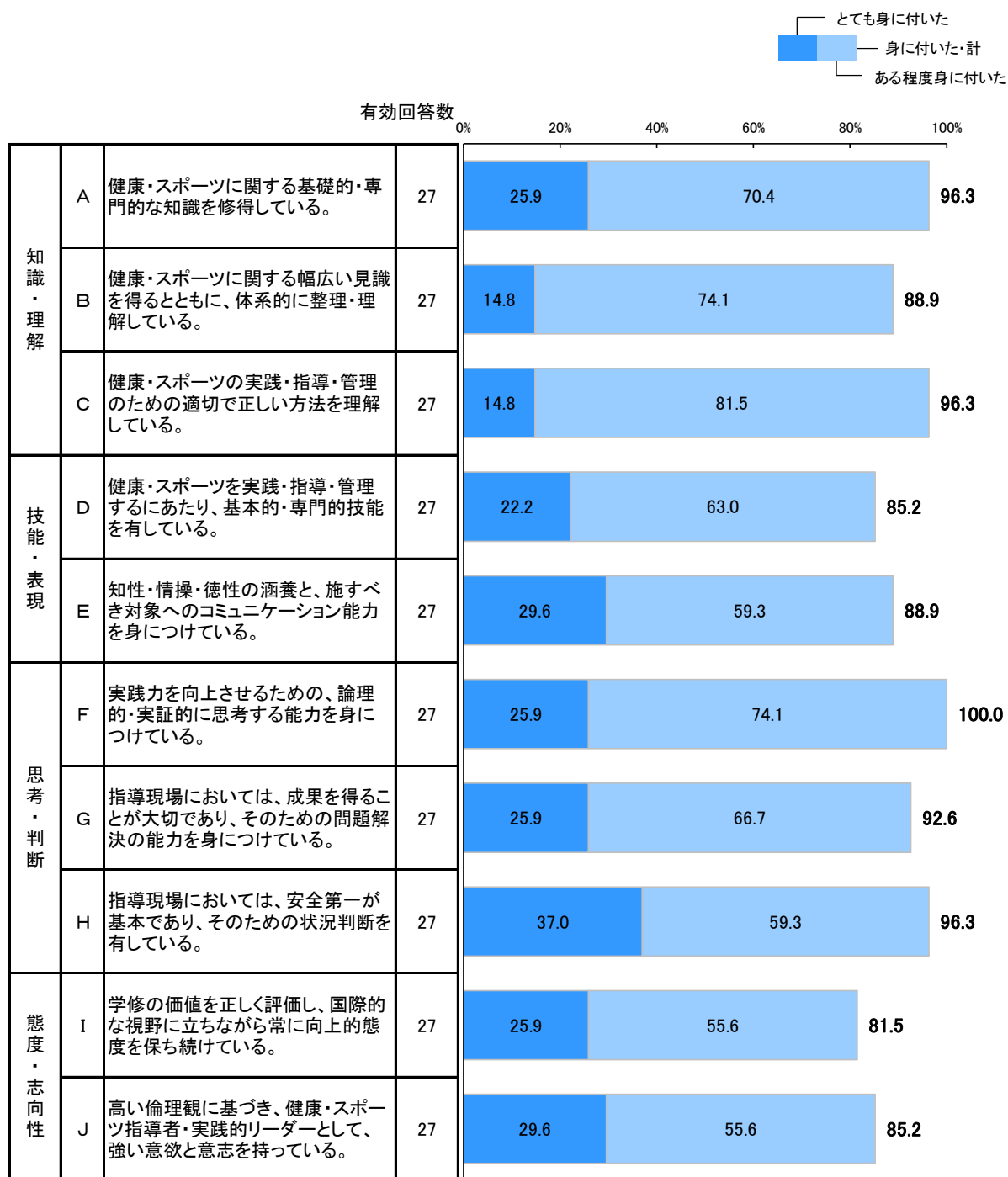
修得した能力【短期大学部 心理・人間関係学科】

Q5 あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。



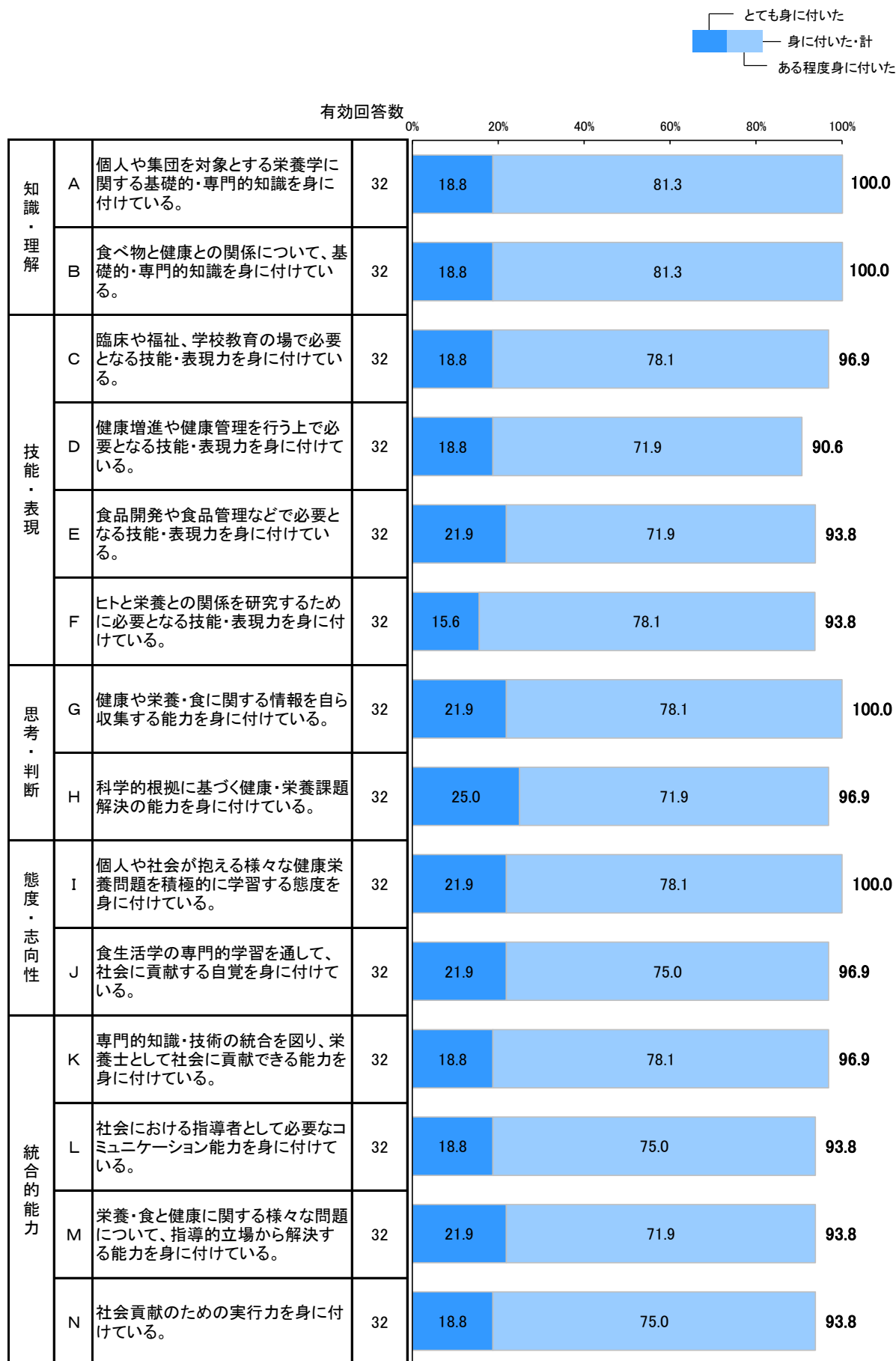
修得した能力【短期大学部 健康・スポーツ学科】

Q5 あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。



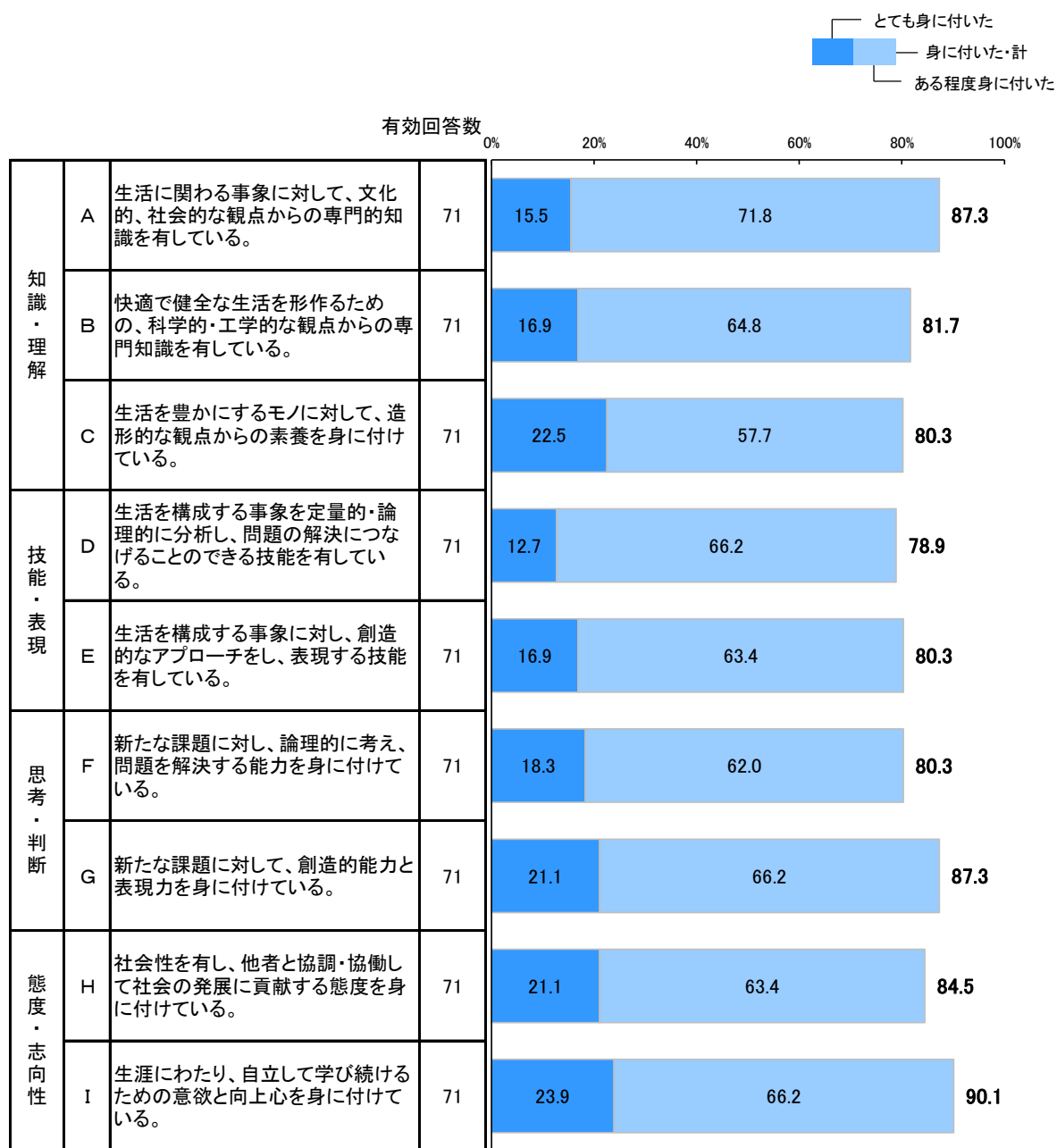
修得した能力【短期大学部 食生活学科】

Q5 あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。



修得した能力【短期大学部 生活造形学科】

Q5 あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。



卷末資料
【調査票】

武庫川女子大学・武庫川女子大学短期大学 部 令和3年度『卒業時アンケート』

このたび本学では、令和4年3月に卒業予定の皆さんを対象にアンケートを実施することになりました。みなさんからは、本学に対する率直な意見をお伺いし、魅力ある大学・短大となるための改善・改革に取り組んでいく所存です。アンケートの結果は統計資料としてのみ活用いたしますのでご安心ください。ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

Q1. 本学はどの程度の志望順位でしたか。

- 第一志望
- 第二志望
- 第三志望以下

Q2. 本学では、立学の精神の中で、「高い知性」、「善美な情操」、「高雅な徳性」を兼ね備えた有為な女性を育成する」ことを掲げています。あなたは、このことを知っていましたか。

- 入学前から知っていた
- 在学中に知った
- 今まで知らなかった

Q3. あなたが在学中に受講した授業の中で、次のような経験がどの程度ありましたか。

	よくあった	ある程度あった	あまりなかった	ほとんどなかった
ディスカッションを取り入れた授業	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
グループワークや実験・実習など協働作業をする授業	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
発表を取り入れた授業	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
教室外での活動や実習を行う授業	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
少人数で行う演習形式の授業	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
学んでいる内容が自分の将来と関わっていると感じられる授業	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

ここからは、学科・専攻ごとの回答になります。所属を選択し、続けてアンケートへの回答をお願いいたします。

所属 *

- 大学
- 短期大学

学科 (大学) *

1. 大日
2. 大英
3. 大教
4. 大心
5. 新健
6. 大環
7. 大食
8. 大情
9. 大築
10. 大演
11. 大応
12. 新葉
13. 大康
14. 大護

学科（短期大学）*

1. 短日
2. 短英新
3. 短教
4. 短心
5. 短健
6. 短食
7. 短生

大日の方にお聞きします

本学では、学科ごとに卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を設定しています。

<ディプロマ・ポリシー（大日）>

本学科では、本学の定める修業年限以上在学し、共通教育科目・基礎教育科目および専門教育科目を所定の履修方法に従って124単位以上を修得し、次のような能力・資質を備えた者に対し、教授会の意見を聴いて、学長が卒業を認定します。

卒業が認定された者には、学士（日本語日本文学）の学位を授与します。

【知識・理解】

- A 日本語および日本文学に関する基礎的また専門的知識を修得している。
- B 自国および他国の文化に対する理解を深め、日本の言語・文学との関連性を体系的に把握している。

【技能・表現】

- C 日本語のしくみ特性を深く理解し、自らの思考を他者に対して的確に発信する能力を備えている。
- D 情報機器（ICT）活用技能を含む諸技能と豊かな表現力を身につけている。

【思考・判断】

- E 日本語・日本文学に関して身につけた専門的知識を捉えかえし、批判的に考察する能力を備えている。
- F 論理的思考を身につけ、自ら課題を発見して解決に導く能力を備えている。

【態度・志向性】

- G 日常生活の中で大学での学修の価値を認識し、常に学問的態度を保っている。
- H 広範で体系的知識と豊かな感性、倫理観に基づき、自らの役割を自覚しながら使命を全うしようとする強い意欲と意志を持っている。

Q4. あなたは上記のディプロマ・ポリシーの内容を知っていましたか。*

- 知っていて、内容を理解していた
- 詳しくは知らないが、なんとなく聞いた（見た）ことがある
- ほとんど知らなかった

Q5. あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。対応するアルファベットのディプロマポリシーに対してそれぞれ回答してください。

【知識・理解】

- A 日本語および日本文学に関する基礎的また専門的知識を修得している。
- B 自国および他国の文化に対する理解を深め、日本の言語・文学との関連性を体系的に把握している。

【技能・表現】

- C 日本語のしくみ特性を深く理解し、自らの思考を他者に対して的確に発信する能力を備えている。
- D 情報機器（ICT）活用技能を含む諸技能と豊かな表現力を身につけている。

	とても身に付いた	ある程度身に付いた	あまり身に付いていない	ほとんど身に付いていない
A. 日本語および日本文学に関する基礎的また専門的知識を修得している。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
B. 自国および他国の文化に対する理解を深め、日本の言語・文学との関連性を体系的に把握している。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
C. 日本語のしくみ特性を深く理解し、自らの思考を他者に対して的確に発信する能力を備えている。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
D. 情報機器（ICT）活用技能を含む諸技能と豊かな表現力を身につけている。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

※Q4, Q5は調査対象学科・専攻のDPIにあわせて調査を実施している

※個別のDPの内容については大学はP43～56、短期大学部はP57～63を参照

【思考・判断】

E 日本語・日本文学に関して身につけた専門的知識を捉えかえし、批判的に考察する能力を備えている。

F 論理的思考を身につけ、自ら課題を発見して解決に導く能力を備えている。

【態度・志向性】

G 日常生活の中で大学での学修の価値を認識し、常に学問的態度を保っている。

H 広範で体系的知識と豊かな感性、倫理観に基づき、自らの役割を自覚しながら使命を全うしようとする強い意欲と意志を持っている。

	とても身に付いた	ある程度身に付いた	あまり身に付いていない	ほとんど身に付いていない
E. 日本語・日本文学に関して身につけた専門的知識を捉えかえし、批判的に考察する能力を備えている。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
F. 論理的思考を身につけ、自ら課題を発見して解決に導く能力を備えている。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
G. 日常生活の中で大学での学修の価値を認識し、常に学問的態度を保っている。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
H. 広範で体系的知識と豊かな感性、倫理観に基づき、自らの役割を自覚しながら使命を全うしようとする強い意欲と意志を持っている。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q 6. あなたは、在学期間を通して、本学の教育内容をどのように感じましたか。 *

	とても当てはまる	ある程度当てはまる	あまり当てはまらない	ほとんど当てはまらない
教養分野の教育（共通教育）が充実している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
専門分野の教育が充実している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
実践的・実務的教育が充実している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
外国語教育が充実している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
情報リテラシー教育が充実している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

※Q4, Q5は調査対象学科・専攻のDPIにあわせて調査を実施している

※個別のDPの内容については大学はP43～56、短期大学部はP57～63を参照

Q 7. 総合的にみて、あなたは本学の教育内容に満足していますか。 *

- 満足している
- やや満足している
- あまり満足していない
- 満足していない

Q 8. 卒業後の進路について伺います。あなたはご自身の卒業後の進路に満足していますか。 *

- 満足している
- やや満足している
- あまり満足していない
- 満足していない

Q 9. 学生生活を振り返ってみて、本学に入学してよかったと思いますか。 *

- そう思う
- ややそう思う
- あまりそう思わない
- そう思わない

Q10. 最後に、本学の教育について感想があれば、ご自由にお書きください。 *

記述式テキスト（長文回答）
